

取扱説明書 操作・設定編

ネットワークディスクレコーダー

品番 WJ-NV250シリーズ WJ-NV300シリーズ

●取扱説明書の構成について

・基本編

施工説明や基本的な操作について説明しています。
本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。

・操作・設定編（本書）

本機の操作や設定のしかたについて説明しています。
PDFファイル形式でCD-ROMに納められています。

- PDFファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® が必要です。
アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。



(イラストはWJ-NV300/8です)

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-NV250シリーズ (WJ-NV250/05、WJ-NV250/2、WJ-NV250/4、WJ-NV250V1、WJ-NV250V2)、
WJ-NV300シリーズ (WJ-NV300/4、WJ-NV300/6、WJ-NV300/8、WJ-NV300R) の取扱説明書です。



はじめに

商品概要

WJ-NV250シリーズ、WJ-NV300シリーズ（以下、本機）は最大32台（NV250シリーズは最大24台）のネットワークカメラ（以下、カメラ）の画像と音声をハードディスク（以下、HDD）に記録することができるネットワークディスクレコーダーです。カメラの接続台数は、カメラ拡張キット（別売り）により、基本の9台から32台まで（NV250シリーズの場合、基本の4台から24台まで）増設することができます。

品番	HDD	初期CH数/最大CH数	RAID5/RAID6	DVDドライブ
WJ-NV250/05	500 GB×1	4CH / 24CH	—	—
WJ-NV250/2	1 TB×2 ^{*1}	4CH / 24CH	—	—
WJ-NV250/4	2 TB×2 ^{*1}	4CH / 24CH	—	—
WJ-NV250V1	1 TB×1	4CH / 24CH	—	1 (DVD-R、+R)
WJ-NV250V2	2 TB×1	4CH / 24CH	—	1 (DVD-R、+R)
WJ-NV300/4	2 TB×2 ^{*1}	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—
WJ-NV300/6	3 TB×2 ^{*1}	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—
WJ-NV300/8	4 TB×2 ^{*1}	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—
WJ-NV300R	—	9CH / 32CH	あり ^{*2}	—

※1 本体の2台のHDDでミラーリングモードが使用できます。

※2 増設ユニット（WJ-HDE400）接続時はRAID5モードまたはRAID6モードが使用できます（本体のHDDは無効になります）。増設ユニットのHDDはミラーリングモードには使用できません。

本機はHDMI（High-Definition Multimedia Interface）に対応しているモニターを接続することができ、録画画像やカメラのライブ画像をより高品質で表示することができます。

また、複数のカメラの画像をモニターに表示する、カメラ画像を切り換えるなど、本機からカメラを操作することもできます。

本書中に記載している別売り品などの情報は、2014年8月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 基本編、取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル・本書）、簡単操作ガイドほかで構成されています。

- 取扱説明書 基本編 : 必要な機器との接続や設置のしかた、設定方法について説明しています。
- 取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル・本書）
 - : 本機を使用するにあたっての操作方法について説明しています。
 - 本機から直接操作する方法と、ネットワークを経由してパソコン（以下、PC）から操作する方法の2通りの方法を説明しています。
- 簡単操作ガイド : よく使う機能の操作方法について説明しています。
- 取扱説明書 ビジネスインテリジェンス拡張キット（PDFファイル）
 - : WJ-NVF20JW、WJ-NVF30JW（別売り）のライセンス登録、設定・操作方法について説明しています。

はじめに（つづき）

PDF ファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe Reader 日本語版が必要です。PC にAdobe Reader 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe Reader 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書および画面中のNV250、NV300とは本機を表しています。また、本書に掲載している画面は、NV300シリーズのカメラ接続台数が16台の場合です。

発生したイベントやエラー情報を受信し表示する専用ソフトウェア（別売り）およびカメラの対応機種、バージョンについては本機付属のCD-ROM 内「readme.txt」をお読みください。

また、カメラの対応機種などの最新情報や、本機のソフトウェアバージョンアップによる機能追加、変更の情報などについてはパナソニックサポートウェブサイト（<http://panasonic.biz/security/support/index.html>）を参照してください。

必要なPCの環境

PCで本機を操作するには以下の環境を持つPCを推奨します。

対応OS	: Microsoft® Windows Vista® 日本語版、Microsoft® Windows® 7 日本語版*1、 Microsoft® Windows® 8.1 日本語版
ウェブブラウザ	: Windows® Internet Explorer® 11 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 10 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 9 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 8 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 7 32ビット日本語版
CPU	: Intel® Core™ i7-860以上
メモリー	: 4 GB以上
画面	: 1024×768 ピクセル以上の解像度、True color 24 ビット以上
ネットワーク機能	: 10BASE-T、100BASE-TX、または1000BASE-T 1ポート
サウンド機能	: サウンドカード（音声機能を使用する場合）
その他	: CD-ROM ドライブ（各種取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するため） : DirectX® 9.0c 以上 : Adobe® Reader®（各種取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するため）

※1 Windows® XP互換モードでは使用できません。

重要

- 必要なPC 環境を満たしていない場合には、画面の表示が遅くなる、ウェブブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。
- Microsoft® Windows® 7 Starterには対応していません。

メモ

- Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows Vista®またはWindows® Internet Explorer®を使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、「Windows® / Internet Explorer®のバージョンによる注意事項」（PDFファイル）をお読みください。
- 対応OSとブラウザの最新の動作検証情報については、パナソニックサポートウェブサイト（<http://panasonic.biz/security/support/index.html>）を参照してください。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveX およびDirectX は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel、Intel Core は米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 8.1 日本語版をWindows 8と表記しています。

Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット 日本語版をWindows 7と表記しています。

Windows® Internet Explorer® 11 日本語版、Windows® Internet Explorer® 10 日本語版、Windows® Internet Explorer® 9 日本語版、Windows® Internet Explorer® 8 日本語版、Windows® Internet Explorer® 7 日本語版をInternet Explorerと表記しています。

SDHCメモリーカード／SDメモリーカードをSDメモリーカードまたはSDカードと表記しています。

ネットワークカメラをカメラと表記しています。

使用時の制約事項

本機には、各機能において以下のような制約事項があります。内容を確認の上、使用してください。

カメラのライブ画像表示時

- カメラのライブ画像表示中に以下の操作をすると、操作後の数秒間*に黒画表示されることがあります。
 - ライブ画像を表示したとき（カメラの切り換えなど）
 - 画像を拡大または縮小表示に切り換えたとき

録画画像再生時

- 画像の再生中に以下の操作をすると、数秒間*だけ再生時間が飛んで表示されることがあります。
 - カメラを切り換えたとき
 - 画像を拡大または縮小表示に切り換えたとき（再生の一時停止中に表示を切り換えると、停止中の画像ではなく数秒後の画像が拡大表示されることがあります。）
 - 画像の再生中に、再度、再生ボタンをクリックした場合
 - 一時停止中にコマ送り再生した際の最初の1コマ目
- 再生中に以下の操作をすると、数秒間隔*で再生されます。画像再生中の操作については、128、166ページをお読みください。
 - 逆再生
 - 高速再生／高速逆再生
 - 逆コマ送り再生
- 日時検索をすると、指定した時刻の数秒前*、もしくは数秒後*から再生したり、次の録画データの先頭から再生されたりすることがあります。
- 最新再生を行うと、最新の録画日時の約30秒前から数秒間*ずれて再生することがあります。
- フレームレートが60 ipsまたは30 ipsに設定された録画画像は、なめらかに再生されない場合があります。

録画時

- 録画開始の命令（イベント発生やスケジュール録画など）の発生時刻と、実際に録画される時刻（録画イベントリストの時刻）が数秒間*ずれることがあります。
- プレ録画を設定している場合、設定した時間より長い時間録画されることがあります。

コピー時

録画画像をコピーする際、指定した開始日時より数秒前*の画像からコピーされることがあります。

再生画像のダウンロード時

再生画像をダウンロードする際、指定した始点日時より数秒前*の画像からダウンロードされることがあります。

* 時間は、カメラ側のリフレッシュ周期設定によります（設定範囲：0.2～5秒）。時間差を少なくしたいときは、カメラ側のリフレッシュ周期を短い時間に設定してください。
リフレッシュ周期の設定についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

SDカード／外部記憶装置使用時

SDカードなどのメディアを挿入後、すぐに操作するとメディアの認識に時間がかかることがあります。また、メディアの容量が大きいと認識に時間がかかります。

ご使用前にお読みください

顔照合機能について（オプション）

本機にビジネスインテリジェンス拡張キット（別売り）のライセンスを登録することで、事前に登録した顔画像とライブ画像内の顔画像を比較し、似ている人物を検出する顔照合機能が使用できます。照合の精度は、カメラの設置・設定、調整、周囲環境、被写体により変動します。そのため、以下のような場合は、顔照合が働かないことがあります。

- 屋外など、照明が均一に当たらない場所の場合
- 顔が隠れている場合（マスク、サングラス、ヘルメットなど）
- 顔が正面を向いていない場合
- 被写体の動きが速い場合
- 屋外からの外光の影響が大きい場合（車のヘッドライトや西日、朝日など）

※顔照合機能を使用する場合は、顔検出機能に対応したカメラの事前の設定が必要です。

動作検知機能について

カメラの動作検知（VMD：Video Motion Detection）機能は設定エリア内の輝度変化を元に画像内の動きを検知します。

以下のような場合、動作を検知しにくい、検知しない、または誤って検知する場合があります。

- 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない。
- 夜間など、画像の輝度が低い。
- 被写体の動きが遅い。
- 被写体が小さい。
- 屋外、窓際など外光の状態が変わりやすい。
- 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る。
- 蛍光灯がちらつく。
- 被写体に奥行きがある。

動作検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間に検知状況を確認してください。また、検知しない場合や誤って検知する場合は、別途センサーを使用してください。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

録画画像の時刻表示について

本機の録画画像で表示される時間が飛んで表示されることがありますが、故障ではありません。また、再生している画像と本機で表示する時刻がずれることがありますが、故障ではありません。

マウス操作について

本機で多くの処理が同時に行われているとき、本機に接続したマウスでの操作の反応が、一時的に遅くなる場合がありますが、故障ではありません。

再生時に表示される黒画について

以下の場合、再生中に黒画が表示される場合がありますが、故障ではありません。

- 再生中、再生一時停止中にカメラを切り換えたり、画面分割数を切り換えたりしたとき
- スキップ／逆スキップをしたとき
- 早送り／早戻しをしたとき
- 多画面表示時に、最新再生を行ったとき※
- 再生中、早送り／早戻し再生中、コマ送り／逆コマ送り時に録画イベントリストをまたぐとき
- 再生動作をスムーズに行えない場合（本機にアラームが連続して入力したり、再生と同時にコピーを行ったりした場合など）
※データ量によって不特定のカメラ画像が黒画になります。

録画動作について

本機は最大32台（NV250シリーズは最大24台）のカメラを接続して、HDDに録画することができます。

本機は以下の録画を行うことができます。

スケジュール録画：指定した曜日・時間帯に録画を自動で行います。

イベント録画：各種イベント（端子アラーム／カメラサイトアラーム／コマンドアラーム）が発生したときに録画を自動で行います。

重要

- 以下の場合には、約3秒間録画は行われませんが、故障ではありません。
 - 録画中に設定を変更して設定メニューを終了したとき
 - 録画中に解像度や画質、フレームレートが切り換わったとき

イベントの種別について

ウェブブラウザ画面のリスト表示などで表示される録画イベント種別は以下のようになります。

SCH：スケジュール録画

以下はイベント録画の詳細種別です。

COM：コマンドアラーム

TRM：端子アラーム

SITE：カメラサイトアラーム

PRE：プレ録画

ご使用の前にお読みください（つづき）

「みえますねっとPRO」サービスについて

「みえますねっとPRO」サービス（有料）を使用することで、「ダイナミックDNS（DDNS）」サービスやそのほかのサービスを利用することができます。

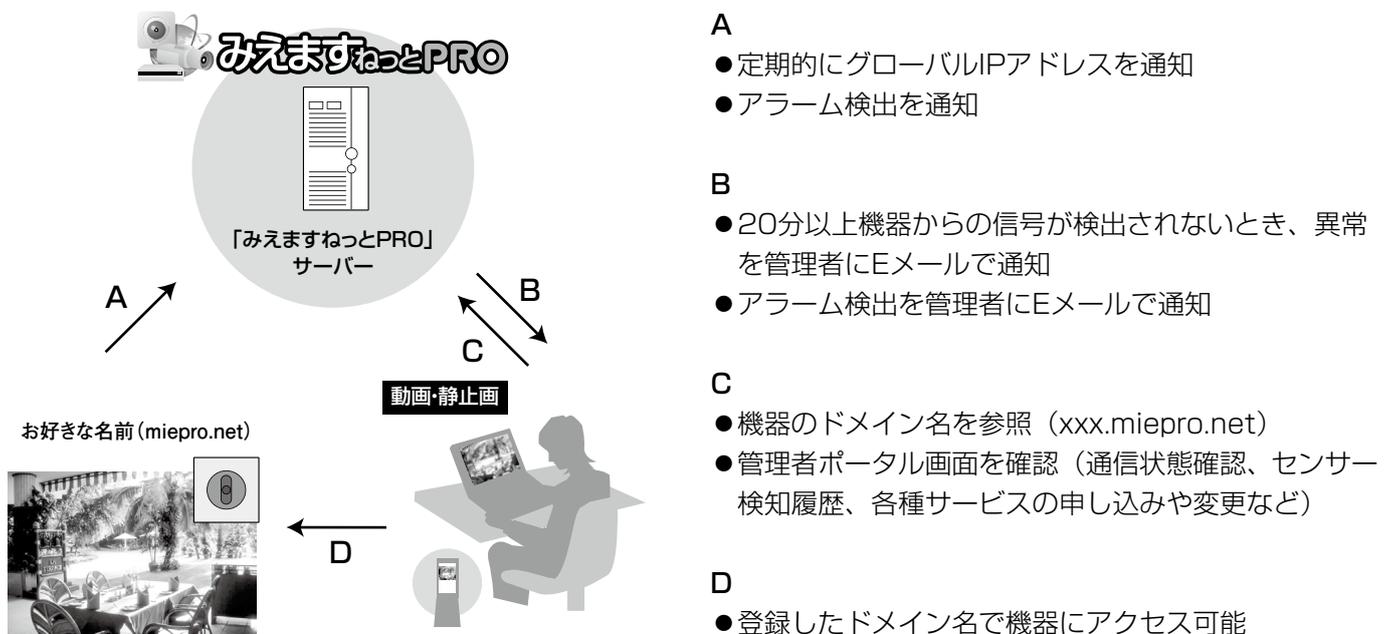
通信状態確認サービス

機器からの信号が20分以上途絶えたとき、サーバーと機器との間で通信障害などの異常が発生していることを管理者にメールで通知します。

簡易センサーお知らせ

最短10分ごとのアラームの動作に連動してメールで通知します。

システム概要



重要

- 「みえますねっとPRO」サービスがサポートしているブラウザなどを「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト (<http://panasonic.biz/miemasu/pro/>) で確認してください。

メモ

- 「みえますねっとPRO」サービスについてのトラブルなどの対処法については、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト (<http://panasonic.biz/miemasu/pro/>) を参照してください。
- 機器のURLは、「みえますねっとPRO」サービスに登録したあとに使用できるようになります。
- 登録された機器のURLが有効になるまでに、最大で30分くらいかかる場合があります。
- 同一ルーター配下に本機とカメラがある場合は、カメラを「みえますねっとPRO」に登録すれば本機を登録する必要はありません。

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
取扱説明書について	2
必要なPCの環境	3
商標および登録商標について ..	4
略称について	4
使用時の制約事項	5
ご使用の前にお読みください	6
顔照合機能について (オプション) ...	6
動作検知機能について	6
録画画像の時刻表示について ...	6
マウス操作について	6
再生時に表示される黒画について ...	7
録画動作について	7
イベントの種別について	7
「みえますねっとPRO」	
サービスについて	8

本体設定

設定の 前に

基本的な操作のしかた	15
設定画面について	17

基本設定

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]	18
基本設定を行う [基本設定]	22
基本設定の各ページを表示する ...	22
日時や言語に関する設定を行う	
[日時・Language]	22
カメラに関する設定を行う [カメラ] ...	25
録画やイベントに関する設定を行う	
[録画・イベント]	45

詳細設定

モニターの設定を行う [モニター]	55
メインモニターの設定を行う	
[メインモニター]	55
サブモニターの設定を行う	
[サブモニター]	56
モニターに関するその他の設定を行う	
[高度な設定]	57

詳細設定

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク] ...	59
ネットワークの基本設定を行う [基本] ...	59
ネットワーク時刻合わせやSNMPに メール通知に関する設定を行う [メール]	62
アラームの独自通知設定を行う [独自アラーム]	64
ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理] ...	66
ユーザー管理の基本設定を行う [基本] ...	66
管理者情報を変更する [管理者設定]	70
ユーザー情報を登録/変更/削除する [ユーザー登録]	68
メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス] ...	71
バージョンなどシステム情報を確認する [システム情報]	71
本機やカメラなどのライセンスを登録する [ライセンス登録]	75
ディスク情報を確認する [HDD情報] ...	71
システムに関する設定や操作を行う [システム管理]	73
HDDを管理する [HDD管理]	78
HDD管理ページの表示のしかた ...	78
HDDの取り外しと組み込みについて ...	80
HDDの情報を確認する [HDD情報] ...	79
HDD運用モードの変更について ...	80
HDDを初期化する [HDDのフォーマット]	79
拡張機能の設定を行う [拡張機能]	82

その他

設定項目一覧 (設定メニュー)	83
エラー履歴・ネットワークログについて	94
エラー履歴について	94
ネットワークログについて	96

本体操作

操作の 前に

運用画面について	97
メインモニター (ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです) ...	97
サブモニター (ライブ画像のみを表示するモニターです)	102
基本的な操作のしかた	103
ログアウトする	104
SDカード/DVDを使用する	105
起動時のログイン操作について	106

見る

カメラのライブ画像を見る	107
操作パネルについて	107
操作画面表示と全画面表示を切り換える	111
1画面で表示する	112
多画面で表示する	113
カメラタイトルの表示/非表示を切り換える	114
デジタルズームを使用する ...	114
カメラを操作する	115
カメラコントロールパネル ...	115
パン/チルト操作	116
ズーム操作	117
ホームポジション移動	117
フォーカス操作	117
明るさ操作	118
自動モード	118
プリセット登録	119
プリセット移動	119
ホームポジション登録	120
オートバックフォーカス実行 ...	120
マスクエリア設定	121
ズーム/フォーカス調整	121
初期位置設定	122

イベント 機能

イベント機能について	123
イベント発生時の動作	123
ブザーを停止する	124
アラーム動作を解除する	125
エラー動作を解除する	125

録画

録画する	126
録画する (スケジュール録画)	126

再生

再生する	127
再生操作パネルについて	128
頭出し再生する	130
日時を指定して再生する 130	タイムラインから指定して再生する ... 132
最新の録画画像を再生する ...	131
検索して再生する	134
履歴から選択して再生する (履歴サーチ)	134
録画画像に動きのある日時を検索して再生する (動作検知サーチ) ...	135

便利な機能

コピーする	138
SDカードをフォーマットする	142
コピーデータを本体で再生する	143

ネットワーク操作

操作の前に

ネットワーク設定を行う	145
本機のネットワーク設定を行う	145
PCのネットワーク設定を行う	145
本機のネットワークセキュリティについて	148
本機に装備されているセキュリティ機能	148
セキュリティ強化のために	148
操作画面を表示する	150

操作の 前に

操作画面について	151
トップページ	151
コントロールパネル	152
カメラ選択パネル	153
設定パネル	154
ステータス表示部	155
ダウンロード操作部	156
[カメラ] タブ	156
[HDD] タブ	157

見る

カメラのライブ画像を見る	158
1画面で表示する	158
4分割画面で表示する (マルチスクリーン)	159
カメラを操作する	160
パン/チルト操作	160
ズーム操作	161
フォーカス操作	161
明るさ操作	161
プリセットポジション登録 ...	161
プリセットポジション移動 ...	162
自動モード	162

イベント 機能

イベント機能について	163
イベント発生時の動作	163
アラーム動作を解除する	164
エラー動作を解除する	164

再生

再生する	165
日時を指定して再生する	167
検索して再生する (録画イベントサーチ)	168
動作検知で検索して再生する (動作検知サーチ) ...	170

便利な 機能

コピーする	172
再生画像をダウンロードする	174
コピーした画像リストを確認する	175
コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する ...	177
メディアにコピーした画像を 再生するには	177
ビューワーソフトの使いかた ...	179
ウェブブラウザからダウンロードした 画像を再生するには	177

設定する

設定する	182
基本的な操作のしかた	182
ソフトウェアの更新を行う ...	183
各種設定を行う	182

その他

メール通知について	184
アラームメールについて	184
障害メールについて	184
故障かな!?	186
用語集	190

基本的な操作のしかた

本機の操作は、本機後面のマウス接続ポートに接続したマウス（付属品）から行います。

本機の操作と一部の設定は、PCのウェブブラウザからも行うことができます。ウェブブラウザから設定できる項目や操作は、83、150ページをお読みください。

STEP1

本機後面のマウス接続ポートに付属のマウスを接続します。

→メインモニターにマウスカーソルが表示されます。

STEP2

画面上のボタンやタブを左クリックして操作します。

(以降、本書では左クリックをクリックと表記します)

[▲] / [▼] ボタンまたは [▼] ボタンのある入力欄にカーソルがある場合は、マウスホイールで値を変更できます。

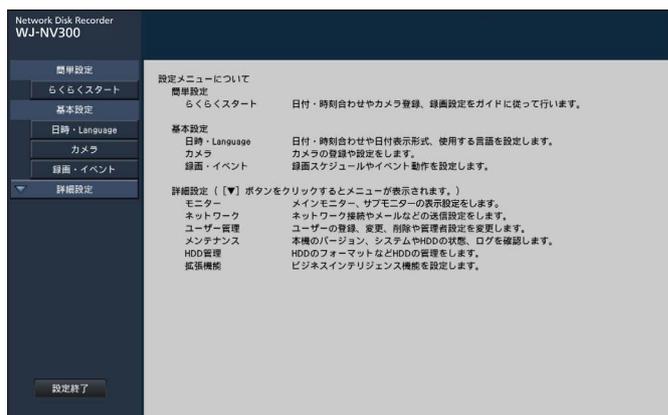
10秒間何も操作しないと、マウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。



STEP3

[設定] ボタンをクリックします。

→設定メニューのトップ画面が表示されます。



メモ

- 表形式の設定画面では、先頭のタイトル行に [▼] ボタンがある場合、その列の設定を一括して変更することができます。

カメラ	品番	圧縮方式	基本設定			
			解像度	レート	画質	録音
1	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
2	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
3	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
4	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
5	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
6	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
7	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off
8	WJ-NV300	H.264	VGA(640x480)	▼ 10 ips	▼ FQ	▼ Off

基本的な操作のしかた（つづき）

ソフトキーボードの操作について

設定項目の文字入力はソフトキーボードで行います。各設定画面にある入力欄右の  アイコンをクリックすると、ソフトキーボードが表示され、画面上の文字キーをクリックすることで、文字を入力できます。

ソフトキーボード画面



文字入力欄

【全消去】 ボタン

文字入力欄に入力されている文字列をすべて消去します。

【←】 / 【→】 ボタン

文字入力欄のカーソルを左右に移動します。

【消去】 ボタン

文字入力欄のカーソルのある文字を消去します。

【A / a】 ボタン

英数字表示のとき大文字 / 小文字を切り換えます。日本語表示のときは【あ / ア】 ボタンとなり、ひらがな / カタカナを切り換えます。

【切換】 ボタン

表示文字キーを切り換えます。

英数字 → 日本語1 → 日本語2 → 英数字、と表示されるキーが切り換わります。

日本語1は五十音を入力するとき、日本語2は、濁音、半濁音、小文字母音を入力するときに使用します。

【確定】 ボタン

入力した文字列を確定し、ソフトキーボード画面を閉じます。

メモ

- HDMIモニターに表示されるソフトキーボードでは、漢字の入力はできません。PCのウェブブラウザからは漢字入力が可能です。内蔵フォントにない文字は表示できません。
- ログイン画面やライセンス登録画面なども、基本的な操作方法は同様です。
- 文字入力を確定せずに画面を閉じるには、【×】 ボタンをクリックしてください。

設定画面について

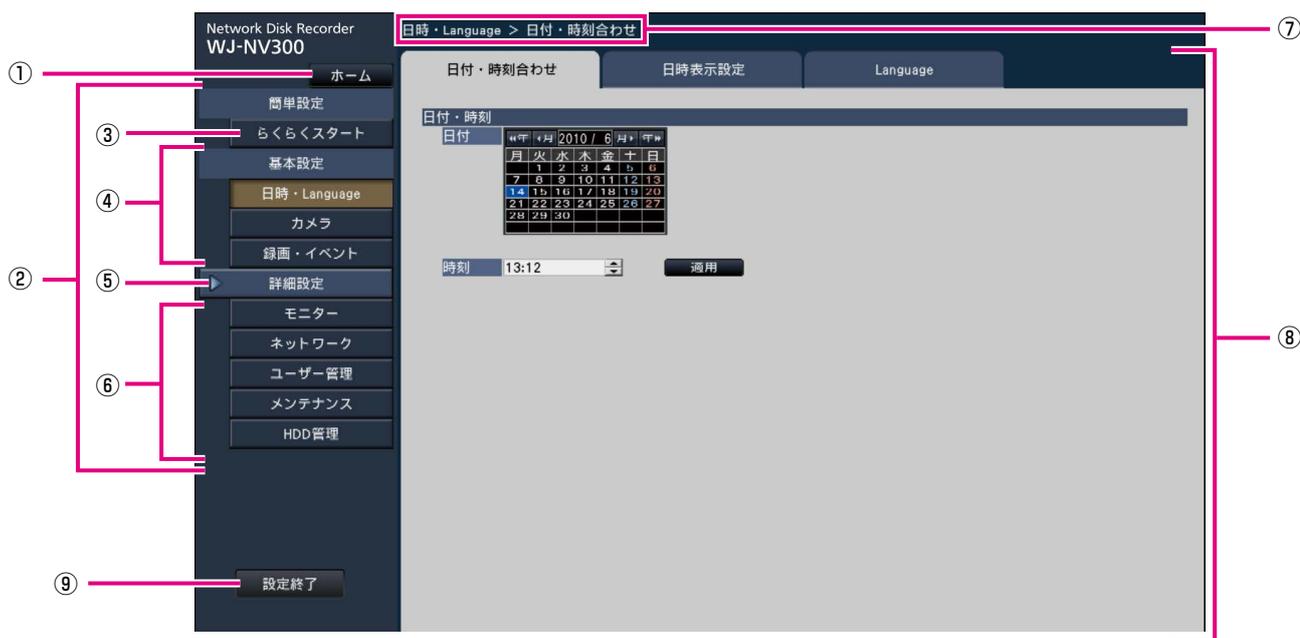
本機を操作する場合、あらかじめ、設定メニューで各項目を設定しておく必要があります。

設定には、必要最低限の内容のみ設定し他の項目は初期設定のまま運用する「らくらくスタート」と、さまざまな運用方法に合わせてカスタマイズする「基本設定」および「詳細設定」があります。

ここでは設定画面の代表的な例を用いて、設定画面の概要と操作方法を説明します。

設定画面は、メインモニターに表示される操作画面右上の [設定] ボタン (P.15ページ) をクリックすると表示されます。

設定画面の左側には、設定メニューが表示されます。



① [ホーム] ボタン

どの設定ページからでも、設定のトップ画面 (P.15ページ) に戻ります。

② 設定メニューパネル

各設定メニューボタンを表示します。

③ [らくらくスタート] ボタン

日時やカメラ登録など、運用開始に最低限必要な設定をウィザード形式で設定できます。

④ 基本設定 - 各種設定メニューボタン

基本設定の各設定ページを表示します。

⑤ [詳細設定] ボタン

詳細設定の各種設定メニューボタンを表示します。再度クリックすると、各種設定メニューボタンが非表示となります。

⑥ 詳細設定 - 各種設定メニューボタン

詳細設定の各設定ページを表示します。

⑦ 画面階層表示

表示されている設定ページ名称を階層表示します。タブ名称も含まれます。

⑧ 設定ページ

各設定メニューのページを表示します。複数タブで構成されているページは、タブをクリックしてページを切り換えます。

⑨ [設定終了] ボタン

設定した内容を本機に反映し、設定画面を閉じて運用画面に戻ります。

本書では、一部を除き、設定画面の表示例として、画面階層表示と設定ページを使用します。

重要

- 設定内容を変更すると、本機にログインしているすべてのユーザーが強制的にログアウトします。

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]

設定メニュー [簡単設定] - [らくらくスタート] では、日付設定やカメラの登録、録画の設定など、本機を使用するために必要な最小限の設定を行います。

まず、らくらくスタートで設定を行い、さらに詳細な設定を行いたい場合は、各設定メニューで設定を行います。

らくらくスタートでできること

●本機の日付と時刻の設定 ●カメラの登録 ●カメラの入れ換え ●録画のフレームレート、画質の設定

※上記以外は、カメラの設定および本機の初期設定のままで運用されます。

※時刻の再設定を行う場合は、らくらくスタートではなく [基本設定] - [日時・Language] から設定してください。

STEP1

設定メニューのトップ画面で [らくらくスタート] ボタンをクリックします。

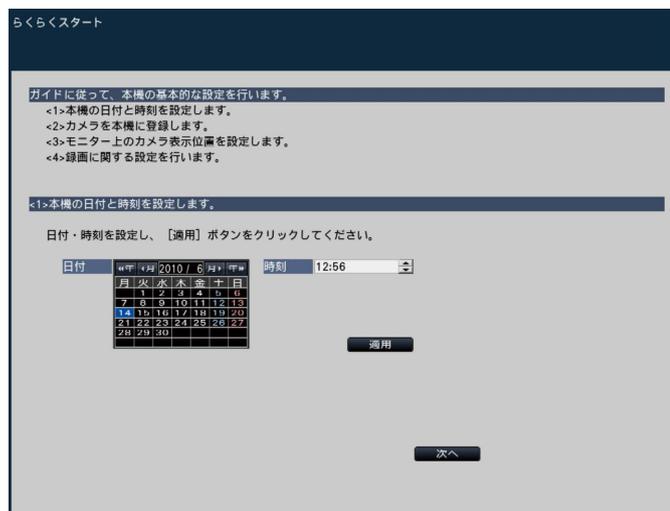
設定画面の表示のしかたは「基本的な操作のしかた」(P.15ページ)をお読みください。



→日付・時刻を設定する画面が表示されます。

STEP2

日付・時刻を設定します。



[日付]

現在の日付を設定します。カレンダーから年月日を選択します。

[<<年] [年>>] ボタン : 年を切り換えます。

[<月] [月>] ボタン : 月を切り換えます。

[時刻]

現在の時刻を設定します。

STEP3

日付、時刻を設定したら、[適用] ボタンをクリックします。

→00秒に設定されます。

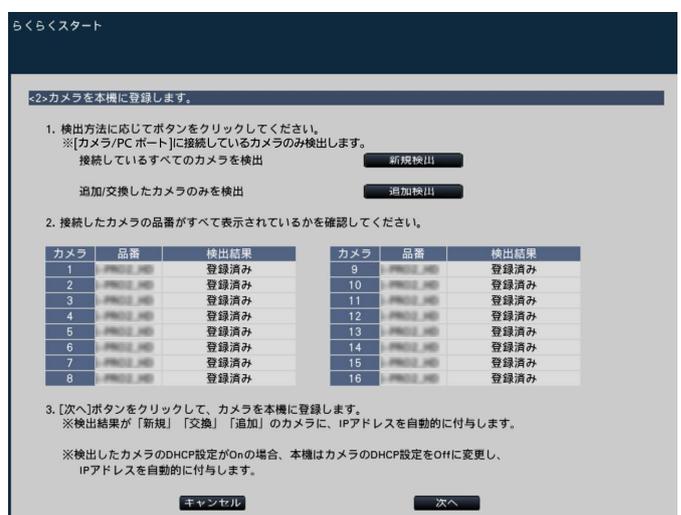
STEP4

[次へ] ボタンをクリックします。

→カメラの登録画面が表示されます。

STEP5

カメラを本機に登録します。



必要最小限の設定を行う [らくらくスタート] (つづき)

メモ

- カメラのIPアドレスをそのまま活用したい場合はらくらくスタートではなく、カメラを検出して登録する [カメラ検出] (☞ 26ページ) をお読みください。
- 事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラのライセンス登録台数より多く接続していても、ライセンス数分だけ検出します。不要なカメラは接続を外しておいてください。
- カメラはカメラ / PCポートに接続してください。PCポートに接続すると検出できません。

【新規検出】 ボタン

接続しているすべてのカメラを検出します。画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。接続したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

【追加検出】 ボタン

追加や交換したカメラのみを検出します。画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。追加や交換したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

重要

- すでに運用しているカメラがある場合、「新規検出」を行うと、接続しているすべてのカメラに新たにIPアドレスを付与するのでご注意ください。
- 運用開始後に追加したカメラは、初期設定で登録されます。すでに登録済みのカメラの設定と合わせるには、あらかじめ追加したカメラの設定を行ってください。
- ビデオエンコーダー (DG-GXE500) の場合、検出されるカメラはCH1のみになります。CH2～4は別途設定メニューから登録する必要があります。

【カメラ】

NV300シリーズは、ライセンス登録 (☞ 76ページ) により、16、24、32台の構成が可能です。
NV250シリーズは、ライセンス登録 (☞ 76ページ) により、9、12、16、24台の構成が可能です。

【品番】

弊社製カメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。

【検出結果】

- | | |
|------|-------------------------------|
| 新規 | : 初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。 |
| 交換 | : 本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。 |
| 追加 | : 本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。 |
| 登録済み | : すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。 |
| 消失 | : 登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。 |
| 空欄 | : カメラが検出されていません。 |

メモ

- 「消失」「空欄」が表示された場合は、カメラの電源が入っているか、正しく接続はできているかを確認してください。

STEP6

[次へ] ボタンをクリックします。

→新規・交換・追加を行ったカメラに対し、IPアドレスが自動的に付与され、運用画面にカメラ画像が表示されます。

メモ

- らくらくスタートでのカメラ登録は、ルーターを経由した異なるサブネットマスクのカメラでは行えません。
- セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、電源投入後20分経過するとIPアドレスを変更することができなくなります。20分以内にカメラの検出を行うか、20分以上経過してしまった場合はカメラの電源を入れ直してください。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
弊社製カメラの機種によっては、カメラの電源投入後20分以上経過した場合に「ONVIF」として検出されることがあります。その場合はカメラの電源を入れ直して再度検出を行ってください。
- 検出したカメラのDHCP設定が「On」の場合、本機はカメラのDHCP設定を強制的に「Off」に変更し、IPアドレスを自動付与します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、カメラの検出結果を反映せずに、らくらくスタートの初期画面 (日付・時刻を設定する画面) に戻ります。

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート] (つづき)

STEP7

登録したカメラ番号を変更したい場合、カメラ番号を入れ換えることができます。



画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、…16の順で表示されます（カメラ構成が4台の場合は4分割画面、9台の場合は9分割画面、12台または16台の場合は16分割画面、24台または32台の場合は2つの16分割画面となります）。

入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。

カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

【カメラの状態】

カメラ品番と各カメラの状態が一覧表示されます。

- 画像表示中 : 登録したIPアドレスまたは登録済みのIPアドレスで画像を表示しています。
- アドレス変更中 : IPアドレスを変更したカメラから画像を取得中です。
- 検出不可 : カメラの画像が取得できません。
- 認証エラー : 画像表示の認証に失敗しました。

重要

- 「検出不可」が表示された場合は、カメラの接続を確認し、カメラ登録をやり直してください。
- 「認証エラー」が表示された場合は、カメラの取扱説明書をお読みの上、カメラを初期化してからカメラ登録をやり直してください。
- 登録したカメラが正常に検出されない、またはカメラの設定を変更したい場合は、[基本設定] - [カメラ] の [カメラ登録] タブ (P.25ページ) で「登録情報の変更」を行ってください。

【更新】 ボタン

入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

【終了】 ボタン

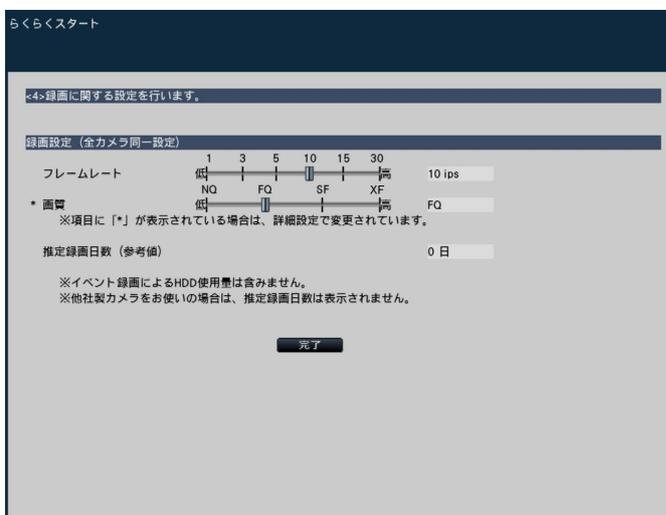
設定を終了して、設定メニューのトップ画面に戻ります。

【次へ】 ボタン

録画に関する設定に進みます。

STEP8

録画に関する設定を行います。らくらくスタートでの設定は、すべてのカメラで同一の設定となります。



【フレームレート】

録画のフレームレートを選択します。

1 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / 30 ips
初期設定 : 10 ips

メモ

- 60 ipsを設定する場合は、[基本設定] - [録画・イベント] の [録画設定] タブにある「録画詳細設定」で設定します (P.48ページ)。

【画質】

録画画像の画質を選択します。

NQ (Normal) : 標準画質
FQ (Fine) : 高画質
SF (Super Fine) : 最高画質
XF (Extra Fine) : 超高画質
初期設定 : FQ

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート] (つづき)

メモ

- 圧縮方式が「MJPEG」のカメラの場合、「XF」を選択すると「SF」が設定されます。
-

【推定録画日数（参考値）】

HDDに録画可能な日数を計算し、表示します。

メモ

- 推定録画日数は、月曜日から録画を開始した場合を想定して計算します。
 - イベント録画によるHDD使用量は含みません。
 - 他社製カメラをご使用の場合は、推定録画日数は表示されません。
 - 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。他社製のカメラが含まれていないときに指定レートで録画できない可能性がある設定になっていると、確認画面が表示されます。
-

STEP9

[完了] ボタンをクリックします。

→設定を保存し、設定メニューのトップ画面に戻ります。

基本設定を行う [基本設定]

基本設定では、日時表示に関する設定や録画動作など、基本的な設定を行います。
基本設定は、日時・Languageページ、カメラページ、録画・イベントページで構成されています。

基本設定の各ページを表示する

設定メニューで各ボタンをクリックします。



[日時・Language] ボタン：日時・Language（言語）ページを表示します。日時の設定やサマータイム設定などを行います。

[カメラ] ボタン：カメラページを表示します。ネットワークカメラの登録や設定を行います。

[録画・イベント] ボタン：録画・イベントページを表示します。録画のスケジュールやカメラの設定、顔照合に関する設定を行います。

日時や言語に関する設定を行う [日時・Language]

日時・Languageページは、[日付・時刻合わせ] タブ、[日時表示設定] タブ、[Language] タブで、構成されています。

[日付・時刻合わせ] タブ

現在の日付と時刻を設定します。設定方法は、「必要最小限の設定を行う」[らくらくスタート]（[18](#)ページ）をお読みください。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

[日時表示設定] タブ

日時の表示形式やタイムゾーン、サマータイムの設定、時刻合わせ方法などを設定します。



■表示形式

日付と時刻の表示形式を設定します。

メモ

- [カメラ設定] タブの「日時表示」(※30ページ)は、ここで設定した表示形式に従います。

[日付]

日付の表示形式を選択します。(表示例：2014年3月1日の場合)

yyyy/mm/dd : 2014/03/01
Mmm/dd/yyyy : Mar/01/2014
dd/Mmm/yyyy : 01/Mar/2014
mm/dd/yyyy : 03/01/2014
dd/mm/yyyy : 01/03/2014

初期設定：yyyy/mm/dd

[時刻]

時刻の表示形式を選択します。(表示例：午後3時00分00秒の場合)

24時間：15:00:00
12時間：03:00:00PM

初期設定：24時間

■タイムゾーン

タイムゾーンとサマータイムを設定します。

[タイムゾーン選択]

使用している地域に応じたタイムゾーンを選択します。日本で使用する場合は、「GMT+9:00」から変更する

必要はありません。

GMT-12:00 ~ GMT+13:00

初期設定：GMT+9:00

[サマータイム]

サマータイムの切り換え方法を選択します。日本で使用する場合は、「Out」から変更する必要はありません。

Out : サマータイム解除

Auto : 「サマータイム切換」の設定内容に従って、自動でサマータイムに切り換えます。

初期設定：Out

[サマータイム切換]

サマータイムの開始/終了日時を設定します。

[設定>] ボタンをクリックすると、サマータイム切換ページが表示されます。



基本設定を行う [基本設定] (つづき)

開始 (In) と終了 (Out) の日時を入力します。  アイコンをクリックするとカレンダー画面が表示されます。設定方法は「らくらくスタート」(P.18ページ)をお読みください。

サマータイム切替は10件まで登録できます。

また、設定したサマータイム切替日時を削除するには、「削除番号選択」で削除したい設定番号を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

[戻る] ボタンをクリックすると元のページに戻ります。

重要

- 開始 (In) と終了 (Out) の間隔を1時間以内に設定することはできません。

【自動時刻合わせ】

自動時刻合わせの方法を選択します。

Off : 自動時刻合わせをしません。

On : 本機後面のアラーム／コントロール端子から入力された信号により時刻を合わせます。信号が入力されると正時 (毎時00分) からの時間差が29分以内の場合、00分00秒に設定します。

初期設定 : Off

[Language] タブ

メインモニター、およびPCのウェブブラウザに表示する言語を選択します。日本語表示で使用する場合は、「日本語」から変更する必要はありません。



[Language]

日本語 / English / Français / Español /
Deutsch / Italiano / Русский / Português

初期設定 : 日本語

カメラに関する設定を行う [カメラ]

カメラページは、[カメラ登録] タブ、[カメラ設定] タブで構成されています。

[カメラ登録] タブ

カメラのネットワーク設定 (アドレスやポート番号)、メインモニターでの表示位置の変更などを行います。初回設定時は、「らくらくスタート」で検出・設定したカメラの情報が表示されます。



[カメラ検出]

ネットワークに接続されているカメラを検出して登録します。(☞26ページ)

[登録情報の変更]

「品番」、「アドレス」、「圧縮方式」を変更します。「設定 >」ボタンをクリックすると、登録情報の変更画面が表示され、設定を変更できます。(☞27ページ)
また、カメラとの通信で何らかの障害が発生している場合、「障害情報」に以下のように表示されます。

- 接続エラー : カメラと通信していません。
- 認証エラー : カメラのユーザー認証に失敗しました。
- カメラエラー : カメラからの応答が正しくありません。

[カメラ入れ換え]

カメラ番号を入れ換えることができます。「設定 >」ボタンをクリックすると、カメラ入れ換え画面が表示され、設定を変更できます (☞28ページ)。

メモ

- 障害情報が表示された場合は、カメラとの接続、カメラの設定 (☞カメラの取扱説明書) を確認してください。解決しない場合は、「らくらくスタート」で再度カメラ登録を行ってください。(☞18ページ)

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラを検出して登録する [カメラ検出]

[カメラ登録] タブで「カメラ検出」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [カメラ登録] タブに戻ります。



メモ

- 事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラは最大64台まで検出することができますが、ライセンス登録したカメラ台数分しか登録することができません。

【ポート選択】

NV300シリーズは、検出したいカメラが接続されているポートを選択します。

【新規検出】 ボタン

接続しているすべてのカメラを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

【追加検出】 ボタン

追加や交換したカメラのみを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

【No.】

NV300シリーズは、最大32台まで接続できます。ライセンス登録により、16、24、32台の構成が可能です。

NV250シリーズは、最大24台まで接続できます。ライセンス登録により、9、12、16、24台の構成が可能です。

【選択】

チェックを入れたカメラを登録します。空き番号は詰めて登録されます。

【品番】

弊社製カメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。

【検出結果】

- 新規 : 初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。
- 交換 : 本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。
- 追加 : 本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。
- 登録済み : すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。
- 消失 : 登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。
- 空欄 : カメラが検出されていません。

【IPアドレス】

検出したカメラで設定されているIPアドレスを表示します。

【自動付与】

チェックを入れたカメラのIPアドレスを自動的に設定します。

【スタートアドレス】

自動的にIPアドレスを設定するときの開始アドレスと順番を指定します。

メモ

- カメラ登録は、ルーターを経由した異なるサブネットマスクのカメラでは行えません。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

- セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、電源投入後20分経過するとIPアドレスを変更できなくなります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
- 検出したカメラのDHCP設定が「On」の場合、本機はカメラのDHCP設定を強制的に「Off」に変更し、IPアドレスを自動付与します。

- カメラのIPアドレスを自動付与にした場合、[OK] ボタンをクリックしたときにカメラに対してIPアドレスの設定を行います。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、検出結果を反映せずに [カメラ登録] タブに戻ります。

登録情報を変更する [登録情報の変更]

[カメラ登録] タブで「登録情報の変更」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定変更後 [OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [カメラ登録] タブに戻ります。

カメラ	品番	アドレス	圧縮方式	ユーザー名	パスワード	ポート番号
1						00080
2						00080
3						00080
4						00080
5						00080
6						00080
7						00080
8						00080
9						00080
10						00080
11						00080
12						00080
13						00080
14						00080
15						00080
16						00080

登録情報を変更し、[OK]ボタンをクリックしてください。

登録情報を削除するには、削除するカメラのアドレスを空欄にするか、削除するカメラ番号を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください。

削除番号選択: [] [削除]

[OK] [キャンセル]

[カメラ]

NV300シリーズは、最大32台まで接続できます。ライセンス登録により、16、24、32台の構成が可能です。

NV250シリーズは、最大24台まで接続できます。ライセンス登録により、9、12、16、24台の構成が可能です。

[品番]

本機に登録済みのカメラの品番が表示されます。(空欄: カメラ未登録)

[▼] ボタンをクリックすると、カメラ区分から選択することができます。カメラ区分については、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。通常は変更する必要はありません。

[アドレス]

本機に登録済みのアドレスが表示されます。ソフトウェアでアドレスを変更できます。入力は半角英数字(ハイフン(-)、ピリオド(.)含む) 255文字以内に入力してください。

メモ

- ホスト名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。

[圧縮方式]

画像の圧縮方式を選択します。

H.264 / MJPEG

メモ

- 圧縮方式を「MJPEG」に設定すると、ライブ画配信や録画のフレームレート設定が「5 ips」に自動的に変更されます。(45ページ)
- 圧縮方式を「H.264」に設定すると、画質設定で「XF」が設定できるようになります。
- 圧縮方式を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

【ユーザー名】

カメラにアクセスし、ログインするためのユーザー名をソフトキーボード (☞16ページ) から入力します (半角英数字32文字以内)。アクセスレベルが「管理者」のユーザー名を登録してください。

【パスワード】

登録した「ユーザー名」のパスワードをソフトキーボード (☞16ページ) から入力します。(半角英数字32文字以内)

【ポート番号】

カメラが使用するポート番号を1～65535の範囲で設定します。
初期設定：80

【削除番号選択】

登録情報の削除や接続していたカメラを外すときは、カメラ番号を選択し、[削除] ボタンをクリックするか、該当するカメラのIPアドレスを「000.000.000.000」に設定します。

メモ

- ポート番号は右詰めで入力してください。(例：ポート番号が80の場合、00080と設定)。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

カメラ番号を入れ換える [カメラ入れ換え]

[カメラ登録] タブで「カメラ入れ換え」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、・・・16の順で表示されます (カメラが構成が4台の場合は4分割画面、9台の場合は9分割画面、12台または16台の場合は16分割画面、24台または32台の場合は2つの16分割画面となります。)

入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

【更新】 ボタン

入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

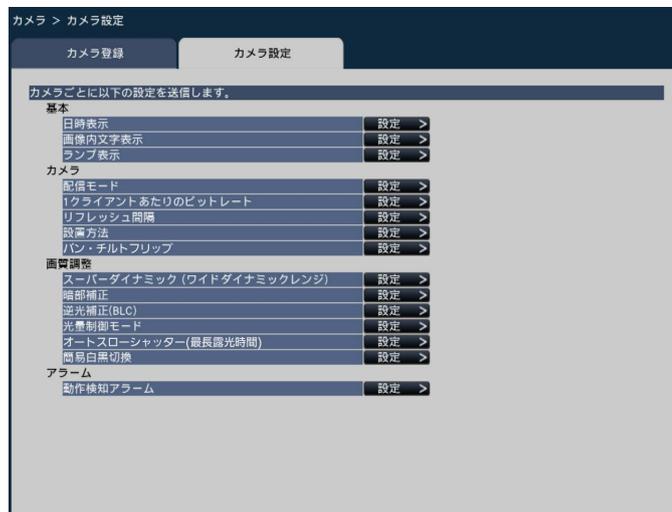
【戻る】 ボタン

設定を保存して [カメラ登録] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

[カメラ設定] タブ

カメラ画像内の日時表示や文字表示、カメラのリフレッシュ間隔、動作検知アラーム、光量制御モードなどの設定をカメラに送信します。それぞれの設定項目の「設定>」ボタンをクリックして、設定画面を表示します。



メモ

- 本機から設定できるのは弊社製の一部のカメラです。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。また、カメラによっては対応していない機能があります。カメラごとの詳細仕様については、カメラの取扱説明書をお読みください。
- カメラの現在の設定内容を本機で確認することはできません。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

日時表示を設定する [日時表示]

カメラごとに日時の表示位置を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「日時表示」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



■設定項目

【表示】

日時表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に日時が表示されるほか、録画画像にも日時が録画されます。

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

- On : 日時表示する
- Off : 日時表示しない

メモ

- 表示形式は、[日時表示設定] タブ (P.23ページ) の設定に従います。

【位置】

画像上の日時の表示位置を選択します。

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、表示位置を選択します。

左上/左下/右上/右下

メモ

- 「画像内文字表示」(P.31ページ) の表示位置は、ここで設定する「日時表示」の「位置」と同じになります。

■カメラ選択

日時表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

日時表示の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

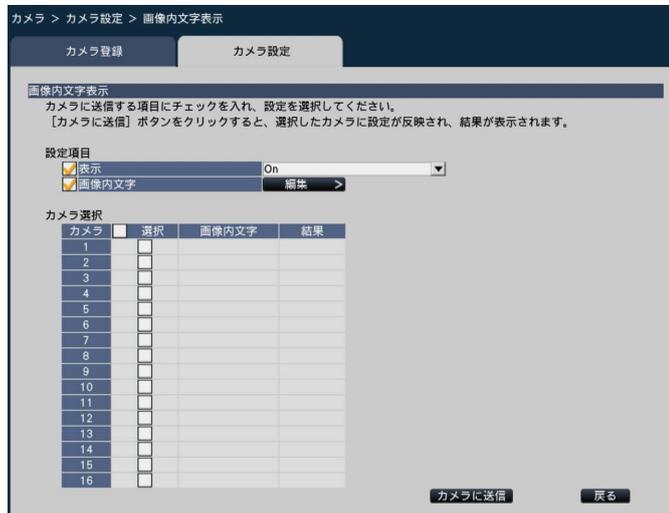
【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

画像内の文字表示を設定する [画像内文字表示]

カメラごとに表示させる文字と表示するかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
[カメラ設定] タブで「画像内文字表示」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



■設定項目

【表示】

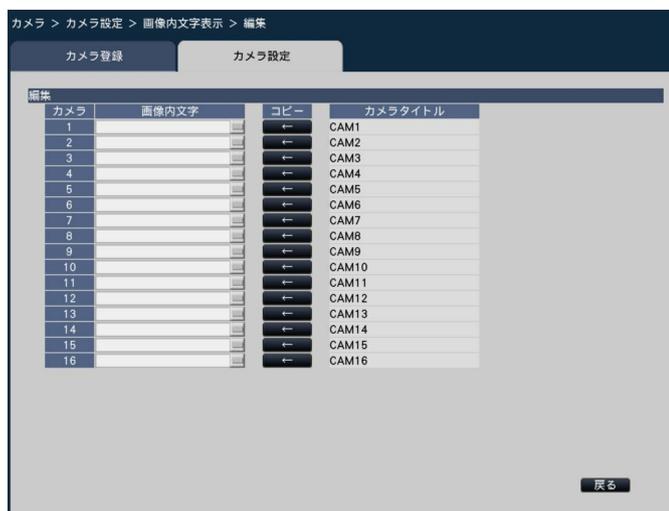
カメラ画像内にタイトル文字を表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に文字が表示されるほか、録画画像にも文字が録画されます。

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

- On : 文字表示する
- Off : 文字表示しない

【画像内文字】

画像内文字情報をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、画像内に表示する文字を編集します。[編集>] ボタンをクリックすると、以下の文字編集の画面が表示されます。



●【画像内文字】

画像内で表示する文字列をソフトキーボード (P.16 ページ) から入力します (半角16文字まで)。

入力可能文字 : 0 ~ 9、A ~ Z (大文字)、半角記号 (! # \$ % () * + , - . / : ; = ?)

●【カメラタイトル】

モニターページの [メインモニター] タブで登録したカメラタイトルが表示されます (P.55ページ)。

●【コピー】 ボタン

モニターページの [メインモニター] タブで登録したカメラタイトルを画像内文字として使用することができます。クリックすると、カメラタイトルが「画像内文字」にコピーされます。

●【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。画面が閉じます。

■カメラ選択

画像内文字表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

画像内文字表示の設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

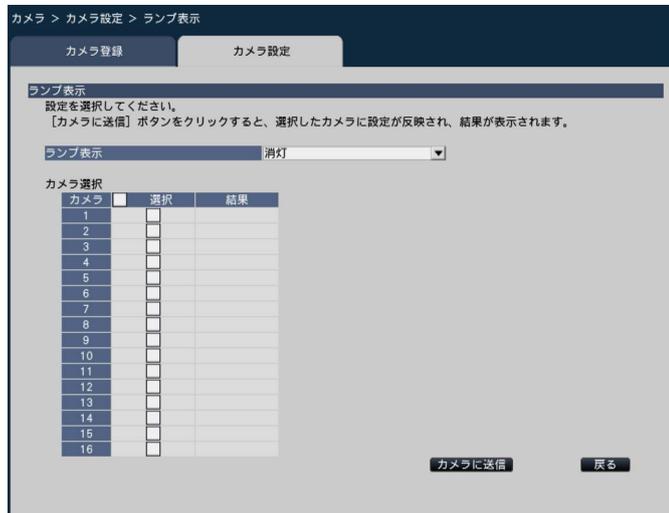
設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

ランプ点灯状態を設定する [ランプ表示]

カメラごとに、リンクランプ、アクセスランプ、状態表示ランプなどのランプの点灯／消灯方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「ランプ表示」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[ランプ表示]

- 点灯 : すべてのランプが状態に応じて点灯します。
- 点灯 (アクセス時) : 画像閲覧時に状態表示ランプのみが点灯します。
- 消灯 : すべてのランプを消灯します。

■カメラ選択

ランプ表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

ランプ表示の設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

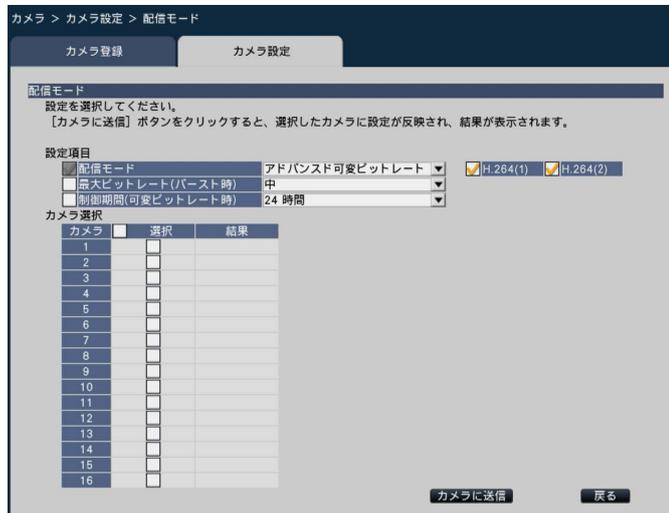
設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラの画像配信モードを設定する [配信モード]

カメラごとに配信モードの設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「配信モード」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



■設定項目

【配信モード】

H.264画像の配信モードを以下から設定します。

配信モードの設定はH.264(1)、H.264(2)のチェックを入れたストリームに対してのみ行います。

フレームレート指定

：H.264画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。

アドバンスド可変ビットレート

：H.264画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「制御期間(可変ビットレート時)」で設定した期間での配信量の平均が、本機が指定したビットレートになるように配信します。

【最大ビットレート (バースト時)】

H.264ビットレートが、「1クライアントあたりのビットレート」をどれだけ超えることを許容するか、以下から選択します。

高、中、低

【制御期間 (可変ビットレート時)】

録画するH.264のビットレートを制御する期間を以下から選択します。

1時間、6時間、24時間、1週間

■カメラ選択

配信モードの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

配信モードの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

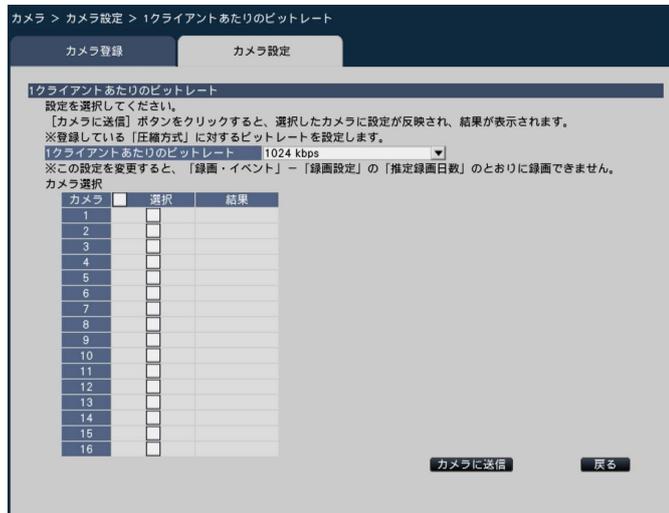
設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

ビットレートを設定する [1クライアントあたりのビットレート]

カメラごとに、圧縮方式がH.264の場合の1クライアントに対するビットレートを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「1クライアントあたりのビットレート」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[1クライアントあたりのビットレート]

64 kbps / 128 kbps / 256 kbps /
384 kbps / 512 kbps / 768 kbps /
1024 kbps / 1536 kbps / 2048 kbps /
3072 kbps / 4096 kbps / 6144 kbps /
8192 kbps

重要

- カメラのビットレートを変更すると、カメラからの画像配信が一時的に停止し、その間は録画されません。

■カメラ選択

1クライアントあたりのビットレートの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

1クライアントあたりのビットレートの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

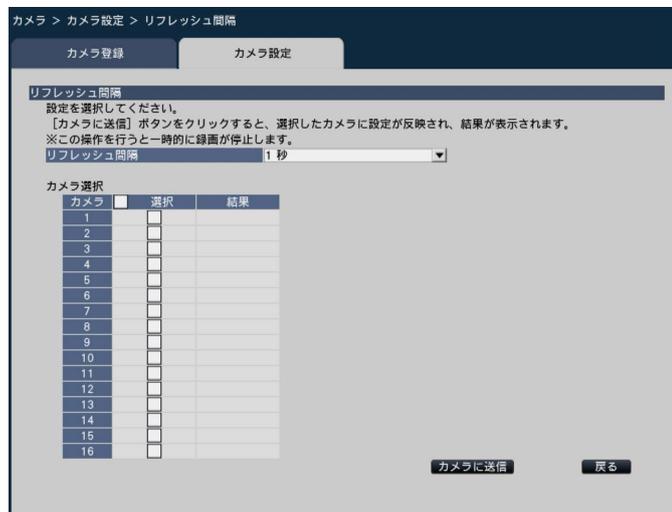
[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

リフレッシュ間隔を設定する [リフレッシュ間隔]

カメラごとに画像のリフレッシュ間隔を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
[カメラ設定] タブで「リフレッシュ間隔」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[リフレッシュ間隔]

画像表示の更新間隔を選択します。ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短くすると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。

0.2秒 / 0.5秒 / 1秒 / 2秒 / 3秒

■カメラ選択

リフレッシュ間隔の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

リフレッシュ間隔の設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

重要

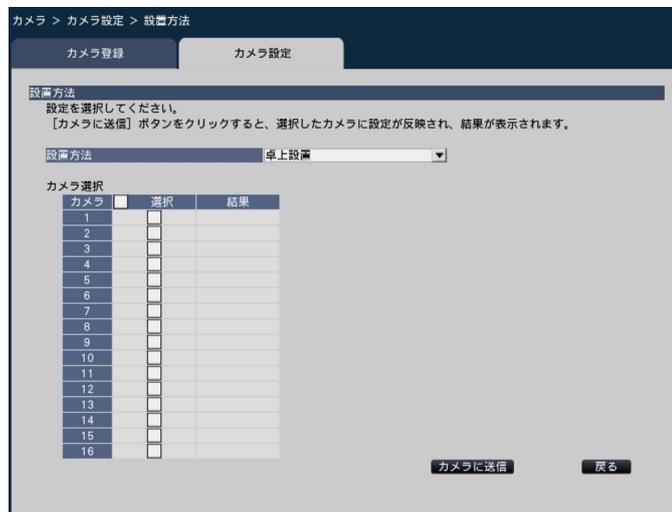
- カメラのリフレッシュ間隔を変更する設定をカメラに送信すると、カメラからの画像配信が一時的に停止し、その間は録画されません。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラの設置方法を設定する [設置方法]

カメラごとに設置方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「設置方法」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[設置方法]

卓上設置 : 卓上に設置する場合に設定します。

天井設置 : 天井に設置する場合に設定します。

壁設置 : 壁に設置する場合に設定します。

■カメラ選択

設置方法の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

設置方法の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

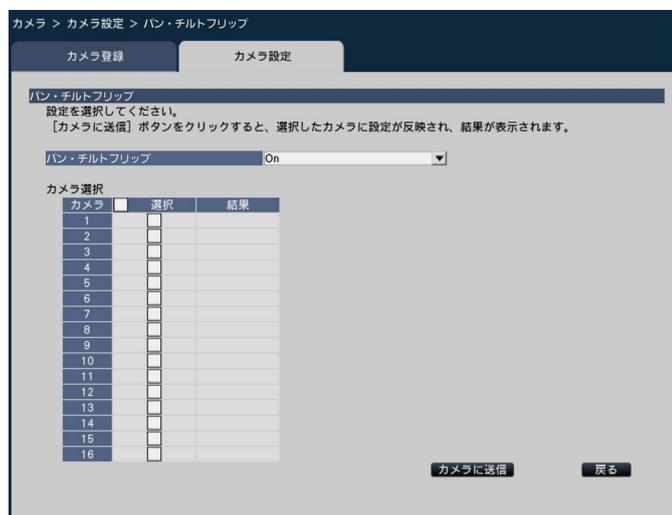
メモ

- カメラ画像を上下反転させるには、天井設置を選択してください。
 - 全方位カメラを登録すると、天井設置で設定されています。壁設置する場合は、壁設置を選択してください。
-

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

パン・チルトフリップを設定する [パン・チルトフリップ]

カメラごとにパン・チルトフリップ機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
[カメラ設定] タブで「パン・チルトフリップ」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[パン・チルトフリップ]

疑似的な360度エンドレス旋回機能を働かせるかどうかを選択します。

- On : パン・チルトフリップ機能を働かせます。
- Off : パン・チルトフリップ機能は働きません。

■カメラ選択

パン・チルトフリップの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

パン・チルトフリップの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

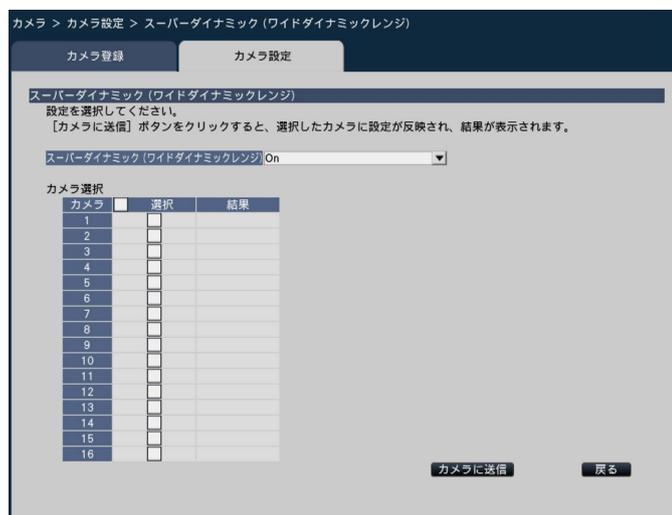
[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

スーパーダイナミックを設定する [スーパーダイナミック (ワイドダイナミックレンジ)]

カメラごとにスーパーダイナミック機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
[カメラ設定] タブで「スーパーダイナミック (ワイドダイナミックレンジ)」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[スーパーダイナミック (ワイドダイナミックレンジ)]

スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを選択します。

- On (High) : スーパーダイナミック機能を働かせます。On (High) では、コントラストを重視して階調を補正します。
- On : スーパーダイナミック機能を働かせます。Onでは、感度を重視して階調を補正します。
- Off : スーパーダイナミック機能を停止します。

■カメラ選択

スーパーダイナミックの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

スーパーダイナミックの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

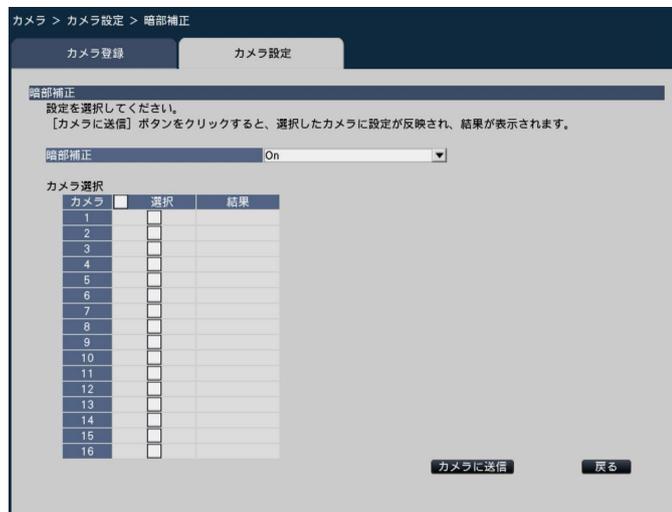
[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラの暗部補正機能を設定する [暗部補正]

カメラごとに暗部補正機能を有効にするかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
[カメラ設定] タブで「暗部補正」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【暗部補正】

暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。

On：暗部補正機能を有効にします。

Off：暗部補正機能を停止します。

■カメラ選択

暗部補正の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

暗部補正の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

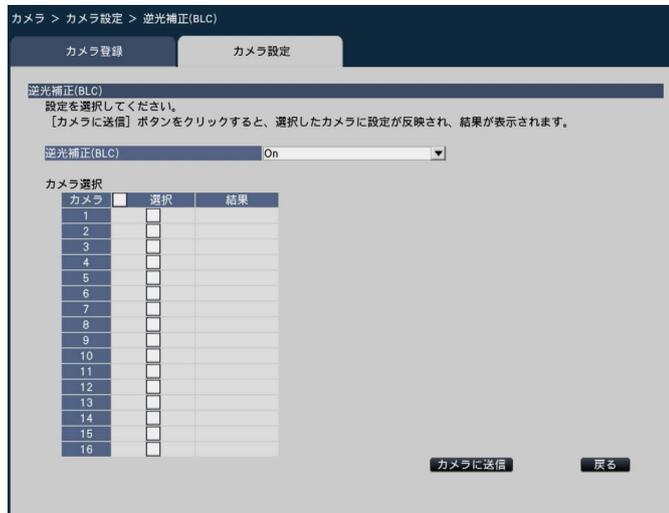
重要

- 「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラの逆光補正機能を設定する [逆光補正 (BLC)]

カメラごとに逆光補正 (BLC) 機能を有効にするかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
[カメラ設定] タブで「逆光補正 (BLC)」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【逆光補正 (BLC)】

「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。

逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。

On：マスクエリアが自動で設定されます。

Off：マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。

■カメラ選択

逆光補正の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

逆光補正の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

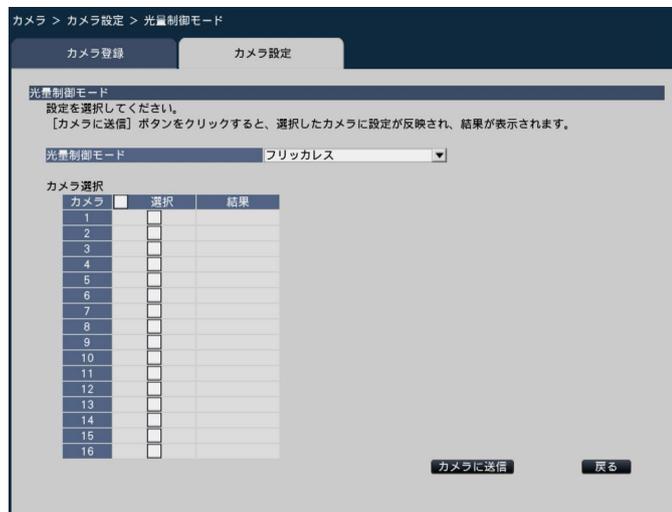
設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

光量制御を設定する [光量制御モード]

カメラごとに光量制御する方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「光量制御モード」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[光量制御モード]

- 屋外撮影 : 明るさ（照度）によって電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。
- フリッカレス : 蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。（50 Hz地域）
- フリッカレス（60 Hz） : 同上（60 Hz地域）

■カメラ選択

光量制御モードの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

光量制御モードの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

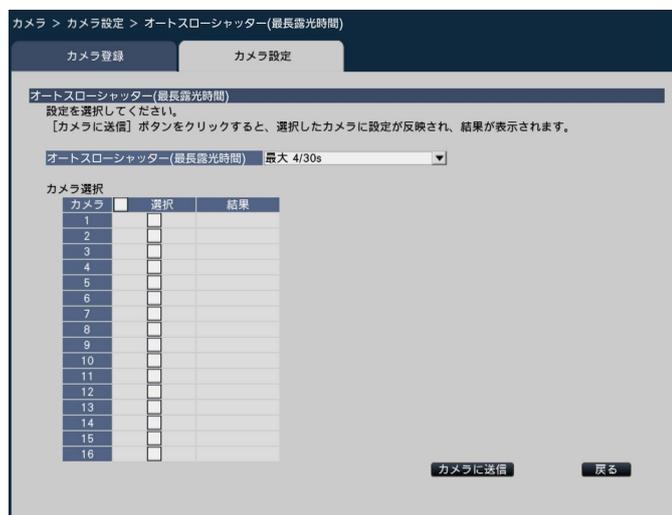
メモ

- 「屋外撮影」を選択すると、蛍光灯下ではフリッカーが発生することがあります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラのオートスローシャッターを設定する [オートスローシャッター (最長露光時間)]

カメラごとにオートスローシャッターの設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
[カメラ設定] タブで「オートスローシャッター (最長露光時間)」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[オートスローシャッター (最長露光時間)]

オートスローシャッターは、センサーの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。
設定できる値は以下のとおりです。

Off (1/30 s) / 最大2/30 s / 最大4/30 s /
最大6/30 s / 最大10/30 s / 最大16/30 s

■カメラ選択

オートスローシャッターの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

オートスローシャッターの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

重要

- オートスローシャッターを設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。

メモ

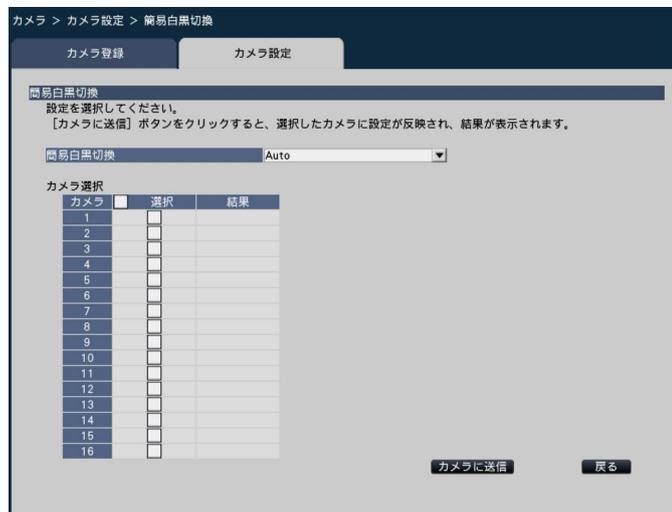
- 「最大16/30 s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。
- 「ゲイン」を「Off」に設定した場合は設定できません。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラの白黒画像切り換えを設定する [簡易白黒切換]

カメラごとに白黒切換の設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「簡易白黒切換」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【簡易白黒切換】

白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。

Off : カラー画像が選択されます。

Auto : カメラの周囲の明るさ（照度）が約1.0 lx以下で白黒画像に切り換えます。なお、画像が切り換わるまでに、時間がかかります。

■カメラ選択

簡易白黒切換の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

簡易白黒切換の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

動作検知アラームを設定する [動作検知アラーム]

カメラごとに動作検知アラーム機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「動作検知アラーム」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[動作検知アラーム]

画像内の変化（動作）が検知されるとアラームを出力する動作検知（VMD：Video Motion Detection）アラーム機能を使用するかしないかを選択します。動作検知アラームについては、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

On : アラームを検出する

Off : アラームを検出しない

[検出感度]

1（低い）～ 15（高い）

■カメラ選択

動作検知アラームの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

動作検知アラームの設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

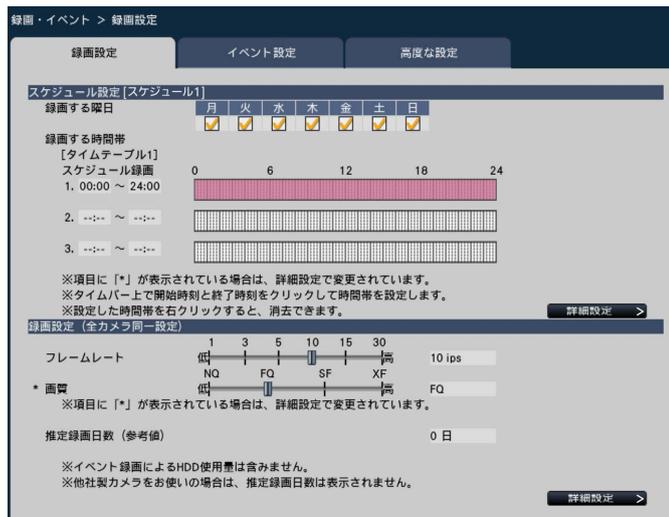
設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

録画やイベントに関する設定を行う [録画・イベント]

録画・イベントページは、[録画設定] タブ、[イベント設定] タブ、[高度な設定] タブで、構成されています。

録画の設定を行う [録画設定] タブ

スケジュールによる録画を設定します。録画する曜日や時間帯、録画のフレームレートや画質を設定します。



■スケジュール設定

事前に設定したスケジュールに従い録画を行います。曜日と時間帯を設定します。

【録画する曜日】

録画したい曜日を選択します。録画する曜日にはチェックを入れます。

【録画する時間帯】

「タイムテーブル1」に3つのスケジュール録画(時間帯)を設定できます。タイムバーは1目盛り15分で、24時間を表しています。

開始時刻と終了時刻を設定するには、タイムバー上の任意の時刻をクリックしてください。設定された時間帯は、タイムバーが赤くなります。

メモ

- タイムテーブル1には初期設定で24時間のスケジュール録画が設定されています。設定済みの時間帯を取り消すには、その時間帯を右クリックします。
- 録画時間帯は、タイムバー上で開始時刻から終了時刻までをマウスでドラッグして設定することもできます。

- 3つの時間帯の間で、時間が重なる設定はできません。他のタイムバー上ですでに設定された時刻を設定しようとする、重なる時間の直前または直後の時刻が設定されます。

【詳細設定>】 ボタン

スケジュール詳細設定ページを表示します。3つのスケジュール録画に加え、3つのイベント録画を設定できます。また、スケジュール設定も2パターンまで設定できます。(46ページ)

■録画設定

録画のフレームレート、画質を設定します。すべてのカメラが同一の設定になります。

【フレームレート】

録画のフレームレートを選択します。

1 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / 30 ips

初期設定：10 ips

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

重要

- 圧縮方式がMJPEGの場合は、10 ips / 15 ips / 30 ipsは選択できません。また、初期設定は「5 ips」となります。

[画質]

録画の画質を選択します。

- NQ (Normal) : 標準画質
- FQ (Fine) : 高画質
- SF (Super Fine) : 最高画質
- XF (Extra Fine) : 超高画質

初期設定 : FQ

メモ

- 圧縮方式が「MJPEG」のカメラの場合、「XF」を選択すると「SF」が設定されます。

[推定録画日数 (参考値)]

HDDに録画可能な日数を計算し、表示します。

メモ

- 推定録画日数は、月曜日から録画を開始した場合を想定して計算します。
- イベント録画によるHDD使用量は含みません。
- 他社製カメラをお使いの場合は、推定録画日数は表示されません。
- 設定項目の前に「*」が表示されている場合は、その項目が録画詳細設定ページで変更されていることを表します。
- 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。他社製のカメラが含まれていなく、指定レートで録画できない可能性がある設定になっている場合には、確認画面が表示されます。

[詳細設定>] ボタン

録画詳細設定ページ (カメラ別) を表示します。カメラごとに録画設定を行うことができます。(P.48ページ)

スケジュール録画の詳細を設定する

2パターンのスケジュールを設定することができます。それぞれのスケジュールでは、スケジュール録画とイベント録画をタイムテーブル1と2にそれぞれ最大3つまで設定できます。

「スケジュール設定」で「詳細設定>」ボタンをクリックすると、スケジュール詳細設定ページが表示されます。



■録画する曜日

曜日ごとにどのタイムテーブルに従って動作するかを選択します。「●」は選択状態、「○」は非選択状態を表します。

タイムテーブル1 : タイムテーブル1に従い録画します。

タイムテーブル2 : タイムテーブル2に従い録画します。

Off : スケジュール録画もイベント録画も行いません。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

■イベント録画

アラーム発生時のイベント録画時間とアラーム発生前のプレ録画時間を設定します。

[イベント録画時間]

アラーム発生時の録画時間を設定します。

2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分 / 15分

Manual : アラーム信号が入力されている間だけ録画を行います。(最低8秒間)

Ext. : アラーム動作を解除するまで録画し続けます。

初期設定 : 30秒

[プレ録画時間]

アラーム発生前にプレ録画時間を設定します。

0秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒

初期設定 : 0秒

[メール]

イベント発生時、アラームメールを送信する場合はチェックを入れます。

[独自アラーム]

イベント発生時、独自アラームプロトコルを使って、発生したイベントの情報をPCへ自動的に通知する場合はチェックを入れます。

[前ページ] / [次ページ]

設定するスケジュール設定を切り換えます。

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[録画設定] タブに戻ります。

メモ

- 設定した時間より長い時間録画されることがあります。
- 「0秒」に設定するとプレ録画されません。
- 音声付きで録画する設定の場合、プレ録画の先頭に音声録音されないことがあります。
- 高解像度、高画質、高レートで録画する場合、プレ録画時間を10秒または15秒に設定しても、プレ録画が約5秒間になります。

■録画する時間帯

タイムテーブル1と2でそれぞれスケジュール録画とイベント録画を3つずつ設定できます。同じタイムテーブル内では、スケジュール録画よりイベント録画が優先されます。

[スケジュール録画] (☞45ページ)

[イベント録画]

アラーム発生により録画を行う時間帯を設定します。設定していない時間帯には、アラームが発生しても録画を行いません。タイムバーの設定方法については45ページをお読みください。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

録画設定をカメラごとに設定する (録画詳細設定)

カメラごとに、解像度やフレームレート、画質などを設定できます。

「録画設定」で「詳細設定>」ボタンをクリックすると、録画詳細設定ページが表示されます。



【品番】

接続しているカメラの品番が表示されます。

(空欄：カメラ未登録)

【圧縮方式】

カメラ登録時に設定した圧縮方式が表示されます。

【解像度】

録画する画像の解像度を選択します。

アスペクト比 4:3

QVGA (320×240) / VGA (640×480) /

SXVGA (1280×960) /

SVGA (800×600) / QXGA (2048×1536)

アスペクト比 16:9

QVGA (320×180) / HVGA (640×360) /

HD (1280×720) / FHD (1920×1080)

初期設定：VGA (640×480)

重要

- カメラの品番および圧縮方式によって、選択できる解像度が異なります。

メモ

- 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。
- 解像度を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

【レート】 (フレームレート) (☞45ページ)

メモ

- カメラの品番、圧縮方式、解像度の設定によっては、60 ipsを選択できるようになります。
- 1920×1080 p/60 Hz (720×480 p/60 Hz) に対応したモニターをメインモニターに使用すると、60 ipsの画像を1画面で表示できます (メインモニターの1画面表示以外またはサブモニターは30 ipsで表示されます)。

【画質】 (☞46ページ)

【録音】

録画と同時に音声を録音するかを選択します。

On : 録音します。

Off : 録音しません。

初期設定：Off

【スケジュール設定】

どのスケジュール設定に従って録画するかを選択します。

スケジュール1 : スケジュール1の設定に従って録画します。

スケジュール2 : スケジュール2の設定に従って録画します。

初期設定：スケジュール1

【推奨録画日数】 (☞46ページ)

【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。「録画設定」タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

イベントの設定を行う [イベント設定] タブ

アラーム出力時間やブザーの鳴動時間など、イベントに関する設定を行います。



■アラーム動作

アラーム出力時間や自動復帰時間などを設定します。

【出力時間】

アラーム発生時に本機の後面端子から出力するアラーム信号の出力時間を選択します。「0秒」に設定するとアラーム信号を出力しません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : アラーム動作を解除するまでアラーム出力し続けます。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」(125ページ)をお読みください。

Rec. : イベント録画中、アラーム信号を出力し続けます。

初期設定 : 2秒

【ブザー鳴動時間】

アラーム発生時の本機のブザー鳴動時間を設定します。「0秒」に設定するとブザーは鳴りません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : アラーム動作を解除するまでブザー鳴動し続けます。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」(125ページ)をお読みください。

Rec. : イベント録画中、ブザー鳴動し続けます。

初期設定 : 2秒

【自動復帰時間】

アラーム動作を自動的に復帰させる時間を選択します。

2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 3分 / 5分

Ext. : アラーム動作を自動的に復帰させません。アラーム動作の解除方法については、「アラーム動作を解除する」(125ページ)をお読みください。

初期設定 : Ext.

メモ

- 「出力時間」「ブザー鳴動時間」が「自動復帰時間」より長く設定されている場合は、「自動復帰時間」の設定に従います。

【メッセージ表示】

アラーム発生時にネットワーク経由でPC画面上にメッセージを表示するかどうかを選択します。

On : メッセージを表示します。

Off : メッセージを表示しません。

初期設定 : On

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

[メインモニター連動動作]

メインモニターが操作画面表示中の場合、アラーム発生に連動して1画面表示に切り換えるかを選択します。

- On : 連動動作します。
- On (アラーム確認/復帰) : 連動動作します。
- Off : 連動動作しません。

初期設定 : Off

■イベント別詳細設定

各アラーム（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム、顔照合アラーム*）の詳細設定を行います。各項目の [詳細設定>] ボタンをクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

* ビジネスインテリジェンス拡張キット（別売り）のライセンスを登録した場合のみ。

メモ

- 「On (アラーム確認/復帰)」 に設定すると、連動動作中に別のアラームが発生しても画面は切り換わず、同じカメラ画像が表示され続けます。アラーム/コントロール端子のアラーム復帰入力で別のカメラに切り換わります。連動動作中に複数のアラームが発生すると発生した順番にカメラ番号が記憶されます。
- イベント別詳細設定で録画カメラに割り当てられているカメラを1画で表示します。
- 「再生中」「設定メニュー表示中」は連動動作しません。
- 自動復帰時間が経過すると、元の画面に戻りません（連動動作中にマウスが操作されると、元の画面には戻りません）。

[イベント種別選択]

[メインモニター連動動作] で「On」または「On (アラーム確認/復帰)」を選択した場合に表示されます。連動動作するイベント種別を選択します。

[画面表示]

[メインモニター連動動作] で「On」または「On (アラーム確認/復帰)」を選択した場合に表示されます。連動動作をどの画面で表示するかを選択します。

- 操作画面表示 : 操作画面で表示します。
- 全画面表示 : 全画面で表示します。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

端子アラームの設定を行う [端子アラーム詳細設定]

本機のアラーム入力端子に防犯ドアセンサーなどの外部機器からアラーム信号が入力されたときの録画の設定を行います。

本機後面のアラーム入力端子ごとに、録画に必要な設定を行います。



■端子アラーム詳細設定

【動作モード】

アラーム信号が入力されたときの動作を選択します。

録画+アラーム動作 : すべてのイベント動作を設定に従って行います。

録画のみ : 録画とイベントログへの記録、カメラのプリセット動作のみ行います。

Off : イベントログへの記録のみ行います。

初期設定 : 録画+アラーム動作

【アラーム履歴】

アラーム履歴を保存するかどうかを選択します。

保存する : 履歴を保存します

保存しない : 履歴を保存しません

初期設定 : 保存する

【端子別設定】

端子番号1～9について、各設定を行います。

【録画カメラ】

録画するカメラを選択します。「Off」に設定すると録画を行いません。

全カメラ : 登録されている全てのカメラで録画を行います

初期設定 : 端子番号と同じ番号のカメラ

メモ

- 登録カメラ台数が多い場合、録画カメラで全カメラを設定しているとカメラによってアラーム録画の開始が遅くなることがあります。プレ録画の使用をおすすめします。

【プリセット】

アラーム信号入力時に動作させるカメラプリセットポジション (001～256) を選択します。「---」に設定するとプリセットポジション移動を行いません。

【端子出力】

アラーム信号入力時に、本機後面のアラーム出力端子からアラーム信号を出力するかどうかを選択します。

On : アラーム信号を出力する

Off : アラーム信号を出力しない

初期設定 : On

【端子入力】

端子ごとにアラーム信号の入力方法を選択します。

N.O. (Normally Open)

: ショート時に信号が入力されます。

N.C. (Normally Close)

: オープン時に信号が入力されます。

初期設定 : N.O.

【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

メモ

- カメラのプリセットポジションについては、「カメラを操作する」(115ページ)をお読みください。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

カメラサイトアラームの設定を行う [カメラサイトアラーム詳細設定]

カメラの独自アラーム信号を受信して動作するカメラサイトアラーム入力時の動作を設定します。



「カメラサイトアラーム詳細設定」の「動作モード」「アラーム履歴」、「カメラ別設定」の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」については、「端子アラームの設定を行う [端子アラーム詳細設定]」（[51ページ](#)）をお読みください。

【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

コマンドアラームの設定を行う [コマンドアラーム詳細設定]

ネットワークを経由して、PCなどからコマンドを受信して動作するコマンドアラーム入力時の動作について設定します。



「コマンドアラーム詳細設定」の「動作モード」「アラーム履歴」、「コマンド番号別設定」の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」については、「端子アラームの設定を行う [端子アラーム詳細設定]」（[51ページ](#)）をお読みください。

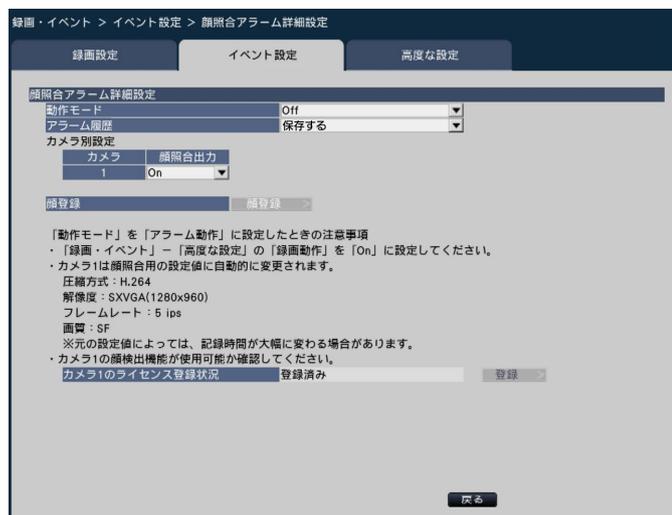
【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

顔照合アラームの設定を行う [顔照合アラーム詳細設定]

本機にビジネスインテリジェンス拡張キット（別売り）のライセンスを登録することで、設定が可能になります。あらかじめ登録した顔画像をカメラのライブ画像内から検出すると動作する顔照合アラームについて設定します。顔照合機能の詳細や使用上の注意については、「顔照合機能について」（[P.6ページ](#)）をお読みください。また、顔照合アラームについては、ビジネスインテリジェンス拡張キットの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。



設定のしかたなど詳細については、ビジネスインテリジェンス拡張キットの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

顔画像を登録する [顔照合登録]

顔画像を新規に登録したり、すでに登録済みの顔画像を確認したり、名称をつけることができます。



設定のしかたなど詳細については、ビジネスインテリジェンス拡張キットの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

基本設定を行う [基本設定] (つづき)

録画・イベントの高度な設定を行う [高度な設定] タブ

ここでは、録画に関する特殊な設定を行います。録画動作、アラームマスク時間、サイトアラーム受信ポート番号を設定します。



【録画動作】

すべての録画動作を停止するかどうかを設定します。主に、電源を切る前にHDDへのアクセスを停止させるために「Off」に設定します。

On : 録画動作を行います。

Off : すべての録画動作を停止します。

初期設定 : On

重要

- 「Off」に設定した場合は、運用再開時には必ず設定を「On」に戻してください。

【アラームマスク時間】

同じカメラで同じ種類のイベント（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム、顔照合アラーム）が連続して発生しても、イベント動作を行わないようにする期間を設定します。

2秒 / 3秒 / 5秒 / 10秒

初期設定 : 2秒

【サイトアラーム受信ポート番号】

カメラのサイトアラームを受信するポート番号を選択します。

初期設定 : 1818

メモ

- ポート番号は右詰めを入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

モニターの設定を行う [モニター]

設定メニュー [詳細設定] のモニターページでは、本機に接続しているメインモニターやサブモニター、ネットワークを経由して接続しているPC画面の表示に関する設定を行います。

多画面表示の設定や、ライブ画像のシーケンス表示など画像の切り換えに関する設定もこのモニターページで行います。

モニターページは、[メインモニター] タブ、[サブモニター] タブ、[高度な設定] タブで構成されています。

メインモニターの設定を行う [メインモニター]

カメラタイトルの表示位置など、メインモニターの表示に関する設定を行います。



■カメラタイトル

【表示】

カメラタイトルをメインモニターに表示するかどうかを設定します。

On : カメラタイトルを表示します。

Off : カメラタイトルを表示しません。

初期設定 : On

【位置】

画像上のカメラタイトルの表示位置を選択します。

左上 / 左下 / 右上 / 右下

初期設定 : 右上

【カメラタイトル】

カメラごとに表示するカメラタイトルをソフトキーボードから (P.16) 入力します (14文字まで)。

メモ

- カメラに設定する日時表示 (P.30) や画像内文字表示 (P.31) と同時に使用する場合は、表示が重ならないように位置の設定をしてください。
- ここで設定するカメラタイトルは、録画画像には録画されません。
- カメラタイトルの入力には、PCのウェブブラウザからは漢字の入力も可能ですが、内蔵フォントにない文字は表示できません。

モニターの設定を行う【モニター】（つづき）

サブモニターの設定を行う【サブモニター】

サブモニターに表示するカメラ画像の選択や、画像の切り換えの間隔などを設定します。



■表示設定

カメラ画像のシーケンス動作（画像の切り換え）を設定します。

【動作モード】

カメラ画像の表示方法を設定します。

1画ライブシーケンス

：1画面のカメラ画像を切り換えて表示します。

4画ライブシーケンス

：4分割画面を切り換えて表示します。

9画ライブシーケンス

：9分割画面を切り換えて表示します。

アラーム端子連動

：端子アラームの端子番号1～9の入力信号に従って、表示カメラをそれぞれカメラ1～9に切り換えて、1画面で表示します。

16分割画面（NV300シリーズのみ）

：16分割画面を固定して表示します。

【切換間隔】

カメラ画像を切り換える間隔を設定します。

3秒／5秒／10秒

初期設定：5秒

メモ

- NV250シリーズのカメラライセンス数が4の場合は、「9画ライブシーケンス」は表示されません。
- 制御信号の入力方法（N.O.、N.C.）は端子アラーム詳細設定（51ページ）の「端子入力」の設定に従います。

【カメラ選択】

シーケンス表示するカメラを選択します。

表示するカメラにチェックを入れます。選択されたカメラ画像が番号順に表示されます。

メモ

- 【動作モード】で4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンスまたは16分割画面動作時は、選択したカメラを先頭から詰めて表示します。

【シークレットビュー】

シークレットビュー機能は、メインモニターで1画面表示しているカメラ画像または多画面表示時に選択しているカメラ画像をサブモニターで黒画表示する機能です。シークレットビューを使用するかどうかを設定します。

On：シークレットビューを使用します

Off：シークレットビューを使用しません。

初期設定：Off

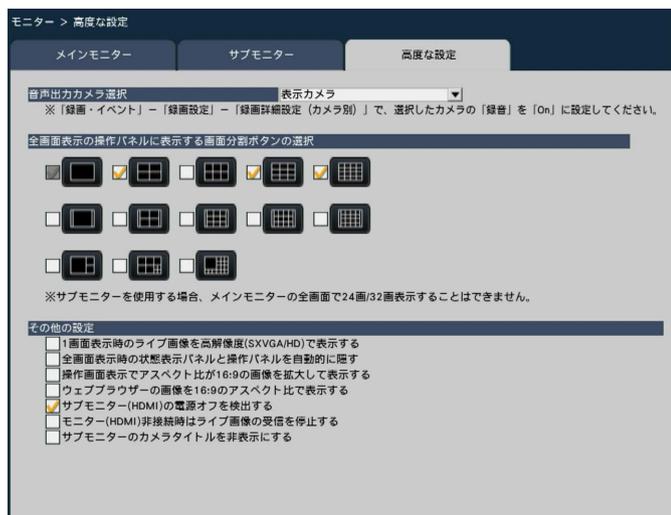
メモ

- 1画ライブシーケンス動作時は、シークレットビューの画像はスキップ（非表示）となります。
- メインモニターで画像が切り換えられると、サブモニターの画像が一瞬黒画になることがあります。

モニターの設定を行う【モニター】（つづき）

モニターに関するその他の設定を行う 【高度な設定】

モニターの音声出力設定や全画面表示時に表示する画面分割ボタンの選択などを行います。



■音声出力カメラ選択

本機から出力する音声を固定します。固定する場合は出力する音声のカメラを選択します。

表示カメラ : 固定しません（表示しているカメラの音声を出力）

カメラ1～カメラ32 : 固定します（選択カメラの音声を常時出力）

初期設定：表示カメラ

■全画面表示の操作パネルに表示する画面分割ボタンの選択

チェックを入れたボタンは、全画面表示の操作パネル上に表示されます。

■その他の設定

【1画面表示時のライブ画像を高解像度（SXVGA/HD）で表示する】

チェックを入れると、1画面表示のカメラ画像をSXVGAまたはHDで表示します。対応カメラについては本機付属の「Readme.txt」をお読みください。

【全画面表示時の状態表示パネルと操作パネルを自動的に隠す】

チェックを入れると、マウスカーソルの表示／非表示に連動して全画面表示の各パネルが表示／非表示します。

【操作画面表示でアスペクト比が16:9の画像を拡大して表示する】

チェックを入れると、操作画面表示時でアスペクト比が16:9の画像を画像表示部のサイズに合わせ縦方向に引き伸ばして表示します。

メモ

- この設定で画像を拡大して表示すると、カメラ画像内でのカメラ操作や動作検知サーチが指定した座標やエリアのとおり動作しないことがあります。

【ウェブブラウザの画像を16:9のアスペクト比で表示する】

チェックを入れると、ウェブブラウザの画像表示を16:9のアスペクト比で表示します。

モニターの設定を行う [モニター] (つづき)

[サブモニター (HDMI) の電源オフを検出する]

チェックを入れると、サブモニターを使用する設定の場合、サブモニターが接続されていなかったり、電源がオフになっていたりすると、エラー動作でお知らせします。

[モニター (HDMI) 非接続時はライブ画像の受信を停止する]

チェックを入れると、メインモニター、サブモニター (HDMI) とともに接続されていなかったり、電源がオフになっていたりした場合、カメラからのライブ画像受信を自動で停止してネットワークカメラの負荷を低減します。

[サブモニターのカメラタイトルを非表示にする]

チェックを入れると、サブモニターのカメラタイトルが表示されなくなります。

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク]

設定メニュー [詳細設定] のネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定を行います。ネットワークページは [基本] タブ、[メール] タブ、[独自アラーム] タブ、[NTP/SNMP] タブで構成されています。

ネットワークの基本設定を行う [基本]

ネットワーク接続に関する基本的な設定を行います。



メモ

- アドレスの各オクテットやポート番号は、右詰めで入力してください。(例：ポート番号が80の場合、00080と設定)。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

■ネットワーク設定 [カメラ/PCポート]

本機のネットワーク設定を行います。

[IPアドレス]

本機のIPアドレスが表示されます。

[▲] ボタン / [▼] ボタンをクリックすると、アドレスを変更できます。

初期設定：192.168.0.250

[サブネットマスク]

本機を接続するネットワークの規則に従ってサブネットマスクを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定：255.255.255.0

[デフォルトゲートウェイ]

本機を接続するネットワークの規則に従ってデフォルトゲートウェイのアドレスを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定：192.168.0.1

[通信速度]

データの通信速度を選択します。

- Auto : 自動設定します。
- 100M-Full : 100 Mbps全二重
- 100M-Half : 100 Mbps半二重
- 10M-Full : 10 Mbps全二重
- 10M-Half : 10 Mbps半二重

初期設定：Auto

重要

- 通信速度を変更して設定を終了すると、本機は再起動します。

■DNS設定

DNS (Domain Name System) に関する設定を行います。

ネットワーク接続に関する設定を行う【ネットワーク】(つづき)

[DNS]

DNSを使用するかどうかを設定します。

- Off : DNSを使用しません。
- Manual : DNSを使用し、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにします。

初期設定 : Off

[プライマリサーバーアドレス]

[セカンダリサーバーアドレス]

DNSを使用する場合、プライマリ DNSサーバーとセカンダリ DNSサーバーのIPアドレスを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定 : 0.0.0.0

[ドメイン名]

本機のドメイン名を入力します。ドメイン名の先頭文字は英字にしてください。

入力は半角英数字(ハイフン(-)、ピリオド(.)を含む)3文字以上63文字以内にしてください。

初期設定 : localdomain

■DDNS設定

[DDNS]

DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。

- Off : DDNSを使用しません
- ダイナミックDNS Update : ダイナミックDNS Update(RFC2136準拠)を使用します。
- みえますねっとPRO : みえますねっとPROを使用します。

初期設定 : Off

ダイナミックDNS Updateを使用する場合

ネットワーク > 基本

基本	メール	独自アラーム	NTP/SNMP
ネットワーク設定 [カメラ/PCポート]			
IPアドレス	192.168.0.0.250		
サブネットマスク	255.255.255.0		
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.0.1		
通信速度	Auto		
※通信速度を変更して設定を終了すると、自動的に再起動します。			
DNS設定			
DNS	Off		
プライマリサーバーアドレス	0.0.0.0.0.0.0.0		
セカンダリサーバーアドレス	0.0.0.0.0.0.0.0		
ドメイン名	localdomain		
DDNS設定			
DDNS	ダイナミックDNS Update		
ホスト名			
アクセス間隔	24 時間		
その他の設定 詳細設定 >			

[ホスト名]

ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。

入力可能文字数 : 3 ~ 250文字

(ホスト名).(ドメイン名)形式で
入力

初期設定 : NWDR

メモ

- 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[アクセス間隔]

ダイナミックDNS Updateサービスサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。

10分 / 20分 / 30分 / 40分 / 50分 / 1時間 /
6時間 / 24時間

初期設定 : 1時間

重要

- 他社DDNSサービスを利用する前に、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。
- 他社DDNSサービスに関する動作保証は一切行っていません。したがって、他社DDNSサービスの利用により、本機をお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
- 他社DDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。

「みえますねっとPRO」サービスを使用する場合

ネットワーク > 基本

基本	メール	独自アラーム	NTP/SNMP
ネットワーク設定 [カメラ/PCポート]			
IPアドレス	192.168.0.0.250		
サブネットマスク	255.255.255.0		
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.0.1		
通信速度	Auto		
※通信速度を変更して設定を終了すると、自動的に再起動します。			
DNS設定			
DNS	Off		
プライマリサーバーアドレス	0.0.0.0.0.0.0.0		
セカンダリサーバーアドレス	0.0.0.0.0.0.0.0		
ドメイン名	localdomain		
DDNS設定			
DDNS	みえますねっとPRO		
本機のURL			
サービスへのリンク			
※ルーターにポートフォワーディングの設定を行ってください。 ※同一ネットワーク内から本機に接続する場合はIPアドレスを使用してください。			
その他の設定 詳細設定 >			

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク] (つづき)

STEP1

ウェブブラウザのネットワークページの [基本] タブをクリックします。

STEP2

[みえますねっとPRO] を選択して、[設定保存] ボタンをクリックします。

STEP3

[サービスへのリンク] に表示されているURLをクリックします。

→ [みえますねっとPRO] サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。

STEP4

画面に従って [みえますねっとPRO] サービスの登録を行います。

→ [みえますねっとPRO] サービスの登録画面が表示されない場合は、PCがインターネット接続しているか確認し、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

STEP5

本機のトップページを再度表示し、[本機のURL] にみえますねっとPROに登録したドメイン (xxxx.miepro.net:xxx) が表示されていることを確認します。

メモ

- [みえますねっとPRO] にログインIDを登録済みの方
トップページでログインID (登録時のEメールアドレス) 及びパスワードを入力してください。
- [みえますねっとPRO] にログインIDを登録されていない方
トップページで「新規会員登録はこちら」をクリックして、ログインID を作成する必要があります。
- [みえますねっとPRO] サービスへの登録が完了している場合は、登録した機器のURLが [本機のURL] に表示されています。このアドレスがインターネット経由で機器にアクセスするときを使うアドレスです。このURLを忘れないようにブラウザ機能のお気に入りに登録することをお勧めします。

- 機器のURLは、「みえますねっとPRO」サービスに登録したあとに使用できるようになります。(登録された機器のURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。)
ただし、ルーターによっては、機器と同じネットワーク (LAN) に接続されているPCからは、このURL でアクセスできません。
- [サービスへのリンク] が表示されない場合は、「みえますねっとPRO」サービスへの登録が完了しPCがインターネットに接続されていることを確認して、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。
- 「みえますねっとPRO」サービスには、ダイナミックDNS サービス以外のサービスがあります。詳細は「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイトを参照してください。
- 「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイトにある機器登録アプリケーションで「機器検索を開始する」を実施しても本機はリスト中に検出されません。本書の手続きを行うことでサービスを使用できるようになります。

■その他の設定

HTTPポート番号、FTPポート番号を設定するには、[詳細設定>] ボタンをクリックしてください。詳細設定画面が表示されます。

ネットワーク > 基本 > 詳細設定

基本	メール	独自アラーム	NTP/SNMP
ネットワーク設定 [PCポート]			
IPアドレス	000.000.000.000		
サブネットマスク	000.000.000.000		
デフォルトゲートウェイ	192.168.000.001		
通信速度	Auto		
※デフォルトゲートウェイと通信速度は[カメラ/PCポート]と共通です。			
その他の設定			
HTTPポート番号	00080		
FTPポート番号	00021		
改ざん検出コードの付与 (FTP)	Off		

戻る

[HTTPポート番号]

本機が画像を配信するとき使用するHTTPポート番号を設定します。
通常は変更する必要はありません。

1 ~ 65535

初期設定：80

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク] (つづき)

メモ

- ネットワーク設定によっては、HTTPポート番号を変更した際、通信ができなくなる設定になっている場合があります。この場合、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- 以下の番号とFTPポート番号に設定されている番号はHTTPポート番号に設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

[FTPポート番号]

本機のFTPポート番号を設定します。
通常は変更する必要はありません。
1 ~ 65535
初期設定：21

メモ

- 以下の番号とHTTPポート番号に設定されている番号をFTPポート番号に設定することはできません。

20、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

[改ざん検出コードの付与 (FTP)]

FTPでダウンロードする録画データに改ざん検出用のコードを付与する場合に設定します。

Off：付与しません

On：付与します

初期設定：Off

■ ネットワーク設定 [PCポート] (NV300シリーズのみ)

本機のPCポートに対するネットワーク設定を行います。

[IPアドレス]

初期設定：0.0.0.0

[サブネットマスク]

初期設定：0.0.0.0

[戻る] ボタン

設定を終了したら、クリックしてください。

メール通知に関する設定を行う [メール]

アラームメール通知、障害メール通知 (184ページ) 機能を使用するための設定を行います。

The screenshot shows the 'メール' (Email) settings page in a web interface. The page has tabs for '基本' (Basic), 'メール' (Email), '独自アラーム' (Custom Alarm), and 'NTP/SNMP'. Under the 'メール' tab, there is a 'メール設定' (Email Settings) section with the following fields:

- SMTPサーバーアドレス
- SMTPポート番号: 00025
- POPサーバーアドレス
- 認証方法: なし
- ユーザー名
- パスワード
- 送信元メールアドレス: NWDR
- SSL: Off
- 送信先メールアドレス (To):

At the bottom, there are columns for '障害' (Fault) and 'アラーム' (Alarm) with checkboxes for '通知先1' through '通知先4' (Notification destinations 1-4). All checkboxes are currently checked.

ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク] (つづき)

[SMTPサーバーアドレス]

電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。SMTPサーバー名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内に入力してください。

[SMTPポート番号]

SMTPサーバーのポート番号を入力します。

1 ~ 65535

初期設定：25

[POPサーバーアドレス]

POP before SMTP認証で使用するPOPサーバーのIPアドレスまたはPOPサーバー名を入力します。POPサーバー名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内に入力してください。

[認証方法]

メールを送信するときの認証方法を選択します。

なし / POP before SMTP / SMTP

初期設定：なし

[認証方法 - ユーザー名]

認証に使用するユーザー名を入力します。入力はメモに記載の半角英数字 / 記号 (&を除く) 32文字以内に入力してください。

[認証方法 - パスワード]

上記「ユーザー名」に対応し認証に使用するパスワードを設定します。入力はメモに記載の半角英数字 / 記号 (&を除く) 32文字以内に入力してください。画面上は「*」または「●」で表示されます。

[送信元メールアドレス]

送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者のFrom (差出人) 欄に表示されます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）127文字以内に入力してください。

初期設定：NWDR

[SSL]

アラームメールや障害メールをSSL暗号化して送信します。「On」に設定すると、認証方法は「SMTP」に設定されます。認証用のユーザー名、パスワードを設定してください。

On：SSLを使用します。

Off：SSLを使用しません。

初期設定：Off

[送信先メールアドレス - 通知先1 ~ 通知先4]

アラームメール、障害メール (184ページ) の送信先メールアドレスを設定します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）255文字以内に入力してください。

また、送信したいメール種別 (障害 / アラーム) にチェックを入れます。

送信先は4件まで設定できます。

メモ

●入力できる文字について

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T
U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p
q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! #
\$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

アラームの独自通知設定を行う [独自アラーム]

イベントやエラー発生時、その情報をPCに通知するための設定を行います。

発生したイベントやエラー情報を受信し表示するには通知先のPCに専用ソフトウェア（別売り）がインストールされている必要があります。

専用ソフトウェアについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。



[ポート番号 (本機→PC)]

送信先のPCのポート番号を入力します。

通常は初期設定から変更する必要はありません。

初期設定：1818

[リトライ回数]

PCに送信できなかった場合にリトライする回数を設定します。

0～8（回）（1回単位で設定可）

初期設定：2

メモ

- PCに送信できないことがある場合は、リトライ回数を増やして設定してください。

[送信先アドレス-通知先1～通知先8]

送信先のPCのアドレスを設定します。通知先1～8にIPアドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。

送信先として8件まで設定できます。

入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)を含む）

255文字以内になしてください。

ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う [NTP/SNMP]

NTP (Network Time Protocol) サーバーとSNMP設定を行います。

NTP設定	
NTP自動時刻合わせ	Off
プライマリーサーバーアドレス	
セカンダリーサーバーアドレス	

SNMP設定	
コミュニティ名	
機器名	
機器の物理的位置	
連絡先	

■NTP設定

[NTP自動時刻合わせ]

NTPサーバーを基準に時刻合わせするかどうかを設定します。

On : 自動時刻合わせをします。

Off : 自動時刻合わせをしません。

初期設定 : Off

重要

- 本機の時計精度における記録画像の時刻ずれにより、運用上問題になる場合があります。システム運用においてより正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使ったNTP自動時刻合わせを使用してください。

[プライマリーサーバーアドレス]

[セカンダリーサーバーアドレス]

NTPサーバーを使って時刻合わせを行う場合、NTPサーバーのアドレスまたはNTPサーバー名を入力します。

NTPサーバー名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。

入力は半角英数字 (ハイフン(-)、ピリオド(.)含む) 255文字以内に入してください。

メモ

- サーバー名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。

重要

- 本機をカメラに対するNTPサーバーとして動作させることができます。その場合、カメラ側のポート番号は「123」を設定してください。カメラの設定については、接続するカメラの取扱説明書をお読みください。

■SNMP設定

SNMPマネージャーと接続して、本機の状態を確認する場合などに設定します。

各項目の入力文字は、「入力できる文字について」(P.63ページ)の半角英数字と記号です。

[コミュニティ名]

SNMP認証に使用する名前を入力します (32文字以内)。

[機器名]

本機をSNMPシステムで管理するための名前を入力します (255文字以内)。

例 : No1

[機器の物理的位置]

本機の設置場所を入力します (255文字以内)。

例 : 2F

[連絡先]

本機管理者の連絡先 (メールアドレスなど) を入力します (255文字以内)。

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理]

設定メニュー [詳細設定] のユーザー管理ページでは、本機を操作する際のユーザー認証の有無や管理者情報の登録、操作レベルの設定などを行います。

ユーザー管理ページは [基本] タブ、[ユーザー登録] タブ、[管理者設定] タブで構成されています。

ユーザー管理の基本設定を行う [基本]

本機をマウス操作する際のログイン設定や、ネットワーク操作のユーザー認証、ユーザーレベル各種の設定を行います。



■本体操作

本機に電源を入れたときなどに、自動的にログインを行うための設定を行います。

【オートログイン】

自動的にログインするかどうかを設定します。

On：自動的にログインします。

Off：自動的にログインしません。ログアウト状態から本機の操作を行う際は、ログイン操作が必要になります。

初期設定：On

【オートログインユーザー】

「オートログイン」を「On」にした場合、ここで登録されたユーザーがオートログインできます。本機にユーザー登録されているユーザーの中からオートログインユーザーを設定します。

初期設定：ADMIN

【簡易ログイン】

ログイン操作の際にログインユーザー名を入力するか選択するかを設定します。

Off：ユーザー名の入力が必要です。

On：表示されたユーザー名から選択します。

初期設定：Off

【オートログアウト】

ライブ画像表示中、操作しない状態になってから自動的にログアウトするまでの時間を設定します。

Off：自動的にログアウトしません。

1分後 / 3分後 / 5分後 / 30分後

初期設定：Off

メモ

- 「オートログイン」が「On」に設定されている場合、「オートログアウト」を「Off」以外に設定しても自動的にログアウトしません。ログアウト操作 (104ページ) を行うと、オートログインユーザーで自動的にログインします。
- 不正操作を防止するために「オートログアウト」を「Off」以外に設定して運用することをお勧めします。

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理] (つづき)

■ネットワーク操作

PCから本機を操作する際、ユーザー認証を行うかどうかを設定します。

[ユーザー認証]

ユーザー認証を行うかどうかを設定します。

On：ユーザー認証操作後にログインします。

Off：ユーザー認証なしでログインします。

初期設定：On

■ユーザーレベル設定

各ユーザーレベル（管理者/マネージャー/オペレーター/ビューワー）でできるようにしたい操作を選択しチェックを入れます。操作出来ないように設定する場合は、空欄のままにします。管理者の設定は変更できません。また、ログアウト時にはライブ操作（画像の切り換え）のみ操作できるように設定できます。

メモ

- ユーザーレベル設定の変更ができるのは「管理者/マネージャー」でログインしたときだけです。
- 各ユーザーレベルでできる操作は、初期設定では次のようになっています。
 - 管理者/マネージャー
 - ：本機やカメラの設定などすべての操作ができる本機の管理者
 - オペレーター
 - ：本機の設定の一部、アラーム復帰などができる権限の高いオペレーター
 - ビューワー
 - ：監視や再生のみ行う一般のオペレーター
- ※管理者とマネージャーは、すべての操作が可能です。管理者とマネージャーの違いは、管理者の方がマネージャーより優先度が高く、同時に同じ操作を行った場合は、管理者の操作が優先されます。
- 前ページの画面は初期設定状態です。
- チェックの入っていない操作（制限されている操作）をそのレベルのユーザーが実行しようとした場合、ログイン画面を表示して、操作可能なレベルのユーザーがログインするよう促すことがあります。

設定対象の操作について

ユーザーごとに操作の可否を設定できるのは、以下の操作です。

操作	説明
ライブ操作（表示カメラ切換）	メインモニターに表示するカメラを変更できます。
カメラ制御	パン/チルトなどカメラの制御が行えます。
サーチ・再生	録画した画像の再生や動作検知サーチができます。
コピー	録画された画像をSDカードなどのメディアにコピーできます。
アラーム復帰	アラーム動作を解除できます。
エラー復帰	エラー動作を解除できます。
設定	設定メニューを表示して、設定内容を変更できます。
カメラ画像表示	各カメラの画像表示と音声出力ができます。カメラ画像表示の設定をするには、[設定>] ボタンをクリックしてください（  次ページ）。

※「設定」は管理者のみが操作可能とすることをお勧めします。

※「設定」操作をできるように設定しても、管理者以外は変更できない項目があります。

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理] (つづき)

カメラごとのユーザーレベルを設定する

各ユーザーレベル（オペレーター、ビューワー、ログアウト時）で画像表示できるカメラを選択し、チェックを入れます。

表示しないように設定する場合は、チェックを外して空欄にします。管理者／マネージャーの設定は変更できません。

カメラ	管理者 マネージャー	オペレーター	ビューワー	ログアウト時
1		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
11		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
14		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[基本] タブに戻ります。

ユーザー情報を登録／変更／削除する [ユーザー登録]

ユーザー名やパスワードの新規登録／変更／削除を行います。

新規ユーザー情報の登録

ユーザー名
パスワード
レベル オペレーター
スタートモニター 4分割画面A

登録済ユーザー情報の変更/削除

ユーザー名
パスワード
レベル
スタートモニター

■新規ユーザー情報の登録

ユーザー名やパスワード、操作レベルなど、本機を使用するユーザー情報を登録します。

登録できるユーザー数は16ユーザーまでです。

[ユーザー名]

ソフトキーボード (16ページ) からユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字5文字以上14文字以内で設定してください。

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理] (つづき)

[パスワード]

ソフトキーボード (☞ 16ページ) からパスワードを入力します。パスワードは半角英数字5文字以上8文字以内で設定してください。登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

重要

- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

[レベル]

操作レベルを選択します。

操作できる機能は [基本] タブ (☞ 66ページ) で設定します。

マネージャー / オペレーター / ビューワー

※管理者とマネージャーは同じレベルですが、優先度は管理者の方が高くなります。

初期設定：オペレーター

[スタートモニター]

ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。

カメラ1 ~ 32：選択したカメラの画像を1画面表示します。

4分割画面A / 4分割画面B / 4分割画面C /
4分割画面D / 4分割画面E / 4分割画面F /
4分割画面G / 4分割画面H / 9分割画面 /
16分割画面A / 16分割画面B / 1画面 (全画面) /
4分割画面 (全画面) / 9分割画面 (全画面) /
16分割画面 (全画面)

(各設定値の詳細は運用画面について (☞ 99ページ) をお読みください)

初期設定：4分割画面A

[登録] ボタン

設定されたユーザー情報を新規登録します。

■登録済みユーザー情報の変更 / 削除

すでに登録したユーザー情報を変更または削除します。[ユーザー名] で変更または削除するユーザーを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

[変更] ボタン

選択したユーザーの情報を変更します。

[削除] ボタン

選択したユーザーを削除します。

メモ

- スタートモニターの設定範囲はカメラのライセンス数によって変わります。
- 「モニター」 - 「高度な設定」の「全画面表示の操作パネルに表示する画面分割ボタンの選択」で選択されていない画面をスタートモニターに設定すると、4分割画面Aがスタートモニターとして表示されます。
- 9分割画面 / 16分割画面 / 各種全画面を設定していると、PCのウェブブラウザでログインしたとき、カメラ1 ~ 4の4画面表示でライブ画像が表示されます。

管理者情報を変更する [管理者設定]

管理者のパスワードやスタートモニターなど、管理者情報を変更します。



【管理者名】

管理者名をソフトキーボード (☞ 16ページ) から入力します。管理者名は半角英数字5文字以上14文字以内で設定してください。

初期設定：ADMIN

【パスワード】

管理者用のパスワードをソフトキーボード (☞ 16ページ) から設定します。パスワードは半角英数字5文字以上8文字以内で設定してください。

登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

初期設定：12345

重要

- 管理者名とパスワードはセキュリティを確保するために、初期設定から必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更してください。

【パスワード (再入力)】

確認のため、「パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

【レベル】

操作レベルを表示します。管理者は「管理者」に設定されており、変更できません。

【スタートモニター】

ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。(☞ 69ページ)

【変更】 ボタン

変更した管理者情報を登録します。

メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス]

設定メニュー [詳細設定] のメンテナンスページでは、本機のバージョン情報やシステム情報の表示、HDDに関する設定などを行います。また、設定メニューでの設定内容の初期化、各種ログの確認、ライセンスの登録などもこのメンテナンスページで行います。

メンテナンスページは [システム情報] タブ、[HDD情報] タブ、[システム管理] タブで構成されています。

バージョンなどシステム情報を確認する [システム情報]

本機のバージョン情報（ソフトウェア、ハードウェア）、シリアル番号、ネットワーク情報（MACアドレス、IPアドレス、通信速度）、本体内部の温度情報、最高温度記録などが表示されます。

システム情報		HDD情報	システム管理
システム情報			
ソフトウェアバージョン1			
ソフトウェアバージョン2			
ソフトウェアバージョン 増設1(EXT1)	V...		
ソフトウェアバージョン 増設2(EXT2)	V...		
ハードウェアバージョン			
シリアル番号			
ネットワークポート [カメラ/PC ポート]			
MACアドレス			
IPアドレス	192.168.0.250		
通信速度	Auto (1000M-Full)		
ネットワークポート [PC ポート]			
MACアドレス			
IPアドレス			
本体内部現在温度	41°C(105°F)		
最高温度記録	42°C(107°F) [2010/06/04 14:54]		
HDD1現在温度	41°C(105°F)		
HDD1最高温度記録	42°C(107°F) [2010/06/04 14:54]		
HDD2現在温度	41°C(105°F)		
HDD2最高温度記録	42°C(107°F) [2010/06/04 14:54]		

メモ

- メンテナンスページ表示中は、システム情報は更新されません。
- 通信速度は、設定値と () 内に実際の通信速度が表示されます。
- NV250シリーズでは、増設ユニットに関する情報は表示されません。

ディスク情報を確認する [HDD情報]

本機のHDDや増設ユニット（増設1、増設2）の容量や稼働時間、録画画像の日時範囲などを表示します。

HDD情報 - シングルモード -				
	容量	稼働時間	ステータス	録画画像の日時範囲
本体 (MAIN)	HDD1	157 時間	正常 1	2010/06/11 11:39 ⇒ 2010/06/14 11:02
	HDD2	157 時間	正常 2	
	HDD3			
増設1 (EXT1)	HDD4			
	HDD5			
	HDD6			
	HDD7			
	HDD8			
	HDD9			
増設2 (EXT2)	HDD1			
	HDD2			
	HDD3			
	HDD4			
	HDD5			
	HDD6			
HDD7				
HDD8				
HDD9				

メモ

- メンテナンスページ表示中は、HDD情報は更新されません。
- NV250シリーズでは、増設ユニットに関する情報は表示されません。

メンテナンスに関する設定を行う【メンテナンス】（つづき）

【HDD運用モード】

HDD運用モードを表示します。
詳細は80ページを参照してください。

メモ

- ミラーリング復旧中は進捗率も表示されます。
-

【容量】

HDDの容量を表示します。

【稼働時間】

HDDの稼働時間を表示します。

【ステータス】

本機のHDDの状態を表示します。

- 正常 : 正常に動作しています。
- 再生専用 : 再生専用のHDD（録画はされません）
- 切り離し : HDD でエラーが発生し、運用から切り離されたHDD
- エラー : フォーマット中にエラーが発生したHDD
- 空欄 : HDD未接続
- 追加 : フォーマットや組み込み操作をしないと使用できないHDD（ミラーリングモード時のみ表示されます）
- 使用不可 : 現在のHDD運用モードでは使用できないHDD

【録画画像の日時範囲】

HDDに録画されている日時の範囲を表示します。

メモ

- RAID5/RAID6モード動作時は、各増設ユニットのHDD1欄に容量/ステータス/録画画像の日時範囲が表示されます。稼働時間はHDDごとに表示されます。
-

【推定上書き周期】

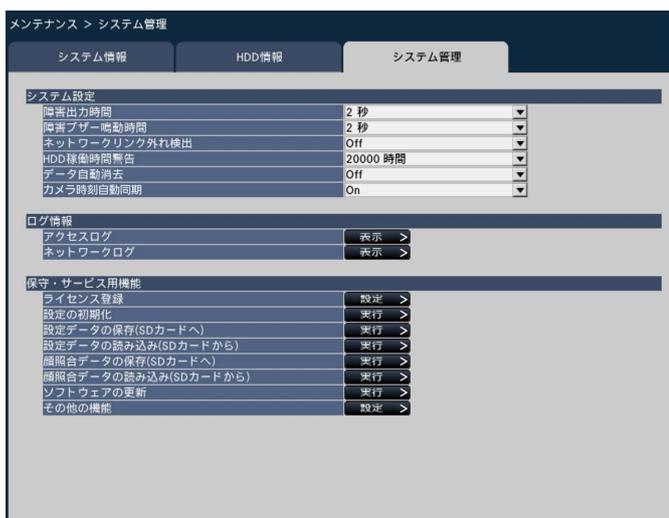
現在までの録画実績（最も古い録画データの日時、現在日時、HDD容量）に基づいて、HDDの上書き周期を算出し、目安表示します。

メモ

- 上書き録画中は最も古い録画データ日時と最も新しい録画データ日時から上書き周期を算出します。
 - 録画実績が多いほど上書き周期の算出精度が高まります。
 - 録画条件を変更した場合や、データ自動消去でデータが消去された場合などは、正しい上書き周期が表示されません。
-

システムに関する設定や操作を行う [システム管理]

障害発生時の動作設定やHDD内のデータの自動消去の設定、ログの表示などを行います。また、ライセンスの登録、設定の初期化、ソフトウェアのバージョンアップなど、全般的なメンテナンス作業をここでを行います。



■システム設定

【障害出力時間】

本機に障害（HDD異常、カメラ異常、機器異常、録画異常、ネットワーク異常）が発生したときに外部に異常を知らせる信号を出力する時間を設定します。「0秒」に設定すると信号を出力しません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : 障害復帰操作をするまで信号を出力し続けます。

初期設定 : 2秒

メモ

- 障害復帰操作については、「エラー動作を解除する」(P.125ページ)をお読みください。

【障害ブザー鳴動時間】

本機に障害が発生したとき、ブザーを鳴らす時間を選択します。「0秒」に設定するとブザーを鳴らしません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : 障害ブザー鳴動停止の操作をするまでブザー鳴動し続けます。

初期設定 : 2秒

メモ

- ブザー鳴動の停止方法については、「ブザーを停止する」(P.124ページ)をお読みください。

【ネットワークリンク外れ検出】

本機のネットワークポートのネットワーク回線切断を検出するかどうかを選択します。

On : ネットワーク回線切断を検出します。

Off : ネットワーク回線切断を検出しません。

初期設定 : Off

【HDD稼働時間警告】

HDDの稼働時間が設定値に達すると、警告動作を行うよう設定します。「Off」に設定すると、警告動作を行いません。

Off / 10000時間 / 20000時間 / 30000時間 / 40000時間 / 50000時間

初期設定 : 20000時間

【データ自動消去】

本機のHDD内のデータを録画されてから経過した日数により自動的に消去するように設定します。

Off / 1日 / 2日 / 3日 / 4日 / 5日 / 6日 / 7日 / 8日 / 9日 / 10日 / 14日 / 30日 / 45日 / 60日 / 90日 / 120日 / 150日 / 180日

初期設定 : Off (データを自動消去しません)

メンテナンスに関する設定を行う【メンテナンス】（つづき）

【カメラ時刻自動同期】

日付が変わるときに、カメラ側の時刻を本機の時刻に合わせます。

On：時刻を合わせます。

Off：時刻を合わせません。

初期設定：On

■ログ情報

以下の履歴を確認できます。

- アクセスログ：本機へのアクセス履歴
- ネットワークログ：ネットワークの障害履歴

それぞれの履歴を確認するには、[表示>] ボタンをクリックしてください。

No.	発生日時	内容
1	2010/06/14 11:50:18	ADMIN LOGIN
2	2010/06/14 11:14:12	UPDATE SETTINGS
3	2010/06/14 11:02:00	UPDATE SETTINGS
4	2010/06/14 10:58:00	UPDATE SETTINGS
5	2010/06/14 10:53:19	UPDATE SETTINGS
6	2010/06/14 10:39:45	UPDATE SETTINGS
7	2010/06/14 10:38:47	UPDATE SETTINGS
8	2010/06/14 10:38:00	UPDATE SETTINGS
9	2010/06/14 10:36:27	ADMIN LOGIN
10	2010/06/14 10:35:51	POWER ON
11	2010/06/14 10:17:15	UPDATE SETTINGS
12	2010/06/14 10:08:38	ADMIN LOGIN
13	2010/06/14 10:08:02	POWER ON
14	2010/06/14 09:50:02	ADMIN LOGIN
15	2010/06/14 09:49:26	POWER ON(UPDATED)
16	2010/06/14 09:35:19	ADMIN LOGIN
17	2010/06/14 09:34:44	POWER ON
18	2010/06/11 17:43:42	root LOGOUT
19	2010/06/11 17:43:21	root LOGIN
20	2010/06/11 17:36:19	ADMIN LOGOUT

アクセスログについて

本機にログイン／ログアウトした際の日時とユーザー名、またはIPアドレスを一覧で表示します。

履歴は100件まで記録されます。

100件を超えると、古い履歴から上書きされます。

**LOGIN / **LOGOUT

：ユーザーがログイン／ログアウト

CONFIG LOGIN / CONFIG LOGOUT

：HDD管理へログイン／ログアウト

UPDATE SETTINGS

：設定を変更したとき

POWER ON

：本機を起動したとき

POWER ON (UPDATED)

：ソフトウェアの更新後に再起動したとき

POWER ON (RESTART SWITCH)

：リスタートボタンで再起動したとき

BEFORE TIME CHANGE MANUALLY

：システム日時を変更する直前

AFTER TIME CHANGE MANUALLY

：システム日時を変更した直後

BEFORE TIME CHANGE BY NTP

：NTPによってシステム日時が変更される直前

AFTER TIME CHANGE BY NTP

：NTPによってシステム日時が変更された直後

**にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

ネットワークログについて

ネットワーク障害の発生日時と障害内容を一覧で表示します。

履歴は100件まで記録されます。100件を超えると、古い履歴から上書きされます。ログの詳細については96ページをお読みください。

メモ

- ログ情報画面表示中は、情報更新はされません。

■保守・サービス用機能

本機の運用やカメラ追加のためのライセンス登録や、メンテナンスに必要な操作・設定を行います。

メモ

- SDカードが未フォーマットの場合や他機でフォーマットされた場合は、本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットのしかたは、「SDカードをフォーマットする」(☞ 142ページ)をお読みください。

【ライセンス登録】

本機を使用するには、キー管理システムより解除キー番号を取得して登録する必要があります。また、カメラ拡張のライセンスを追加登録することで最大32台(NV250シリーズは最大24台)のカメラが使用できるようになります。

カメラの追加はお買い上げの販売店にご相談ください。
[設定>] ボタンをクリックするとライセンス登録画面が表示されます。(☞ 76ページ)

【設定の初期化】

設定メニューの設定内容を初期化します。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から初期化を実行します。

メンテナンスに関する設定を行う【メンテナンス】（つづき）

メモ

- 以下の設定項目は初期化、読み込みされません。
 - HTTPポート番号
 - FTPポート番号
 - ネットワークポート
 - DNS設定
 - ライセンス関連の各種番号

【設定データの保存（SDカードへ）】

設定メニューの設定内容をSDカードに保存します。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。

【設定データの読み込み（SDカードから）】

SDカードに保存されている設定メニューの設定内容を本機に読み込みます。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から読み込みます。

【顔照合データの保存（SDカードへ）】

顔照合データをSDカードに保存します。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。（ビジネスインテリジェンス拡張キットのライセンスを登録している場合）

【顔照合データの読み込み（SDカードから）】

SDカードに保存されている顔照合データを本機に読み込みます。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から読み込みます。（ビジネスインテリジェンス拡張キットのライセンスを登録している場合）

【ソフトウェアの更新】

SDカードに保存されている本機ソフトウェアを読み込み、バージョンアップします。

[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から更新処理を開始します。

ソフトウェア更新は管理者のみが実行できます。

メモ

- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【その他の機能】

メンテナンス用データの保存画面などが表示されます。（[P.77](#)ページ）

本機やカメラなどのライセンスを登録する 【ライセンス登録】

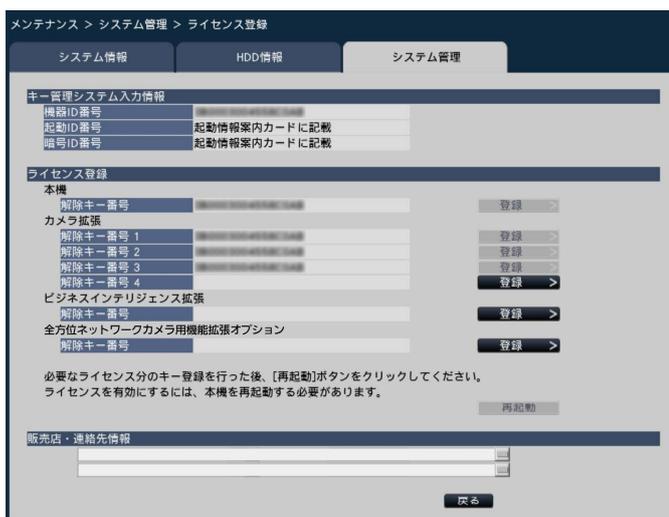
本機を運用するためのライセンス登録のほか、カメラを追加したり、拡張機能を使用したりするためのライセンスを登録します。本機購入時はカメラ9台分（NV250シリーズは4台分）のライセンスが付属されています。ライセンスを追加することで、16台、24台、32台とカメラを追加（NV250シリーズは、9台、12台、16台、24台とカメラを追加）することができます。

なお、ライセンス登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。本機の解除キー番号の取得方法は、付属の「起動情報案内カード」をお読みください。また、カメラ拡張の解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キット（別売り）の「起動情報案内カード」をお読みください。

重要

- 以下の場合は必ず最後に [再起動] ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機が再起動しないと各ライセンスが有効になりません。
 - 本機の解除キー番号を登録したとき
 - カメラ拡張やその他の拡張機能の解除キー番号を登録したとき
- 接続を追加したカメラは、「らくらくスタート」（[P.18](#)ページ）でカメラ登録してください。また、各設定値は初期設定となりますので、必要に応じて各種設定を行ってください。

メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス] (つづき)



■キー管理システム入力情報

解除キー番号を取得するためのID番号です。本機に付属の「起動情報案内カード」には、キー管理システムへのアクセス方法が記載されています。

■ライセンス登録

本機を運用したり、カメラ追加や拡張機能を使用したりするための解除キー番号を登録します。

【本機－解除キー番号】

キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。入力欄右の [登録] ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。本機を初めて起動したときは、必ず解除キー番号を登録してください。

【カメラ拡張－解除キー番号1～4】

カメラを追加する場合、カメラ拡張キットの解除キー番号を入力します。解除キー番号を登録すると、以下のようにカメラ接続台数は増えます。

	NVE20	NVE21	NVE30
解除キー番号なし	4	4	9
解除キー番号1	9	24	16
解除キー番号2	12	—	24
解除キー番号3	16	—	32
解除キー番号4	24	—	—

解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キットに付属の「起動情報案内カード」をお読みください。入力欄右の [登録] ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。

【ビジネスインテリジェンス拡張－解除キー番号】

拡張機能を使用する場合、解除キー番号を入力します。詳しくは、ビジネスインテリジェンス拡張キットの取扱説明書 (PDFファイル) をお読みください。

【全方位ネットワークカメラ用機能拡張オプション】

拡張機能を使用する場合、解除キー番号を入力します。詳しくは本機付属のCD-ROM内の「機能拡張オプション.pdf」をお読みください。

メモ

- ライセンスを登録したあとは、必ず [再起動] ボタンをクリックしてください。本機が再起動し、登録したライセンスが有効になります。

■販売店・連絡先情報

販売店名や電話番号などの情報をソフトキーボード (16ページ) から2つまで登録できます。各欄とも、32文字まで入力できます。

登録が完了したら、[再起動] ボタンをクリックします。本機が再起動し登録した内容が、本機に反映されます。

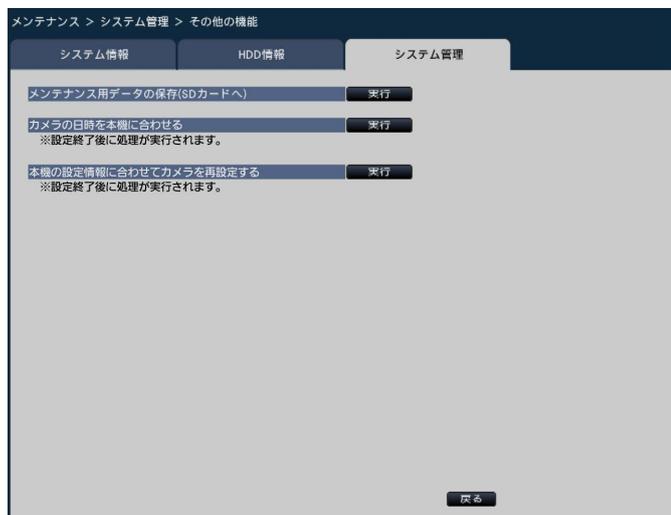
【戻る] ボタン

ライセンスを有効にしない場合や、「販売店・連絡先情報」のみを変更した場合をクリックすると、[システム管理] タブに戻ります。

メンテナンスに関する設定を行う【メンテナンス】（つづき）

履歴のSDカード保存やカメラ時刻補正をする【その他の機能】

すべての履歴データをSDカードに保存したり、カメラ側の日時を本機に合わせたりします。



【メンテナンス用データの保存（SDカードへ）】

すべての履歴データをSDカードへ保存します。
[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行するとSDカードへの保存が開始します。

重要

- カメラの設定を個別にカスタマイズしている場合は、設定が変わってしまいますのでご注意ください。

メモ

- SDカードが未フォーマットの場合や他機でフォーマットされた場合は、本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットのしかたは、142ページをお読みください。
- SDカードを挿入後すぐに操作すると、SDカードの認識に時間がかかることがあります。また、SDカードの容量が大きいと認識に時間がかかります。

【カメラの日時を本機に合わせる】

登録しているすべてのカメラの日時を本機の日時に合わせます。
[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了すると処理が実行されます。

【本機の設定情報に合わせてカメラを再設定する】

本機で設定されている情報に基づき、登録しているすべてのカメラを再設定します。
[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了すると処理が実行されます。

HDDを管理する [HDD管理]

設定メニュー [詳細設定] のHDD管理ページでは、HDDの容量の確認や、HDDの初期化（フォーマット）など、HDDに関する操作を行います。

重要

- HDD管理ページを表示すると、HDD管理に関する操作以外のすべての動作（録画や再生など）は停止します。
- HDD管理ページを表示すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。
- WJ-NV300RのHDD運用モードの工場出荷時設定はRAID5モードです。

HDD管理ページの表示のしかた

STEP1

設定メニュー [詳細設定] の [HDD管理] ボタンを選択します。

→管理者名とパスワードの入力画面が表示されます。すでに管理者でログインしていた場合にも表示されません。

STEP2

「管理者名」と「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

→HDD管理ページが表示されます。

HDD管理ページから通常の運用画面に戻るには [運用] ボタンをクリックします。



HDDを管理する [HDD管理] (つづき)

HDDの情報を確認する [HDD情報]

本機のHDDの容量や稼働時間、ステータス情報を表示します。

		容量	稼働時間	ステータス	録画画像の日時範囲	
本体 (MAIN)	HDD1	157 GB	157 時間	正常 1	2010/06/11 11:39	2010/06/14 11:02
	HDD2	157 GB	157 時間	正常 2		
増設1 (EXT1)	HDD1					
	HDD2					
	HDD3					
	HDD4					
	HDD5					
	HDD6					
	HDD7					
	HDD8					
	HDD9					
増設2 (EXT2)	HDD1					
	HDD2					
	HDD3					
	HDD4					
	HDD5					
	HDD6					
	HDD7					
	HDD8					
	HDD9					

「HDD情報」に表示される項目については、設定メニュー [詳細設定] の [メンテナンス] - [HDD情報] タブをお読みください。(P.71ページ)

HDDを初期化する [HDDのフォーマット]

HDDを初期化します。本機のHDDを交換したとき、HDDの初期化を行う必要があります。

重要

- HDDを初期化すると、初期化したHDDに記録されていた録画画像はすべて消去されます。

STEP 1

[HDDのフォーマット] で [実行>] ボタンをクリックします。

→HDDフォーマット画面が表示されます。

STEP 2

フォーマット欄でフォーマットするHDDにチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックします。

結果欄に「OK」が表示されたら、[戻る] ボタンをクリックしてください。

「エラー」が表示された場合は、再度フォーマットを行ってください。



HDDを管理する [HDD管理] (つづき)

HDDの取り外しと組み込みについて

HDDの交換を行う場合は、取り外し処理と組み込み処理を行う必要があります。
HDDの取り外しおよび取り付けとその処理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

重要

- 組み込み処理を行うと、HDDのデータは消去されます。

HDD運用モードの変更について

HDD運用モードについて

シングルモード : 本体のHDDを順にカメラ画像・音声を録画する運用モード。

ミラーリングモード : 本体の2台のHDDに同じカメラ画像・音声を二重に録画する運用モードで、一方のHDDを交換した後、交換したHDDにもう片方のHDDからデータをコピーすることが可能。増設ユニットのHDDをミラーリングモードで使用することはできません。

RAID5モード (NV300シリーズのみ)

: 1台のHDDが故障しても残りのHDDを使って録画映像を復元できる運用モード。本体のHDDは使用不可で、増設ユニットに3台以上のHDDが必要です。

RAID6モード (NV300シリーズのみ)

: 2台のHDDが故障しても残りのHDDを使って録画映像を復元できる運用モード。本体のHDDは使用不可で、増設ユニットに4台以上のHDDが必要です。

HDD運用モードを変更する [HDD運用モードの変更]

STEP 1

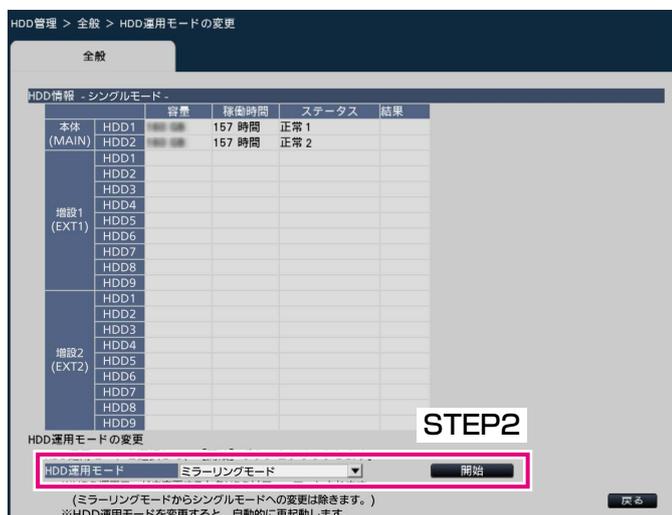
「HDD運用モードの変更」で [実行>] ボタンをクリックします。

→HDD運用モード変更画面が表示されます。

STEP 2

HDD運用モードで変更したい運用モードを選択し、[開始] ボタンをクリックします。

結果欄に「OK」が表示されたら、[戻る] ボタンをクリックします。



HDDを管理する [HDD管理] (つづき)

重要

- HDD運用モードを変更（ミラーリングモードからシングルモードへの変更を除く）すると、HDDのデータはすべて消去されます。
- ミラーリングモード中はシングルモードに比べて、HDD容量が半分になります。
- HDD運用モードをミラーリングモードからシングルモードに変更すると、HDDのステータスは「再生専用」になります。
- HDD運用モードを変更すると、本機は自動的に再起動します。

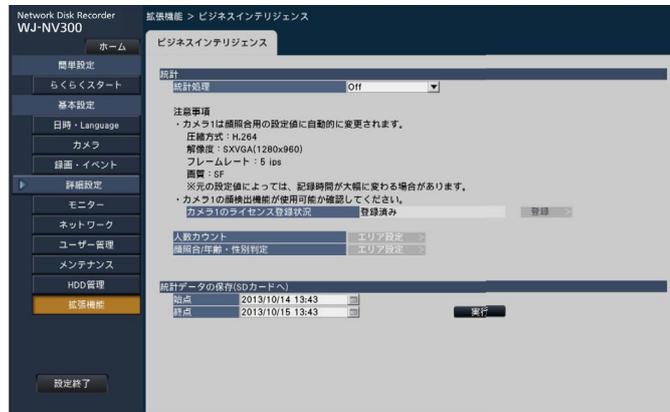
メモ

- WJ-NV250/05およびDVD搭載モデルはミラーリングモードを使用できません。
 - ミラーリングモード時に一方のHDDを交換すると、HDD情報画面のステータス情報に「追加」と表示されます。交換したHDDは「HDD組み込み」を実施するとミラーリングモードで運用を開始します。このとき、交換したHDDのデータはすべて消去されます。
 - ミラーリングモードからRAID5モードおよびRAID6モードへは直接変更することができません（逆の場合も同様）。一度シングルモードにしてからそれぞれのモードに変更してください。
-

拡張機能の設定を行う [拡張機能]

設定メニュー [詳細設定] の拡張機能ページでは、統計処理などを行う拡張機能の設定や統計データのSDカード保存を行います。

拡張機能のページは [ビジネスインテリジェンス] タブで構成されています。



設定のしかたなど詳細については、インテリジェンス拡張キットの取扱説明書 (PDFファイル) をお読みください。

設定項目一覧（設定メニュー）

簡単設定（らくらくスタート）

タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定
日付・時刻合わせ	—		2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 (nn, mm : 本体シリアル番号から算出する)
録画設定	録画設定 (全カメラ同一設定)	フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、 10 ips、15 ips、30 ips	10ips
		画質	XF、SF、FQ、NQ	FQ
		推定録画日数（参考値）	(計算結果を表示)	(計算結果を表示)

基本設定

(備考：●はらくらくスタートで設定できる項目、◎はウェブブラウザから設定できる項目)

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
日時・ Language	日付・時刻合わせ	日付・時刻		2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 (nn, mm : 本体シリアル番号から算出する)	● ◎
	日時表示設定	表示形式	日付	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、 dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、 dd/mm/yyyy	yyyy/mm/dd	◎
			時刻	24時間、12時間	24時間	◎
		タイムゾーン	タイムゾーン選択	GMT-12:00、GMT-11:00、 GMT-10:00、GMT-9:00、 GMT-8:00、GMT-7:00、 GMT-6:00、GMT-5:00、 GMT-4:30、GMT-4:00、 GMT-3:30、GMT-3:00、 GMT-2:00、GMT-1:00、 GMT、GMT+1:00、 GMT+2:00、GMT+3:00、 GMT+3:30、GMT+4:00、 GMT+4:30、GMT+5:00、 GMT+5:30、GMT+5:45、 GMT+6:00、GMT+6:30、 GMT+7:00、GMT+8:00、 GMT+9:00、GMT+9:30、 GMT+10:00、GMT+11:00、 GMT+12:00、GMT+13:00	GMT+9:00	◎
			サマータイム	Out、Auto	Out	◎
			サマータイム切替 (In)	2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	--	◎
			サマータイム切替 (Out)	2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	--	◎
			自動時刻合わせ	Off、On	Off	◎
	Language	Language	日本語、English、Français、 Español、Deutsch、Italiano、 Русский、Português	日本語	◎	
	カメラ	カメラ登録	品番	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
アドレス			(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
圧縮方式			(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
障害情報			(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
登録情報の変更			品番	対応するカメラの品番	(空欄)	◎
			アドレス	(アドレス)	(空欄)	● ◎
	圧縮方式	H.264、MJPEG	(空欄)	◎		

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考		
カメラ	カメラ登録	登録情報の変更	ユーザー名 パスワード ポート番号	(テキスト入力) (テキスト入力) (ポート番号)	(空欄) (空欄) 80	◎ ◎ ◎	
		カメラ設定	日時表示	設定項目（表示） 表示	チェック 有/無 Off、On		
				設定項目（位置） 位置	チェック 有/無 左上、左下、右上、右下		
送信するカメラの選択	チェック 有/無						
画像内文字表示	設定項目（表示） 表示			チェック 有/無 Off、On			
	設定項目（画像内文字） 画像内文字			チェック 有/無 (テキスト入力)	(空欄)		
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
	ランプ表示	ランプ表示 送信するカメラの選択	点灯、点灯（アクセス時）、消灯 チェック 有/無				
配信モード		配信モード	フレームレート指定、アドバンスド 可変ビットレート				
	H.264(1)	チェック 有/無					
	H.264(2)	チェック 有/無					
	最大ビットレート（バースト時）	高、中、低					
	制御期間（可変ビットレート時）	1時間、6時間、24時間、1週間					
1クライアントあたりのビットレート	1クライアントあたりのビットレート	64 kbps、128 kbps、 256 kbps、384 kbps、 512 kbps、768 kbps、 1024 kbps、1536 kbps、 2048 kbps、3072 kbps、 4096 kbps、6144 kbps、 8192 kbps					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
リフレッシュ間隔	リフレッシュ間隔	0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
設置方法	設置方法	卓上設置、天井設置、壁設置					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
パン・チルトフリップ	パン・チルトフリップ	Off、On					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）	スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）	Off、On、On (High)					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
暗部補正	暗部補正	Off、On					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
逆光補正（BLC）	逆光補正（BLC）	Off、On					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					
光量制御モード	光量制御モード	屋外撮影、フリッカレス、フリッカレス（60 Hz）					
	送信するカメラの選択	チェック 有/無					

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
カメラ	カメラ設定	オートスローシャッター（最長露光時間）	Off (1/30 s)、最大 2/30 s、最大 4/30 s、最大 6/30 s、最大 10/30 s、最大 16/30 s			
		送信するカメラの選択	チェック 有/無			
		簡易白黒切換	簡易白黒切換	Off、Auto		
		送信するカメラの選択	チェック 有/無			
		動作検知アラーム	動作検知アラーム	Off、On		
		送信するカメラの選択	チェック 有/無			
		検出感度	1 (低い)、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15 (高い)			
録画・イベント	録画設定	スケジュール1 録画する曜日	月、火、…、日	チェック 有/無	有	
		スケジュール1 録画する時間帯	タイムテーブル1-スケジュール録画 (時間帯)	--:、00:00 ~ 24:00	時間帯1 : 00:00 ~ 24:00 時間帯2 : --: ~ --: 時間帯3 : --: ~ --:	
		録画設定 (全カメラ同一設定)	フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、30 ips	10ips	●
			画質	XF、SF、FQ、NQ	FQ	●
			推定録画日数 (参考値)	(計算結果を表示)	(計算結果を表示)	
		スケジュール1 詳細設定	録画する曜日 (月、火、…、日)	タイムテーブル1、タイムテーブル2、Off	タイムテーブル1	◎
			イベント録画 (イベント録画時間)	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、5分、10分、15分、Manual、Ext.	30秒	◎
			イベント録画 (プレ録画時間)	0秒、5秒、10秒、15秒	0秒	◎
			録画する時間帯 (タイムテーブル1-スケジュール録画-時間帯)	--:、00:00 ~ 24:00	時間帯1 : 00:00 ~ 24:00 時間帯2 : --: ~ --: 時間帯3 : --: ~ --:	◎
			録画する時間帯 (タイムテーブル1-イベント録画)	--:、00:00 ~ 24:00	時間帯1 : 00:00 ~ 24:00 時間帯2 : --: ~ --: 時間帯3 : --: ~ --:	◎
			録画する時間帯 (タイムテーブル1-イベント録画-メール)	チェック 有/無	時間帯1 : 無 時間帯2 : 無 時間帯3 : 無	◎
			録画する時間帯 (タイムテーブル1-イベント録画-独自アラーム)	チェック 有/無	時間帯1 : 無 時間帯2 : 無 時間帯3 : 無	◎
			録画する時間帯 (タイムテーブル2-スケジュール録画-時間帯)	--:、00:00 ~ 24:00	時間帯1 : --: ~ --: 時間帯2 : --: ~ --: 時間帯3 : --: ~ --:	◎
			録画する時間帯 (タイムテーブル2-イベント録画)	--:、00:00 ~ 24:00	時間帯1 : --: ~ --: 時間帯2 : --: ~ --: 時間帯3 : --: ~ --:	◎
			録画する時間帯 (タイムテーブル2-イベント録画-メール)	チェック 有/無	時間帯1 : 無 時間帯2 : 無 時間帯3 : 無	◎
録画する時間帯 (タイムテーブル2-イベント録画-独自アラーム)	チェック 有/無		時間帯1 : 無 時間帯2 : 無 時間帯3 : 無	◎		

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考		
録画・イベント	録画設定	スケジュール2 詳細設定	録画する曜日（月、火、…、日）	タイムテーブル1、タイムテーブル2、Off	タイムテーブル1	◎	
		イベント録画（イベント録画時間）	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、5分、10分、15分、Manual、Ext.	30秒	◎		
		イベント録画（プレ録画時間）	0秒、5秒、10秒、15秒	0秒	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル1-スケジュール録画-時間帯）	--:--、00:00～24:00	時間帯1：--:--～--:-- 時間帯2：--:--～--:-- 時間帯3：--:--～--:--	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル1-イベント録画）	--:--、00:00～24:00	時間帯1：--:--～--:-- 時間帯2：--:--～--:-- 時間帯3：--:--～--:--	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル1-イベント録画-メール）	チェック 有/無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル1-イベント録画-独自アラーム）	チェック 有/無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル2-スケジュール録画-時間帯）	--:--、00:00～24:00	時間帯1：--:--～--:-- 時間帯2：--:--～--:-- 時間帯3：--:--～--:--	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル2-イベント録画）	--:--、00:00～24:00	時間帯1：--:--～--:-- 時間帯2：--:--～--:-- 時間帯3：--:--～--:--	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル2-イベント録画-メール）	チェック 有/無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	◎		
		録画する時間帯（タイムテーブル2-イベント録画-独自アラーム）	チェック 有/無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	◎		
		録画詳細設定（カメラ別）	品番	(登録情報を表示)	(登録情報を表示)	◎	
			圧縮方式	(登録情報を表示)	(登録情報を表示)	◎	
			解像度	[アスペクト比 4:3] QVGA (320×240)、VGA (640×480)、SXVGA (1280×960)、SVGA (800×600)、QXGA (2048×1536) [アスペクト比 16:9] QVGA (320×180)、HVGAW (640×360)、HD (1280×720)、FHD (1920×1080)	VGA (640x480)	◎	
	レート		1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、30 ips、60 ips	10 ips	● ◎		
	画質		XF、SF、FQ、NQ	FQ	● ◎		
	録音		Off、On	Off	◎		
	スケジュール設定		スケジュール1、スケジュール2	スケジュール1	◎		
	推定記録日数（参考値）		(計算結果を表示)	(計算結果を表示)	◎		
	イベント設定		アラーム動作	出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	◎
				ブザー鳴動時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	◎
				自動復帰時間	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、3分、5分、Ext.	Ext.	◎

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考		
録画・イベント	イベント設定	アラーム動作	メッセージ表示	Off、On	On	◎	
			メインモニター連動動作	Off、On、On（アラーム確認/復帰）	Off	◎	
			イベント種別選択	チェック 有/無	端子アラーム：有	◎	
				チェック 有/無	カメラサイトアラーム：有	◎	
				チェック 有/無	コマンドアラーム：有	◎	
				チェック 有/無	顔照合アラーム：有	◎	
		画面表示	操作画面表示、全画面表示	操作画面表示	◎		
		端子アラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画+アラーム動作	録画+アラーム動作	◎	
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎	
			端子別設定（録画カメラ）	Off、カメラ1、…、カメラ32、全カメラ	端子番号と同じカメラ番号	◎	
			端子別設定（プリセット）	001～256、---	---	◎	
			端子別設定（端子出力）	Off、On	On	◎	
			端子別設定（端子入力）	N.O.、N.C.	N.O.	◎	
		カメラサイトアラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画+アラーム動作	録画+アラーム動作	◎	
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎	
			カメラ別設定（録画カメラ）	Off、カメラ1、…、カメラ32	カメラ番号	◎	
			カメラ別設定（プリセット）	001～256、---	---	◎	
			カメラ別設定（端子出力）	Off、On	On	◎	
		コマンドアラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画+アラーム動作	録画+アラーム動作	◎	
			アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎	
			コマンド番号別設定（録画カメラ）	Off、カメラ1、…、カメラ32	コマンド番号と同じカメラ番号（カメラのライセンス数より大きいコマンド番号はOff）	◎	
			コマンド番号別設定（プリセット）	001～256、---	---	◎	
		コマンド番号別設定（端子出力）	Off、On	On	◎		
			顔照合アラーム詳細設定	動作モード	Off、アラーム動作	Off	◎
				アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
		カメラ別設定（顔照合出力）		Off、On	On	◎	
		顔照合登録	顔照合登録リスト（照合感度）	1（低）、2、3、4、5（高）	3		
			顔照合登録リスト（顔画像）	未設定	未設定		
			顔照合登録リスト（登場日時）	（表示のみ）	（表示のみ）		
			顔照合登録リスト（名称）	（テキスト入力）	Person001、…、Person100		
			顔照合登録リスト（照合）	する、しない	しない		
			照合エリア設定	（画面上の任意のエリア）	照合エリア1：全エリア 照合エリア2～4：未設定		
		高度な設定	録画動作	Off、On	On	◎	
			アラームマスク時間	2秒、3秒、5秒、10秒	2秒	◎	
			サイトアラーム受信ポート番号	（ポート番号）	1818	◎	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

詳細設定

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
モニター	メインモニター	カメラタイトル	表示	Off、On	On	◎
			位置	左上、左下、右上、右下	右上	◎
カメラタイトル			(テキスト入力)	CAM1、…、CAM32	◎	
サブモニター	表示設定	動作モード	1画ライブシーケンス、4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンス、アラーム端子連動、16分割画面（NV300シリーズのみ）	1画ライブシーケンス	◎	
			切換間隔	3秒、5秒、10秒	5秒	◎
			表示するカメラの選択	チェック 有/無	無	◎
			シークレットビュー	Off、On	Off	◎
	高度な設定	音声出力カメラ選択	表示カメラ、カメラ1、…、カメラ32		表示カメラ	◎
			全画面表示の操作パネルに表示する画面分割ボタンの選択*	1画	チェック 有/無	有、固定
		4画		チェック 有/無	有	◎
		6画		チェック 有/無	無	◎
		9画		チェック 有/無	有	◎
		16画		チェック 有/無	有	◎
24画		チェック 有/無		無	◎	
32画		チェック 有/無		無	◎	
1画（サイドパネル）		チェック 有/無		無	◎	
4画（サイドパネル）		チェック 有/無		無	◎	
9画（サイドパネル）		チェック 有/無		無	◎	
12画（サイドパネル）		チェック 有/無		無	◎	
16画（サイドパネル）		チェック 有/無		無	◎	
3画（非等分割）		チェック 有/無		無	◎	
9画（非等分割）		チェック 有/無		無	◎	
16画（非等分割）		チェック 有/無	無	◎		
その他の設定	その他の設定	1画面表示時のライブ画像を高解像度（SXVGA/HD）で表示する	チェック 有/無	無	◎	
		全画面表示時の状態表示パネルと操作パネルを自動的に隠す	チェック 有/無	無	◎	
		操作画面表示でアスペクト比が16:9の画像を拡大して表示する	チェック 有/無	無	◎	
		ウェブブラウザの画像を16:9のアスペクト比で表示する	チェック 有/無	無	◎	
		サブモニター（HDMI）の電源オフを検出する	チェック 有/無	有	◎	
		モニター（HDMI）非接続時はライブ画像の受信を停止する	チェック 有/無	無	◎	
		サブモニターのカメラタイトルを非表示にする	チェック 有/無	無	◎	

※6画／9画／9画（サイドパネル）／9画（非等分割）はライセンス数が9以上で設定メニューに表示されます
 ※12画（サイドパネル）はライセンス数が12以上で設定メニューに表示されます
 ※16画／16画（サイドパネル）／16画（非等分割）はライセンス数が16以上で設定メニューに表示されます
 ※24画はライセンス数が24以上で設定メニューに表示されます
 ※32画はライセンス数が32で設定メニューに表示されます

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
ネットワーク	基本	ネットワーク設定 [カメラ/PCポート]	IPアドレス	(IPアドレス)	192.168.0.250	◎
			サブネットマスク	(IPアドレス)	255.255.255.0	◎
			デフォルトゲートウェイ	(IPアドレス)	192.168.0.1	◎
			通信速度	Auto、100M-Full、100M-Half、10M-Full、10M-Half	Auto	◎
		DNS設定	DNS	Off、Manual	Off	◎
			プライマリーサーバーアドレス	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎
			セカンダリーサーバーアドレス	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎
			ドメイン名	(テキスト入力)	localdomain	◎
		DDNS設定	DDNS	Off、みえますねっとPRO、ダイナミックDNS Update	Off	◎
			ホスト名 (ダイナミックDNS Update)	(テキスト入力)	NWDR	◎
			アクセス間隔 (ダイナミックDNS Update)	10分、20分、30分、40分、50分、1時間、6時間、24時間	1時間	◎
			本機のURL (みえますねっとPRO)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			サービスへのリンク (みえますねっとPRO)	(表示のみ)	(表示のみ)	
		ネットワーク設定 [PCポート] (NV300シリーズのみ)	IPアドレス	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎
	サブネットマスク		(サブネットマスク)	0.0.0.0	◎	
	デフォルトゲートウェイ		(表示のみ)	(表示のみ)		
	通信速度		(表示のみ)	(表示のみ)		
	その他の設定	HTTPポート番号	(ポート番号)	80	◎	
		FTPポート番号	(ポート番号)	21	◎	
		改ざん検出コードの付与 (FTP)	Off、On	Off	◎	
	メール	メール設定	SMTPサーバーアドレス	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			SMTPポート番号	(ポート番号)	25	◎
			POPサーバーアドレス	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			認証方式	なし、POP before SMTP、SMTP	なし	◎
			ユーザー名	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			パスワード	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			送信元メールアドレス	(テキスト入力)	NWDR	◎
SSL			Off、On	Off	◎	
送信先メールアドレス (通知先)			(テキスト入力)	(空欄)	◎	
送信先メールアドレス (障害)			チェック 有/無	有	◎	
送信先メールアドレス (アラーム)			チェック 有/無	有	◎	
独自アラーム	独自アラーム設定	ポート番号 (本機→PC)	(ポート番号)	1818	◎	
		リトライ回数	0、…、8	2	◎	
		送信先アドレス (通知先)	(テキスト入力)	(空欄)	◎	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考			
ネットワーク	NTP/ SNMP	NTP設定	NTP自動時刻合わせ	Off、On	Off	◎		
			プライマリーサーバーアドレス	(テキスト入力)	(空欄)	◎		
			セカンダリーサーバーアドレス	(テキスト入力)	(空欄)	◎		
		SNMP設定	コミュニティ名	(テキスト入力)	(空欄)	◎		
			機器名	(テキスト入力)	(空欄)	◎		
			機器の物理的位置	(テキスト入力)	(空欄)	◎		
			連絡先	(テキスト入力)	(空欄)	◎		
ユーザー管理	基本	本体操作	オートログイン	Off、On	On	◎		
			オートログインユーザー	(登録済ユーザー名から選択)	ADMIN	◎		
			簡易ログイン	Off、On	Off	◎		
			オートログアウト	Off、1分後、3分後、5分後、30分後	Off	◎		
	ネット ワーク操 作	ユーザー認証	Off、On	On	◎			
	ユーザー レベル設 定	ライブ操作（表示カメラ切 換）	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：(有、固定) ビューワー：(有、固定) ログアウト時：有	◎			
			カメラ制御	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎		
			サーチ・再生	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：有 ログアウト時：(無、固定)	◎		
			コピー	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：無 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎		
			アラーム復帰	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎		
			エラー復帰	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎		
			設定	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：無 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎		
			カメラ画像表示	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：有 ログアウト時：有	◎		
			ユーザー登録	新規ユーザー情報の登録	ユーザー名	(テキスト入力)	(空欄)	◎
					パスワード	(テキスト入力)	(空欄)	◎
	レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー			オペレーター	◎		

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
ユーザー管理	ユーザー登録	新規ユーザー情報の登録	スタートモニター*	カメラ1、…、カメラ32、4分割画面A、4分割画面B、4分割画面C、4分割画面D、4分割画面E、4分割画面F、4分割画面G、4分割画面H、9分割画面、16分割画面A、16分割画面B、1画面（全画面）、4分割画面（全画面）、9分割画面（全画面）、16分割画面（全画面）	4分割画面A	◎
		登録済みのユーザー情報の変更/削除	ユーザー名	(登録済みユーザー名から選択)	未設定	◎
			パスワード	(テキスト入力)	(空欄)	◎
			レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー	未設定	◎
		スタートモニター*	カメラ1、…、カメラ32、4分割画面A、4分割画面B、4分割画面C、4分割画面D、4分割画面E、4分割画面F、4分割画面G、4分割画面H、9分割画面、16分割画面A、16分割画面B、1画面（全画面）、4分割画面（全画面）、9分割画面（全画面）、16分割画面（全画面）	(空欄)	◎	
	管理者設定	管理者名	(テキスト入力)	ADMIN	◎	
		パスワード	(テキスト入力)	12345	◎	
		パスワード（確認）	(テキスト入力)	12345	◎	
		レベル	管理者	管理者	◎	
		スタートモニター*	カメラ1、…、カメラ32、4分割画面A、4分割画面B、4分割画面C、4分割画面D、4分割画面E、4分割画面F、4分割画面G、4分割画面H、9分割画面、16分割画面A、16分割画面B、1画面（全画面）、4分割画面（全画面）、9分割画面（全画面）、16分割画面（全画面）	4分割画面A	◎	
メンテナンス	システム情報	ソフトウェアバージョン1	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ソフトウェアバージョン2	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ソフトウェアバージョン EXT1	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ソフトウェアバージョン EXT2	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ハードウェアバージョン	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		シリアル番号	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ネットワークポート [カメラ/PCポート]	MACアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			IPアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			通信速度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
		ネットワークポート [PCポート] (NV300シリーズのみ)	MACアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
IPアドレス	(表示のみ)		(表示のみ)	◎		

※スタートモニターの設定範囲はカメラのライセンス数によって変わります。9分割画面はライセンス数9の場合のみです。4分割画面B、4分割画面C、9分割画面（全画面）はライセンス数9以上、16分割画面A、16分割画面（全画面）はライセンス数12以上、4分割画面Dはライセンス数16以上、4分割画面E、F、16分割画面Bはライセンス数24以上、4分割画面G、Hはライセンス数32の場合に選択できます。

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
メンテナンス	システム情報	本体内部現在温度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		最高温度記録	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		HDD1現在温度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		HDD1最高温度記録	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		HDD2現在温度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		HDD2最高温度記録	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
	HDD情報	容量	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		稼働時間	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		ステータス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		録画画像の日時範囲	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
		推定上書き周期	(表示のみ)	(表示のみ)	◎	
	システム管理	システム設定	障害出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	◎
			障害ブザー鳴動時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	◎
			ネットワークリンク外れ検出	Off、On	Off	◎
HDD稼働時間警告			Off、10000時間、20000時間、30000時間、40000時間、50000時間	20000時間	◎	
データ自動消去			Off、1日、…、10日、14日、30日、45日、60日、90日、120日、150日、180日	Off	◎	
カメラ時刻自動同期			Off、On	On	◎	
ログ情報		アクセスログ（日時、内容）	(表示のみ)	(表示のみ)		
		ネットワークログ（日時、内容）	(表示のみ)	(表示のみ)		
キー管理システム入力情報		機器ID番号	(なし)	(機器固有番号)		
		起動ID番号	(なし)	起動情報案内カードに記載		
		暗号ID番号	(なし)	起動情報案内カードに記載		
ライセンス登録		本機解除キー番号	(テキスト入力)	(空欄)		
カメラ拡張		解除キー番号1	(テキスト入力)	(空欄)		
		解除キー番号2	(テキスト入力)	(空欄)		
		解除キー番号3	(テキスト入力)	(空欄)		
		解除キー番号4 (NV250シリーズのみ)	(テキスト入力)	(空欄)		
ビジネスインテリジェンス拡張		解除キー番号	(テキスト入力)	(空欄)		
全方位ネットワークカメラ用機能拡張オプション		解除キー番号	(テキスト入力)	(空欄)		
販売店・連絡先情報			(テキスト入力)	(空欄)		
保守・サービス用機能		設定の初期化	(なし)	(なし)	◎	
		設定データの保存 (SDカードへ)	(なし)	(なし)		
		設定データの読み込み (SDカードから)	(なし)	(なし)		
		顔照合データの保存 (SDカードへ)	(なし)	(なし)		

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
メンテナンス	システム管理	保守・サービス用機能	顔照合データの読み込み (SDカードから)	(なし)	(なし)	
			顔照合データダウンロード (ウェブブラウザのみ)	(なし)	(なし)	◎
			顔照合データアップロード (ウェブブラウザのみ)	(なし)	(なし)	◎
			ソフトウェアの更新	(なし)	(なし)	◎
			その他の機能	(なし)	(なし)	
HDD管理	全般	HDD情報	容量	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			稼働時間	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			ステータス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			録画画像の日時範囲	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
		HDDのフォーマット	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
			HDD情報 (フォーマット)	チェック 有/無	無	◎
			HDD情報 (結果)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
		HDDの取り外し	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (取り外し)	チェック 有/無	無	
		HDDの組み込み	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (組み込み)	チェック 有/無	有	
			HDD情報 (結果)	(表示のみ)	(表示のみ)	
		HDD運用モードの変更	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD情報 (結果)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			HDD運用モード	シングルモード、ミラーリングモード、RAID5 (NV300シリーズのみ)、RAID6 (NV300シリーズのみ)	(空欄)	
		拡張機能	ビジネスインテリジェンス	統計処理		Off, On
人数カウント	検出エリア			x:0 ~ 1280, y:0 ~ 960	検出エリア1：全エリア 検出エリア2 ~ 4 ：設定なし	
顔照合／年齢・性別判定	照合エリア			x:0 ~ 1280, y:0 ~ 960	検出エリア1：全エリア 検出エリア2 ~ 4 ：設定なし	
統計データの保存 (SDカードへ)	始点			2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	終点の前日	
	終点			2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	画面を表示した日時	
統計データダウンロード (ウェブブラウザのみ)	始点			2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	終点の前日	◎
	終点			2013/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	画面を表示した日時	◎

エラー履歴・ネットワークログについて

エラー履歴について

ここでは、メインモニターの状態表示パネルの表示と、障害発生履歴（エラー履歴）の表示およびその内容について説明します。

エラー履歴の表示は、障害履歴（メインモニター）とエラーログ（ウェブブラウザ）で共通です。

- 「x」は増設ユニットの番号を表します。
- 「y」はHDDの番号を表します。
- 「f」はFANの番号を示します。
- 「cc」はカメラ番号を示します。

エラーの内容	状態表示パネル表示	障害履歴／エラーログ	後面端子出力
温度異常警告	温度異常：MAIN 温度異常：EXTx	温度異常：MAIN 温度異常：EXTx	機器異常
FAN警告	ファン異常：MAIN-f ファン異常：EXTx-f	ファン異常：MAIN-f ファン異常：EXTx-f	機器異常
NWカメラ障害検出	通信エラー：カメラcc	通信エラー：カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害復旧	—	通信復旧：カメラcc	—
NWカメラ障害検出（音声）	音声通信エラー：カメラcc	音声通信エラー：カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害復旧（音声）	—	音声通信復旧：カメラcc	—
Video ロス（エンコーダーのカメラ接続断の通知）	ビデオロス：カメラcc	ビデオロス：カメラcc	カメラ異常
Video ロス復旧 （エンコーダーのカメラ接続断の復旧通知）	—	ビデオ復旧：カメラcc	—
録画異常検出	録画異常	録画異常(RCA) 録画異常(AGT) 録画異常(WCK)	録画異常
SMART警告	SMART警告：MAIN-y SMART警告：EXTx-y	SMART警告：MAIN-y SMART警告：EXTx-y	HDD異常
HDD応答遅延警告	応答遅延：MAIN-y 応答遅延：EXTx-y	応答遅延：MAIN-y 応答遅延：EXTx-y	HDD異常
HDDアワーメーター警告	HDD稼働時間警告：MAIN-y HDD稼働時間警告：EXTx-y	HDD稼働時間警告：MAIN-y HDD稼働時間警告：EXTx-y	HDD異常
HDDスキップ*1	—	HDD書き込み先変更：MAIN-y HDD書き込み先変更：EXTx-y HDD書き込み先変更：EXTx	—
HDDライトエラー	—	書き込みエラー：MAIN-y 書き込みエラー：EXTx-y	—
HDDリードエラー	—	読み込みエラー：MAIN-y 読み込みエラー：EXTx-y	—
改ざん検出	改ざん検出：カメラcc	改ざん検出：カメラcc	機器異常
HDD自動リンク外し（HDD単位）	HDD故障：MAIN-y HDD故障：EXTx-y	HDD故障：MAIN-y HDD故障：EXTx-y	HDD異常
HDDフォーマット失敗	フォーマット失敗：MAIN-y フォーマット失敗：EXTx-y	フォーマット失敗：MAIN-y フォーマット失敗：EXTx-y	HDD異常
HDD取出エラー （正常認識HDDを正常操作なしで取り外し）	HDD取り外し警告：MAIN-y HDD取り外し警告：EXTx-y	HDD取り外し警告：MAIN-y HDD取り外し警告：EXTx-y	HDD異常
再起動（CPU関連）	—	システム再起動（CPU）	—
再起動（DEC関連）	—	システム再起動（DEC）	—
再起動（NW障害関連）	—	システム再起動（ネットワーク）	—

エラー履歴・ネットワークログについて（つづき）

エラーの内容	状態表示パネル表示	障害履歴／エラーログ	後面端子出力
コピーメディアライトエラー	コピー失敗	書き込みエラー：SDカード 書き込みエラー：COPY 書き込みエラー：DVD	—
コピーメディアリードエラー	—	読み込みエラー：SDカード 読み込みエラー：COPY 読み込みエラー：DVD	—
コピーメディアフル	—	残容量無し：SDカード 残容量無し：COPY 残容量無し：DVD	—
コピーメディアのデータ件数超過	—	データ件数超過：SDカード データ件数超過：COPY データ件数超過：DVD	—
顔照合データエラー	顔照合データエラー	顔照合データエラー	—
NWリンク外れエラー	ネットワークリンクエラー	-	NW異常
通信速度警告（Auto設定時にHalfになったとき）	NW通信速度警告	NW通信速度警告	—
NTPサーバーとの時差が1000秒以上のため時刻を合わせなかったとき	NTP日時調整失敗	NTP日時調整失敗	—
DNSから独自通知先解決できず	—	独自アラーム アドレス解決エラー	NW異常
独自通知先応答なし	—	独自アラーム 応答なし	NW異常
独自通知先その他のエラー	—	独自アラーム その他のエラー	NW異常
DNSからみえますねっとPRO アドレス解決できず	—	みえますねっとPRO アドレス解決エラー	NW異常
みえますねっとPRO 応答なし	—	みえますねっとPRO 応答なし	NW異常
みえますねっとPRO その他のエラー	—	みえますねっとPRO その他のエラー	NW異常
HDD自動リンク外し（ユニット単位）	HDD故障：EXTx	HDD故障：EXTx	HDD異常
RAID5フォーマット失敗	フォーマット失敗：EXTx	RAID5フォーマット失敗：EXTx	HDD異常
RAID6フォーマット失敗	フォーマット失敗：EXTx	RAID6フォーマット失敗：EXTx	HDD異常
RAID5 1ダウン*2	RAID5 1ダウン：EXTx	RAID5 1ダウン：EXTx	HDD異常
RAID5 2ダウン*2	RAID5 2ダウン：EXTx	RAID5 2ダウン：EXTx	HDD異常
RAID6 1ダウン*2	RAID6 1ダウン：EXTx	RAID6 1ダウン：EXTx	HDD異常
RAID6 2ダウン*2	RAID6 2ダウン：EXTx	RAID6 2ダウン：EXTx	HDD異常
RAID6 3ダウン*2	RAID6 3ダウン：EXTx	RAID6 3ダウン：EXTx	HDD異常
HDD RAID5復旧失敗	RAID5復旧失敗：EXTx	RAID5復旧失敗：EXTx	HDD異常
HDD RAID6復旧失敗	RAID6復旧失敗：EXTx	RAID6復旧失敗：EXTx	HDD異常
パラメーター初期化エラー	—	不正ユニット検出：EXTx	—
再起動（増設ユニット未接続検出）	—	システム再起動(EXT)	—
サブモニター未検出	サブモニター未検出	サブモニター未検出	—
ミラーリング復旧完了	—	ミラー復旧完了	—
RAID5復旧完了	—	RAID5復旧完了：EXTx	—
RAID6復旧完了	—	RAID6復旧完了：EXTx	—

※1 HDDスキップとは、HDDへの書き込みエラーなどが発生したときに、別のHDDに録画を継続する機能です。

※2 RAIDダウン時の復旧方法は、増設ユニットの取扱説明書をお読みください。

ネットワークログについて

ここでは設定画面の [メンテナンス] - [システム管理] - [ネットワークログ] と、本機に接続したPCのウェブブラウザに表示される本機のネットワークに関する履歴表示とその内容について説明します。
表示内容はウェブブラウザと共通です。

エラーの内容	ネットワークログ	後面端子出力
NWリンク外れエラー	NETWORK LINK ERROR	NW異常
電子メール送信	<SMTP>MAIL_SEND	—
SMTP認証エラー	<SMTP>SMTP_ATTEST_ERR	NW異常
POP3認証エラー	<SMTP>POP3_ATTEST_ERR	NW異常
DNSからPOP3サーバーアドレス解決できず	<SMTP>POP3_ADD_ERR	NW異常
POP3サーバー見つからず	<SMTP>POP3_SVR_ERR	NW異常
DNSからSMTPサーバーアドレス解決できず	<SMTP>SMTP_ADD_ERR	NW異常
SMTPサーバー見つからず	<SMTP>SMTP_SVR_ERR	NW異常
MAIL FROMコマンドエラー	<SMTP>MAIL_FROM_ERR	NW異常
RCPT TOコマンドエラー	<SMTP>RCPT_TO_ERR	NW異常
SMTPサーバーその他のエラー	<SMTP>OTHER_ERR	NW異常
FTPサーバー転送成功	<FTP>SVR_FWD_OK	—
FTPその他エラー	<FTP>OTHER_ERR	NW異常
NTPサーバーの時刻への同期成功	<NTP>GET_TIME_OK	—
DNSからNTPサーバーアドレス解決できず	<NTP>SVR_ADD_ERR	NW異常
NTP取得時刻異常（時計が同期していない）	<NTP>TIME_INVALID	NW異常
時刻設定失敗	<NTP>SET_TIME_ERR	NW異常
NTPサーバー見つからず	<NTP>SVR_ERR	NW異常
NTPその他のエラー	<NTP>OTHER_ERR	NW異常
SNMPユーザー名パスワードエラー	<SNMP>USER_PASS_ERR	NW異常
SNMPオブジェクト取得失敗	<SNMP>OBJ_ERR	NW異常
SNMPその他のエラー	<SNMP>OTHER_ERR	NW異常
HTTP ユーザー名パスワードエラー	<HTTP>USER_PASS_ERR	NW異常
HTTP ダウンロード失敗	<HTTP>DOWNLOAD_ERR	NW異常
HTTP 要求無効	<HTTP>REQUEST_ERR	NW異常
HTTP その他のエラー	<HTTP>OTHER_ERR	NW異常
DNSからDDNSサーバーアドレス解決できず	<DDNS>SVR_ADD_ERR	NW異常
DDNSサーバー応答なし	<DDNS>SVR_ERR	NW異常
DDNS同名ホスト登録	<DDNS>HOST_NAME_ERR	NW異常
DDNSその他エラー	<DDNS>OTHER_ERR	NW異常

運用画面について

ここでは、本機後面のマウス接続ポートに接続したマウス（付属品）から本機の操作を行う場合について説明します。PCのウェブブラウザから行う場合は、「ネットワーク操作」（[145ページ](#)）以降をお読みください。

メインモニター（ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです）

メインモニターは、操作画面表示と全画面表示の2種類の表示を切り換えて使用します。

操作画面表示

起動後は本画面が表示されます。本機的主要な操作はこの画面で行います。



①画像表示部

カメラ画像を表示します（[107ページ](#)）。

②状態表示パネル

本機の状態を表示します。アラームやエラーの発生状態や対処操作も行います（[101ページ](#)）。

③操作パネル

画像の切り換え、録画再生、カメラ操作などを行います。現在の日付と時刻を表示します。

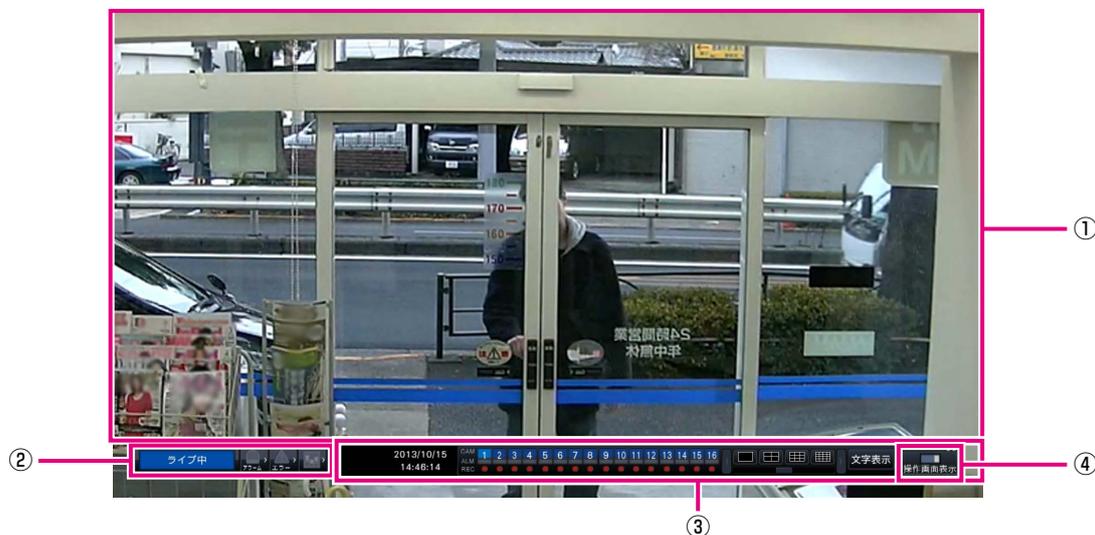
④【全画面表示】ボタン

メインモニターの表示を全画面表示に切り換えます。

運用画面について（つづき）

全画面表示

画像表示部が大きく、ライブ画像表示に特化した画面です。操作は限定されます。



①画像表示部

カメラ画像を表示します（[P.107](#)ページ）。

②状態表示パネル

本機の状態を表示します。アラームやエラーの発生状態や対処操作も行います（[P.101](#)ページ）。アラームボタン、エラーボタンのクリック時には、操作パネルに重ねて表示される場合があります。

③操作パネル

画像の切り換えや画面分割の切り換えなどを行います。現在の日付と時刻を表示します。

④【操作画面表示】ボタン

メインモニターの表示を操作画面表示に切り換えます。

画像表示部について

操作画面表示ではライブ画像と再生画像を表示します。全画面表示ではライブ画像のみ表示します。



カメラタイトル・日時表示

設定したカメラタイトルを表示します。表示位置は左上・左下・右上・右下から選ぶことができます（初期設定：右上）。日時はカメラ側の設定により表示されず。

カメラ選択枠

操作対象のカメラを表します。1画面表示／4画面表示（[P.112](#)、[P.113](#)ページ）のときは、マウス操作でカメラを操作できます。

運用画面について（つづき）

画像表示エリア

操作画面表示と全画面表示では、多画面表示の画面数が異なります。

また、カメラのライセンス数によっても画面分割ボタンの表示が変わります。

画面表示	状態	画面分割ボタン	カメラのライセンス数					
			4	9	12	16	24	32
操作画面表示	ライブ	1画面	○	○	○	○	○	○
		4画面	○	○	○	○	○	○
		9画面	—	○	—	—	—	—
		16画面	—	—	○	○	○	○
	再生	1画面	○	○	○	○	○	○
		4画面	○	○	○	○	○	○
		9画面	—	—	—	—	—	—
		16画面	—	—	—	—	—	—
全画面表示	ライブ	1画面	○	○	○	○	○	○
		4画面	○	○	○	○	○	○
		6画面	○	○	○	○	○	○
		9画面	—	○	○	○	○	○
		16画面	—	—	○	○	○	○
		24画面	—	—	—	—	○	○
		32画面	—	—	—	—	—	○
		1画面（サイドパネル）	○	○	○	○	○	○
		4画面（サイドパネル）	○	○	○	○	○	○
		9画面（サイドパネル）	—	○	○	○	○	○
		12画面（サイドパネル）	—	—	○	○	○	○
		16画面（サイドパネル）	—	—	—	○	○	○
		3画面（非等分割）	○	○	○	○	○	○
		9画面（非等分割）	—	○	○	○	○	○
16画面（非等分割）	—	—	—	○	○	○		

○：画面分割ボタンが表示されます。

—：画面分割ボタンが表示されません。

メモ

- 全画面表示の画面分割ボタンは表示／非表示を設定することができます。詳細は、「モニターに関するその他の設定を行う」（57ページ）をお読みください。
- サブモニターの「カメラ選択」の設定ですべてのカメラを選択していない場合のみ、24画面と32画面を表示できます。

運用画面について（つづき）

画像表示部では、ログインユーザーごとに最初に表示される画面（スタートモニター）を設定できます。選択できる画面は以下です。スタートモニターの設定については、69ページをお読みください。

カメラ1～カメラ32	：各カメラの1画面表示
4分割画面A	：カメラ1～4の4画面表示
4分割画面B	：カメラ5～8の4画面表示
4分割画面C	：カメラ9～12の4画面表示
4分割画面D	：カメラ13～16の4画面表示
4分割画面E	：カメラ17～20の4画面表示
4分割画面F	：カメラ21～24の4画面表示
4分割画面G	：カメラ25～28の4画面表示
4分割画面H	：カメラ29～32の4画面表示
9分割画面	：カメラ1～9の9画面表示
16分割画面A	：カメラ1～16の16画面表示
16分割画面B	：カメラ17～32の16画面表示
1画面（全画面）	：全画面の1画面表示
4分割画面（全画面）	：全画面の4画面表示
9分割画面（全画面）	：全画面の9画面表示
16分割画面（全画面）	：全画面の16画面表示

メモ

- スタートモニターで「カメラ1」～「カメラ32」、「4分割画面A」～「4分割画面H」以外が設定されている場合、PCのウェブブラウザのスタートモニターは、自動的にカメラ1～4の4画面表示となります。
-

運用画面について（つづき）

状態表示パネルについて

通常時



アラーム・エラー発生時（各種ボタン表示時）



①状態表示部

本機の状態を以下の内容で表示します。複数の状態が重なったときは、優先順位によって表示します。優先順位が同じ状態では、後から発生した状態を表示します。

状態	内容	表示例	優先順位
ライブ中	ライブ画像を表示しています。		6（低）
再生中	録画画像を再生しています。		6
RAID復旧中	RAID復旧中です。		5
コピー中	データのコピーをしています。進行度合いを%で表示します。		4
SDカードフォーマット中	SDカードをフォーマットしています。		4
DVDファイナライズ中	DVDを取り出すためにファイナライズしています。		4
HDD自動フォーマット中	HDDを自動フォーマットしています。		3
アラーム発生中	アラームが発生しています。アラーム内容を表示します。		2
エラー発生中	エラーが発生しています。エラー内容を表示します。		1（高）

②アラームボタン （顔照合機能を使用しない場合 ）

アラームの発生状況を示します。アラーム発生時は赤くなります。ボタンをクリックして、アラーム履歴表示ボタン、アラーム復帰ボタンなどの表示／非表示を切り換えます。

<顔照合機能>

顔照合機能を使用する設定になっている場合、以下の表示と操作ができます。

- 顔照合アラームなし
- 顔照合アラーム発生中

③エラーボタン

エラーの発生状況を表示します。エラー発生時は黄色になります。ボタンをクリックして、エラー履歴表示ボタン、エラー復帰ボタンの表示／非表示を切り換えます。

運用画面について（つづき）

④アラーム履歴表示ボタン

操作画面表示の操作パネルにアラーム履歴を表示します。アラーム履歴は750件まで記録できます。750件を超えると、古い履歴から上書きされます。

⑤アラーム復帰ボタン

アラーム動作を解除します。アラーム発生時のみクリックすることができます。

⑥エラー履歴表示ボタン

操作画面表示の操作パネルにエラー（障害）履歴を表示します。エラー履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると、古い履歴から上書きされます。

⑦エラー復帰ボタン

エラー（障害）動作を解除します。エラー発生時のみクリックすることができます。

⑧顔表示ボタン

操作画面表示の操作パネルに、最新の顔照合結果を表示します。（[☞ビジネスインテリジェンス拡張キット 取扱説明書](#)）

サブモニター（ライブ画像のみを表示するモニターです）

重要

- サブモニターからは、本機の設定や操作はできません。

サブモニターには、あらかじめ設定したカメラのライブ画像を1画面、4画面、9画面、16画面（NV300シリーズのみ）で表示することができます。1画面、4画面、9画面では表示カメラに複数のカメラを設定していると、あらかじめ設定した切換間隔でカメラ画像を順次切り換えて表示します（シーケンス表示）。また、端子アラームの信号入力でカメラ画像を切り換えることができます。（[☞56ページ](#)）

メモ

- カメラ画像内の日時や文字表示はサブモニターにも表示されますが、一部が欠ける場合があります。
- 画像を表示するためには、設定メニューであらかじめ表示するカメラを選択しておく必要があります。初期設定のままではカメラ画像は表示されません。
- 切り換わるタイミングによって、カメラ画像が表示される前に黒画が表示されることがあります。
- シークレットビュー機能が設定されている場合、メインモニターで1画面表示しているカメラ画像または多画面表示時に選択しているカメラ画像は表示されません。
- 1画ライブシーケンス動作時は、シークレットビューの画像はスキップ（非表示）されます。
- カメラ異常が発生しているカメラの画像は表示されません。
- 画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。サブモニター（BNC）のアスペクト比が4:3の場合は、サブモニター（HDMI）の表示に比べて縦長に表示されます。
- メインモニターの表示切り換えや再エンコード配信の有無によって、サブモニターのカメラ画像のフレームレートや解像度が変化したり、一瞬黒画が表示されたりします。逆に、サブモニターのカメラ画像が切り換わる時に、メインモニターのカメラ画像のフレームレートや解像度が変化したり、一瞬黒画が表示されたりすることがあります。

基本的な操作のしかた



本機の操作は、本機に接続したマウスを使ってメインモニター上に表示されるマウスカーソルを移動させ、画面上のボタンやタブを左クリックして行います。(以降、本書では左クリックをクリックと表記します。)

[▲] / [▼] ボタンのある設定欄では、カーソルの位置の値をマウスホイールで変更できます。例えば、時刻の設定では、時、分、秒の単位で変更します。

マウスカーソルの形状は、表示画面やマウス操作によって以下のようになります。

-  : 通常時
-  : カメラ番号パネルのドラッグ時 (全画面表示)

メモ

- 10秒間、何も操作しないとマウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。
- マウス接続ポートはコネクタを差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

ソフトキーボードを使って文字を入力する

設定項目の入力はソフトキーボードで行います。入力欄右の  アイコンをクリックすると、ソフトキーボードが表示され、画面上の文字キーをクリックすることで、文字を入力できます。

ソフトキーボード画面



文字入力欄

[全消去] ボタン

文字入力欄に入力されている文字列をすべて消去します。

[←] / [→] ボタン

文字入力欄のカーソルを左右に移動します。

[消去] ボタン

文字入力欄のカーソルのある文字を消去します。

[A / a] ボタン

英数字表示のとき大文字 / 小文字を切り換えます。日本語表示のときは [あ / ア] ボタンとなり、ひらがな / カタカナを切り換えます。

基本的な操作のしかた（つづき）

【切換】 ボタン

表示文字キーを切り換えます。

英数字→日本語1→日本語2→英数字、と表示されるキーが切り換わります。

日本語1は五十音を入力するとき、日本語2は、濁音、半濁音、小文字母音を入力するときに使用します。

【確定】 ボタン

入力した文字列を確定し、ソフトキーボード画面を閉じます。

メモ

- ログイン画面やパスワード入力画面なども、基本的な操作方法は同様です。
 - 文字入力を確定せずに画面を閉じるには、[×] ボタンをクリックしてください。
-

ログアウトする

[ログアウト] ボタンをクリックします。表示された確認画面で [OK] ボタンをクリックすると、ログアウトします。

メモ

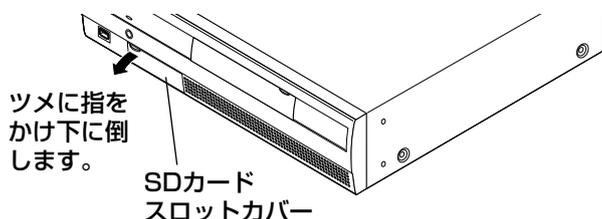
- 「オートログイン」の設定（[66ページ](#)）が「On」の場合、ログアウトしたあとは「オートログインユーザー」に設定しているユーザーで自動的にログインします。
-

SDカード/DVDを使用する

SDカード（別売り）を挿入する

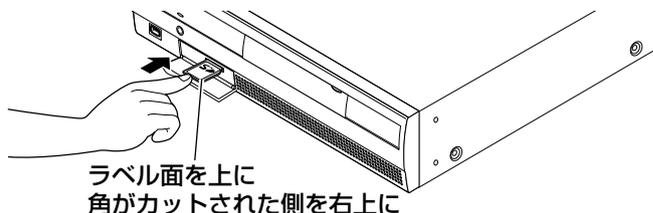
STEP1

SDカードスロットカバーを開けます。



STEP2

SDカードを奥までまっすぐ押し込みます。「カチッ」と音がすることを確認します。

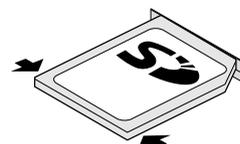


STEP3

SDカードスロットカバーを閉じます。

メモ

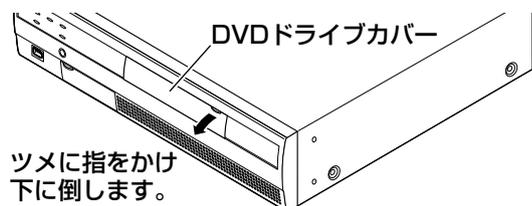
- SDカードを取り出す場合、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し込み、両角をはさむように持ってまっすぐ引き出します。
- SDカードスロットカバーは力が加わると外れる構造になっています。外れた場合は、元どおりに取り付けてください。



DVD（別売り）を入れる（DVDドライブ搭載モデルのみ）

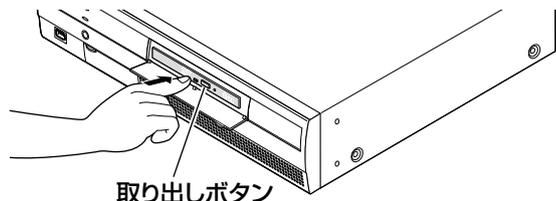
STEP1

DVDドライブカバーを開けます。



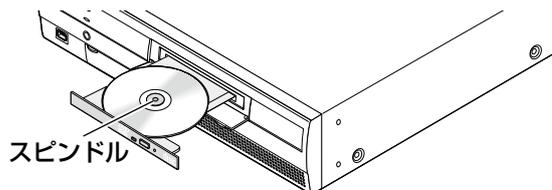
STEP2

本機の電源が入っている状態で、DVDドライブ中央の取り出しボタンを押し、ゆっくりとトレイを引き出します。



STEP3

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク中央の穴をトレイ中心のスピンダルに合わせ、軽く押し込みます。「カチッ」と音がして、ディスクがトレイにはまることを確認します。



STEP4

トレイを奥まで押し込みます。「カチッ」と音がして、トレイが固定されることを確認します。

STEP5

DVDドライブカバーを閉めます。

メモ

- DVDへ録画データをコピーした後は、PCで再生するためファイナライズ（取り出し処理）をしてください。（P.141ページ）
ファイナライズ操作をしないと、取り出しボタンを押してもトレイが開きません。

重要

- ディスクトレイを開閉する場合は、トレイの上から力をかけないでください。
- DVDドライブを使用しないときは、ディスクトレイは閉じておいてください。
- ディスクをトレイから取り出す場合は、スピンドルを押さえてディスクを外してください。無理にディスクをトレイから外そうとするとディスクやDVDドライブが壊れるおそれがあります。

起動時のログイン操作について

「オートログイン」の設定（[66ページ](#)）が「Off」の場合、システムチェック終了後、本機はログアウトした状態で起動します。

メインモニターに操作画面が表示されたら、以下の手順でユーザー名とパスワードを入力します。

STEP1

操作画面上の [ログイン] ボタンをクリックします。
→ログイン画面が表示されます。

STEP2

ユーザー名とパスワードを入力します。入力のしかたは「ソフトキーボードを使って文字を入力する」（[103ページ](#)）をお読みください。



- ユーザー登録のしかたは、[68ページ](#)をお読みください。

メモ

- 「簡易ログイン」の設定が「On」の場合はユーザー名をプルダウンリストから選択します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ログアウト時、または、管理者/マネージャー権限以外のユーザーがログイン中は、許可されている操作以外の操作をしようとした場合、ログイン画面が表示されます。

STEP3

[OK] ボタンをクリックします。
→入力したユーザー名、パスワードが正しいと、ログイン画面が消え、ログインボタンがログアウトボタンに変わります。入力したユーザー名、パスワードが間違っていると、エラー画面が表示されます。エラー画面を閉じて再度ログインしてください。

メモ

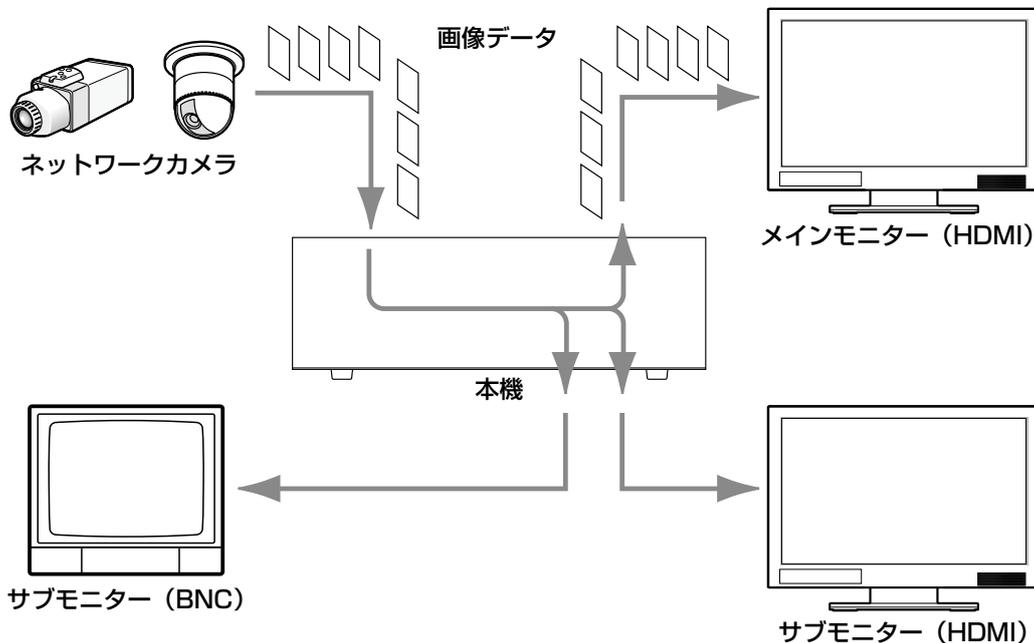
- お買い上げ時、管理者名とパスワードは以下のように設定されています。

管理者名 : ADMIN
パスワード : 12345

- セキュリティを確保するために、管理者名およびパスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、[69ページ](#)をお読みください。
- ログアウトするときは、操作画面上の [ログアウト] ボタンをクリックします。
- コピー動作中にログアウトすると、コピーを中止します（ウェブブラウザの場合は、画面を閉じてから中止まで90秒程度かかります）。なお、オートログアウトはコピー終了後から設定した時間経過後に実行されます。
- ログアウト状態のときの画像表示について
オートログインOffで起動した直後は、4分割画面Aを表示します。
ログイン中からログアウト操作をしたときは、ログアウト直前の画面を継続表示します。
（どのカメラ画像表示を許可するかはユーザーレベルの設定に従います。）
- 「オートログイン」が「On」の場合は、本ページの操作は不要です。

カメラのライブ画像を見る

本機を起動すると、設定された内容に従ってカメラのライブ画像がモニターに表示されます。
カメラ画像は本機を経由してライブ表示します。



ライブ画像はメインモニターに1画面または多画面で表示することができます。また、サブモニターは設定によって、自動的にカメラを切り換えて1画面または4画面で表示することができます。(※56ページ)

録画設定で「録音」を「On」に設定しているカメラ (※48ページ) の画像を表示しているときはそのカメラの音声はメインモニターで出力されます。多画面で表示しているときは選択しているカメラの音声は出力されます。

メモ

- ご使用のカメラやネットワーク環境によっては、カメラのライブ音声が遅延することがありますが、再生画像の音声には影響ありません。
- ライブ画像と音声を同期させるため音声データの更新処理を行っています。
この処理によりカメラのライブ音声が一瞬途切れますが、再生画像の音声には影響ありません。

操作パネルについて

ライブ画像の操作は、操作画面表示時と全画面表示時で操作方法や表示が異なります。

操作画面表示 操作パネル



カメラのライブ画像を見る（つづき）

カメラ番号パネル

カメラライセンス数により、4 / 9 / 12 / 16 / 24 / 32と表示パターンが変わります。

青色 : カメラ登録済み、画像非表示
グレー : 録画不可またはカメラ未登録
赤色 : イベント録画中

カメラライセンス数が4 / 9 / 12 / 16の場合、カメラの登録状態、カメラタイトル、録画状態などカメラに関する状態が表示されます。

カメラ番号

: (文字色)

白色 : カメラ登録済み

グレー : カメラ未登録

(背景色)

水色 : 画像表示部に画像表示中

青色 : カメラ登録済み、画像非表示

グレー : 録画不可またはカメラ未登録

カメラタイトル

: あらかじめ設定されたカメラタイトルの先頭から8文字を表示します。

(文字色)

カメラ番号と同じ

(背景色)

赤色 : イベント録画中

グレー : カメラ未登録

録画ランプ

: 録画中は赤く点灯します。接続エラーの場合は、が表示されます。

カメラライセンス数が24 / 32の場合、カメラ番号は表示せず、カメラタイトルと録画ランプのみの表示に変わります。

画面分割ボタン

1画面ボタン / 4画面ボタン / 16画面ボタンを表示します。

カメラライセンス数が4の場合、16画面ボタンは表示されません。

カメラライセンス数が9の場合、16画面ボタンの代わりに9画面ボタンが表示されます。

デジタルズームボタン

1画面または4画面で表示しているとき、画像を拡大 / 縮小表示することができます。(P.114ページ)

ミュートボタン

クリックするたびに、カメラの音声をミュート⇄ミュート解除と切り換えます。



カメラタイトル

: あらかじめ設定されたカメラタイトルの先頭5文字を表示します。

(文字色)

白色 : カメラ登録済み

グレー : カメラ未登録

(背景色)

水色 : 画像表示部に画像表示中

カメラのライブ画像を見る（つづき）

全画面表示 操作パネル



カメラ番号パネル

カメラライセンス数により、4 / 9 / 12 / 16 / 24 / 32と表示パターンが変わります。

カメラライセンス数が4 / 9 / 12 / 16の場合、カメラの登録状態、アラーム状態、録画状態などカメラに関する状態が表示されます。

カメラ番号 [CAM]

：(文字色)

白色 : カメラ登録済み

グレー : カメラ未登録

(背景色)

水色 : 画像表示部に画像表示中

青色 : カメラ登録済み、画像非表示

グレー : 録画不可またはカメラ未登録

アラーム表示 [ALM]

：イベント録画中は赤くなります。

録画ランプ [REC]

：録画中は赤く点灯します。

カメラライセンス数が24 / 32の場合、アラーム表示 [ALM] と録画ランプ [REC] は表示せず、カメラ番号の表示のみに変わります。



カメラ番号 [CAM]

：(文字色)

白色 : カメラ登録済み

グレー : カメラ未登録

(背景色)

水色 : 画像表示部に画像表示中

青色 : カメラ登録済み、画像非表示

グレー : 録画不可またはカメラ未登録

赤色 : イベント録画中

画面分割ボタン

カメラライセンス数により、画面分割ボタンの表示パターンが以下のように変わります。

カメラライセンス数	画面分割ボタン
4 (NV250シリーズのみ)	
9	
12 (NV250シリーズのみ)	
16	
24	
32 (NV300シリーズのみ)	

メモ

- 操作パネルに表示する画面分割ボタンを追加・削除することができます。この設定については「モニターに関するその他の設定を行う」(57ページ)をお読みください。
- 画面分割ボタンを5つ以上表示する場合は、左右のボタンやスライダーで表示する画面分割ボタンの表示を切り換えることができます。
- サブモニターを使用する場合は、24画面表示または32画面表示を行うことができません(サブモニター設定の「カメラ選択」(56ページ)にチェックがひとつでも入っていると、サブモニターを使用するものと見なします)。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

全画面表示のカメラ表示位置を変更する

初期設定では以下のように、カメラが割り当てられています。

1画面 (16:9)	4画面 (16:9)	6画面 (4:3)	9画面 (16:9)																																																																									
<table border="1"><tr><td>1</td></tr></table>	1	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																					
1																																																																												
1	2																																																																											
3	4																																																																											
1	2	3																																																																										
4	5	6																																																																										
1	2	3																																																																										
4	5	6																																																																										
7	8	9																																																																										
16画面 (16:9)	24画面 (4:3)	32画面	1画面 (4:3)																																																																									
<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr><tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr><tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>32</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	<table border="1"><tr><td>1</td></tr></table>	1
1	2	3	4																																																																									
5	6	7	8																																																																									
9	10	11	12																																																																									
13	14	15	16																																																																									
1	2	3	4	5	6																																																																							
7	8	9	10	11	12																																																																							
13	14	15	16	17	18																																																																							
19	20	21	22	23	24																																																																							
1	2	3	4	5	6	7	8																																																																					
9	10	11	12	13	14	15	16																																																																					
17	18	19	20	21	22	23	24																																																																					
25	26	27	28	29	30	31	32																																																																					
1																																																																												
4画面 (4:3)	9画面 (4:3)	12画面 (4:3)	16画面 (4:3)																																																																									
<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																
1	2																																																																											
3	4																																																																											
1	2	3																																																																										
4	5	6																																																																										
7	8	9																																																																										
1	2	3	4																																																																									
5	6	7	8																																																																									
9	10	11	12																																																																									
1	2	3	4																																																																									
5	6	7	8																																																																									
9	10	11	12																																																																									
13	14	15	16																																																																									
3画面 (4:3)	9画面 (4:3)	16画面 (4:3)																																																																										
<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td></td></tr></table>	1	2	3		<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																													
1	2																																																																											
3																																																																												
1	2	3																																																																										
4	5	6																																																																										
7	8	9																																																																										
1	2	3	4																																																																									
5	6	7	8																																																																									
9	10	11	12																																																																									
13	14	15	16																																																																									

カメラ番号パネルを画像表示部の表示したい位置にドラッグ&ドロップすると、カメラ表示位置を入れ換えることができます。

メモ

- すでに割り当てられているカメラを他の表示位置に割り当てると、もともと割り当てられていた位置のカメラは非表示になります。
- 割り当てたカメラ位置は電源を切ったり、再起動したりしても記憶されています（設定の初期化を行うと、カメラ位置の情報も初期化されます）。
- 画面左上のカメラの音声が出力されます。
- 操作画面表示でミュートが選択されていると、音声は出力されません。
- 画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。
- 解像度がQXGA（2048×1536）に設定されているカメラは、6画面以上で表示することができません。

操作画面表示と全画面表示を切り換える

カメラ画像を画面全体に表示します。

操作画面表示の全画面表示ボタン



全画面表示の操作画面表示ボタン



STEP1

操作画面で [全画面表示] ボタン (P.97ページ) をクリックします。

→カメラ画像が画面全体に表示されます。初期設定では1画面が表示されます。

STEP2

全画面表示から操作画面表示に戻すには、[操作画面表示] ボタンをクリックします。

→操作画面表示に戻ります。画像表示部はログインユーザーのスタートモニター設定に従います。スタートモニター設定が全画面の場合は、4分割画面Aになります。

メモ

- 再度、[全画面表示] ボタンをクリックすると、前回表示していた画面分割で表示します。
-

カメラのライブ画像を見る（つづき）

1画面で表示する

カメラ画像を1画面で表示します。

操作画面で表示中

STEP1

多画面で表示中は、画面分割の1画面ボタンをクリックします。

→画像表示部が1画面で表示されます。

STEP2

表示したいカメラ画像のカメラ番号パネルをクリックします。

→選択したカメラ番号の背景色が水色になり、ライブ画像が表示されます。

操作画面表示のカメラ番号パネル



メモ

- 画像表示部で選択中のカメラのカメラ番号パネルをダブルクリックして、1画面表示することもできます。
- 多画面表示の画像表示部でカメラ選択枠をダブルクリックして1画面表示することもできます。
- 表示中のカメラの音声が出力されます。（[モニター] - [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）
- 初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については57ページをお読みください。

全画面で表示中

STEP1

多画面で表示中は、画面分割の1画面ボタンをクリックします。

→画像表示部が1画面で表示されます。

STEP2

表示したいカメラ画像のカメラ番号パネルをドラッグして、ライブ画像上にドロップします。

→選択したカメラ番号の背景色が水色になり、ライブ画像が表示されます。

全画面表示のカメラ番号パネル



メモ

- 表示中のカメラの音声が出力されます。（[モニター] - [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）

カメラのライブ画像を見る（つづき）

多画面で表示する

カメラ画像を多画面分割して表示します。

操作画面で表示中

STEP 1

画面分割ボタンのいずれかをクリックします。
→ライブ画像が多画面で表示されます。

操作画面表示の画面分割ボタン



●4画面ボタン

ボタンをクリックするたびに、カメラ1～4→カメラ5～8→カメラ9～12→カメラ13～16のように、4画面ずつ切り換えて表示します。

●9画面ボタン、16画面ボタン

カメラ1～9またはカメラ1～16のカメラ画像をすべて表示します。

カメラライセンス数が24 / 32の場合、カメラ1～16→カメラ17～24 / 32のように、16画面ずつ切り換えて表示します。

メモ

- 操作画面表示では次のようになります。
多画面表示から1画面表示に切り換えた場合、画像表示部をダブルクリックすると、直前の多画面表示に戻すことができます。

全画面で表示中

STEP 1

画面分割ボタンのいずれかをクリックします。
→ライブ画像が多画面で表示されます。

全画面表示の画面分割ボタン



- 4画面表示 / 16画面表示の状態ではカメラ番号パネルをクリックして、表示する4画面 / 16画面を切り換えることもできます。（1～4表示中にカメラ5のパネルをクリックすると5～8が表示されます）
- 選択中のカメラの音声が出力されます。（[モニター] - [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）
- カメラライセンス数が9の場合、4画面ボタンをクリックすると以下のように切り換わります。
カメラ1～4→カメラ5～8→カメラ9（左上のみ画像表示）→カメラ1～4
- 初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については57ページをお読みください。
- 解像度がQXGA（2048×1536）に設定されているカメラ画像は、9画面/16画面で表示することができません。

メモ

- 画面左上のカメラの音声が出力されます。（[モニター] - [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます）

カメラのライブ画像を見る（つづき）

カメラタイトルの表示／非表示を切り換える

モニターに表示しているカメラタイトルの表示／非表示を切り換えます。

STEP1

[文字表示] ボタンをクリックするたびに、メインモニターとサブモニター（HDMI）に表示されるカメラタイトルの表示／非表示が切り換わります。

文字表示ボタン

A rectangular button with a dark background and the text "文字表示" (Text Display) in white.

メモ

- 表示／非表示の状態は電源を切るまで維持されます。一度電源を切ると、次回はカメラタイトルを表示した状態で起動します。
- サブモニターのカメラタイトルは、この操作に関わらず非表示にすることができます。「モニターに関するその他の設定を行う」(P.57ページ)をお読みください。

デジタルズームを使用する

1画面または4画面で表示しているとき、デジタルズームを使って画像をズームします。また、ズームした画像の表示領域を移動することができます。

メモ

- 全画面表示時および9画面／16画面表示時はデジタルズームを使用できません。
- 4画面表示中に使用するときは、対象とするカメラ画像を選択してから操作を行ってください。カメラの選択は、カメラ番号パネル、またはカメラ画像をクリックします。カメラが選択されると、カメラ画像の周囲に選択枠が表示されます。

STEP1

画像表示部が1画面または4画面で表示されていることを確認します。

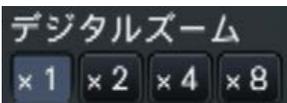
(4画面表示時は、操作対象のカメラを選択します)

STEP2

デジタルズームボタン [×2] [×4] [×8] をクリックします。

→画面中央を中心として2倍／4倍／8倍ズームで表示されます。

デジタルズームボタン



メモ

- ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。
- カメラコントロールパネル (P.115ページ) 上の「カメラをマウスで操作する」にチェックが入っていない場合のみ、デジタルズームをマウスのホイール操作で行えます。その場合、マウスカーソル位置を中心としてズーム表示されます。

STEP3

デジタルズームボタン [×1] をクリックすると、デジタルズームを解除します。

メモ

- 他カメラの選択、画面分割切り換えなどの操作を行っても、デジタルズームは自動的に解除されません。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を1画面または4画面で表示しているとき、本機から以下のカメラ操作を行うことができます。

メモ

- 接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない機能があります。
- 操作は操作画面で行います。全画面表示をしている場合は、画面右下の「操作画面表示」ボタンをクリックして、操作画面を表示し、1画面または4画面表示にしてください。
- 固定カメラの場合は、カメラコントロールパネルのボタンなどが操作不可になります。

カメラコントロールパネル

画像表示部で選択状態（選択枠表示）のカメラを操作します。1画面表示時は、表示されているカメラが対象となります。4画面表示時は、操作パネルでカメラ番号パネルをクリックするか、または画像表示部でカメラ画像をクリックして選択してください。



コントロールボタン

クリックした方向に、カメラの向きが移動（パン/チルト）します。ボタンを押し続けると動作を継続します。

ズームボタン

ズームを調整します。

ホームポジション [移動] ボタン

カメラの向きをホームポジションに移動します

カメラをマウスで操作する

チェックを入れると、選択しているカメラの画像上で、マウスによるパン/チルト（クリック）、ズーム（マウスホイール）操作ができます。

メモ

- チェックを入れているときは、デジタルズーム（114ページ）のマウスのホイール操作はできません。固定カメラでカメラコントロールパネルが操作できない場合は、チェックのあり/なしにかかわらずマウスのホイール操作でデジタルズームを行えます。

【詳細】 ボタン

詳細カメラコントロールパネルを表示し、さらに以下のカメラ操作を行うことができます。



●フォーカスボタン

カメラの焦点を調整します。

●明るさボタン

レンズの絞りを調整します。

●自動モード

カメラに設定された自動モード機能を動作させます。

カメラを操作する（つづき）

●【プリセット】

カメラの向きをプリセットポジションに登録します。また、登録したプリセットポジションにカメラの向きを移動します。

●【設定】 ボタン

カメラ設定画面を表示し、ホームポジションの登録（ 120ページ）、オートバックフォーカス（ 120ページ）を実行します。



●【戻る】 ボタン

詳細カメラコントロールパネルを閉じて、カメラコントロールパネルに戻ります。

メモ

- 全画面表示時および9 / 16画面表示時はカメラを操作することができません。

パン／チルト操作

カメラ画像の水平／垂直位置を調整します。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

コントロールボタンをクリックします。
または、カメラ画像内で画角の中心としたい位置をクリックします。クリックした位置が中心となるようにカメラの向きが移動します。

メモ

- 本機からのカメラ画像内でのカメラ操作は、カメラコントロールパネルの「カメラをマウスで操作する」にチェックが入っている場合に可能です。

カメラを操作する（つづき）

ズーム操作

カメラレンズのズームを操作し、カメラ画像を拡大／縮小表示します。ズーム倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[-] ボタンまたは [+] ボタンをクリックします。
または、カメラ画面内でマウスホイールを操作してズームを調整します。
[x1] ボタンをクリックすると、ズームの倍率は1倍に戻ります。

メモ

- 本機からのカメラ画像内でのカメラ操作は、カメラコントロールパネルの「カメラをマウスで操作する」にチェックが入っている場合に可能です。
- マウスのドラッグ操作で表示したい範囲を選択すると、選択したエリアを中心とする位置にカメラの向きが移動し、ズーム倍率が自動的に調整されます。

ホームポジション移動

あらかじめ登録されたホームポジションにカメラの向きを移動します。ホームポジションは事前に登録してください。（[P.120ページ](#)）

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

ホームポジションの [移動] ボタンをクリックします。

フォーカス操作

カメラ画像の焦点を調整します。自動で焦点を調整（オートフォーカス）することもできます。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[詳細] ボタンをクリックします。
→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。（[P.115ページ](#)）

STEP3

フォーカスの [近] ボタンまたは [遠] ボタンを押します。
[オート] ボタンをクリックすると、焦点を自動調整します。

カメラを操作する（つづき）

明るさ操作

レンズの絞りを調整します。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[詳細] ボタンをクリックします。

→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。(115ページ)

STEP3

明るさの [暗 (-)] ボタンまたは [明 (+)] ボタンを押します。

[標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定を標準に戻します。

自動モード

カメラに設定された自動モード機能を動作させます。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[詳細] ボタンをクリックします。

→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。(115ページ)

STEP3

自動モードの [▼] ボタンをクリックして、以下からカメラの自動モードを選択します。

自動追従 : カメラが画面上の動く物体を自動で追いかけます。

オートパン : カメラであらかじめ設定したパンのスタート位置とエンドの位置の範囲を自動的に旋回します。

プリセットシーケンス

: カメラであらかじめ登録してあるプリセットポジションをプリセット番号の小さい方から順番に移動します。

パトロール : カメラであらかじめ記録した手動操作を実行します。

STEP4

[開始] ボタンをクリックして、カメラの自動モードを開始します。

自動モードを終了するには、[終了] ボタンをクリックします。

メモ

- カメラの自動モード機能については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
-

カメラを操作する（つづき）

プリセット登録

現在のカメラの向きを指定するプリセットポジションに登録します。プリセットポジションの登録は、プリセットポジション機能に対応しているカメラで使用できます。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[詳細] ボタンをクリックします。

→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。(☞115ページ)

STEP3

カメラのパン／チルト操作を行い、カメラを登録したい向きへ移動します。(☞116ページ)

STEP4

「プリセット」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号を選択します。プリセット番号は1～256で設定できます。

STEP5

[登録] ボタンをクリックします。

→選択したプリセット番号にカメラの向きが登録されます。

プリセット移動

プリセット登録で設定されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。あらかじめプリセット登録を行ってください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

[詳細] ボタンをクリックします。

→詳細カメラコントロールパネルが表示されます。(☞115ページ)

STEP3

「プリセット」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、プリセット番号を選択します。プリセット番号は0～256から選択できます。プリセット番号0を選択すると、ホームポジションに移動します。

STEP4

[移動] ボタンをクリックします。

→選択したプリセット番号へカメラの向きが移動します。

メモ

- 登録されていないプリセット番号も選択できますが、[移動] ボタンをクリックしてもカメラは動きません。
-

カメラを操作する（つづき）

ホームポジション登録

あらかじめ登録されたプリセットポジションから、ホームポジションを設定します。

STEP1

詳細カメラコントロールパネルで、プリセット登録を行います（☞119ページ）。

STEP2

[設定] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。（☞116ページ）

STEP3

「プリセット」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、ホームポジションとして登録するプリセット番号を選択します。プリセット番号は1～256から選択できません。

メモ

- 弊社製の一部のカメラの場合、プリセット番号0がホームポジションとして登録できます。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。

STEP4

[登録] ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号がホームポジションに登録されます。

STEP5

[戻る] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じ、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。

オートバックフォーカス実行

カメラのオートバックフォーカスが働き、画面の中心領域の被写体に自動でバックフォーカスを調整します。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

詳細カメラコントロールパネルを表示し（☞115ページ）、[設定] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面（☞116ページ）が表示されます。

STEP3

[オートバックフォーカス] で、[実行] ボタンをクリックします。

STEP4

[戻る] ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じ、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。

カメラを操作する（つづき）

マスクエリア設定

カメラのマスクエリアを設定します。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

詳細カメラコントロールパネルを表示し（☞115ページ）、[設定] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面（☞116ページ）が表示されます。

STEP3

[マスクエリア] で、[開始] ボタンをクリックします。

→映像表示部に格子状の境界線が表示され、マスクエリア設定されているマスは白色半透明になります。

STEP4

映像表示部のマスをクリックします。

→クリックするたびにそのマスのマスク設定のOn / Offを切り換えます。

STEP5

[終了] ボタンをクリックします。

→マスクエリア設定を終了し、格子状の境界線が消去します。

STEP6

[戻る] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面が閉じ、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。

メモ

- [リセット] ボタンをクリックすると、すべてのマスク設定をクリアします。

ズーム/フォーカス調整

カメラのズームやフォーカスを調整します。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

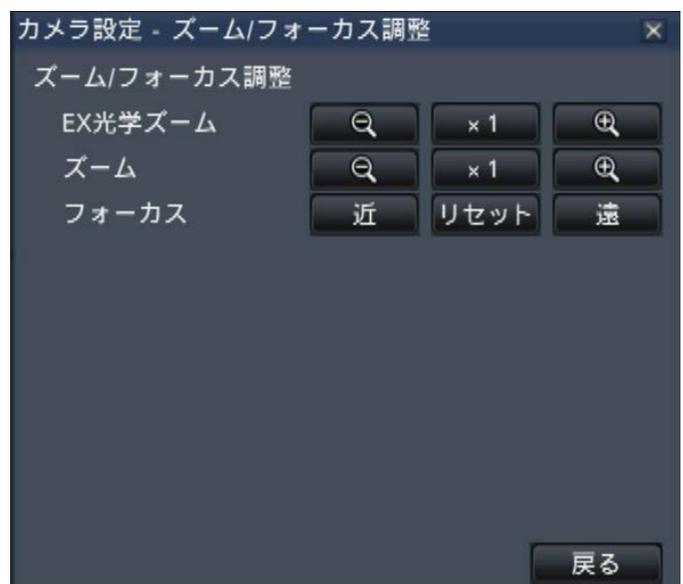
詳細カメラコントロールパネルを表示し（☞115ページ）、[設定] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面（☞116ページ）が表示されます。

STEP3

[ズーム/フォーカス調整] で、[設定] ボタンをクリックします。

→ズーム/フォーカス調整画面が表示されます。



カメラを操作する（つづき）

STEP4

[-] [x1] [+] ボタンをクリックしてズームを調整します。

また [近] [リセット] [遠] ボタンをクリックしてフォーカスを調整します。

STEP5

[戻る] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面に戻ります。

初期位置設定

全方位カメラの傾き、上下の角度調整、画像切り出し位置の左右調整を行います。機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

STEP2

詳細カメラコントロールパネルを表示し（[115ページ](#)）、[設定] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面（[116ページ](#)）が表示されます。

STEP5

[設定保存] ボタンをクリックします。

→調整した画像位置がカメラに保存されます。

STEP3

[初期位置設定] で、[設定] ボタンをクリックします。

→初期位置設定画面が表示されます。

STEP6

[戻る] ボタンをクリックします。

→カメラ設定画面に戻ります。



STEP4

各種ボタンや画像上を直接クリックして位置を調整します。

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム : ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力される
- カメラサイトアラーム : カメラで検出したアラーム (カメラ端子アラームなど)
- コマンドアラーム : ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム
- 顔照合アラーム : あらかじめ登録した顔画像とライブ画像内の顔画像との照合を行い一致した場合に通知するアラーム

重要

- 顔照合アラームでは、イベント録画は行いません。

メモ

- 顔照合アラームの設定条件や制約については、ビジネスインテリジェンス拡張キットの取扱説明書をお読みください。顔照合アラーム機能は、顔照合機能を使用する設定の場合に使用できます。

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。

動作モードについて

本機では、イベント発生時の動作は以下の動作モードのいずれかになります。動作モードは設定メニューで設定します。(51ページ)

- 録画+アラーム動作 : すべてのイベント動作を設定に従って行います。(下表のA)
- 録画のみ : 録画とアラーム履歴の記録、カメラのプリセット移動のみを行います。(下表のB)
- アラーム動作 : アラーム動作のみを設定に従って行います。(下表のC)
- Off : アラーム履歴の記録のみを行います。(下表のD)

※「アラーム動作」は、顔照合アラームのみで設定できます。

設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。詳しくはシステムの管理者へご確認ください。

イベント動作	説明	動作モード *1			
		A	B	C	D
録画	イベント録画を開始する	●	●	×	×
	プレ録画を確定する	●	●	×	×
アラーム動作	カメラの向きをプリセットポジションに移動する	●	●	×	×
	アラームランプを点滅させる	○	×	○	×
	ブザーを鳴らす	●	×	●	×
	アラーム信号を出力する	●	×	●	×
	メインモニター上にイベント情報を表示する	○	×	○	×

イベント機能について（つづき）

イベント動作	説明	動作モード ※1			
		A	B	C	D
アラーム動作	ウェブブラウザ上にアラームアイコンを表示する	○	○	○	×
	ウェブブラウザ上にアラームメッセージを表示する	●	×	●	×
	アラーム履歴を記録する※3	●	●	●	●※2
	イベント発生をメールで通知する	●	×	●	×
	独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知する	●	×	●	×
アラーム発生時に1画で表示する	アラーム番号に割り当てられている録画カメラを1画面で表示する	●	×	●	×

※1 ○：設定にかかわらず動作する、●：設定に従い動作する、×：動作しない

※2 顔照合アラームの動作モードが「Off」のときは、顔照合動作を行わないため履歴の記録も行いません。

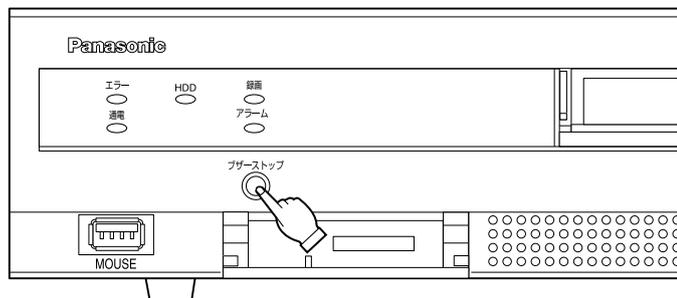
※3 カメラの「アラームエリア情報付加」設定を「On」にしたときは、i-VMD種別情報がアラーム履歴に表示されます。詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

ブザーを停止する

アラーム発生、エラー発生により、ブザーが鳴動した場合、本機前面パネルからブザーのみ停止することができます。

STEP1

ブザーストップボタンを押します。



→ブザーが鳴り止みます。

メモ

- アラーム動作の解除操作、エラー動作の解除操作（※125ページ）でも、ブザーを止めることができます。ブザーストップボタンでは、他のアラーム動作は解除されません。

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。メインモニターの状態表示パネルには、発生したアラームの情報が表示されます（[101ページ](#)）。アラーム動作を解除するには状態表示パネルのアラームボタンをクリックし、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。

設定メニュー [録画・イベント] - [イベント設定] タブの「自動復帰時間」（[49ページ](#)）が「Ext.」以外に設定されているときは、アラーム復帰ボタンをクリックしてアラーム動作を解除しない場合でも、以下の動作は自動的に行われます。

- 前面パネルのアラームランプが点滅から点灯に変わる
- メインモニターのアラーム状態表示が消える
- ブザー鳴動が終了する、アラーム出力を停止する

STEP 1

メインモニターに表示されるアラームボタンをクリックして、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。



→アラーム動作が解除され、アラームランプが消灯します。

メモ

- アラーム動作を解除すると、イベント録画が停止し、アラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

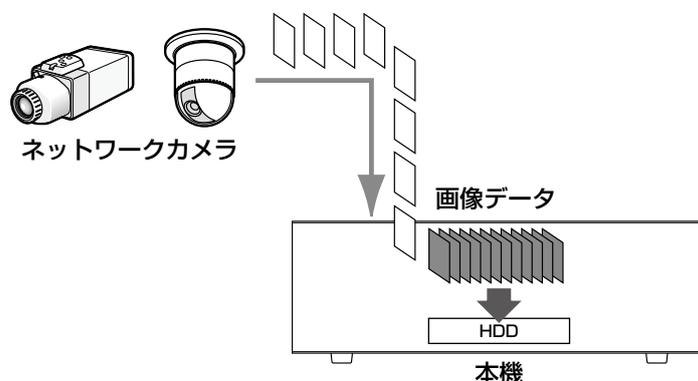
本機にエラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。メインモニターの状態表示パネルには、発生したエラー情報が表示されます。（[101ページ](#)）エラー動作を解除するには、状態表示パネルのエラーボタンをクリックして、表示されたエラー復帰ボタンをクリックします。

メモ

- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネル（[134ページ](#)）に表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。

録画する

カメラ画像を本機に録画します。本機に最大32台（NV250シリーズは最大24台）のカメラの画像を録画できます。



録画する（スケジュール録画）

あらかじめ設定したスケジュールによって、録画の開始と停止を自動的に行います。スケジュール録画の設定は、45ページをお読みください。

メモ

- スケジュール録画中に、アラーム発生によるイベント録画を開始した場合、イベント録画が優先されます。録画モードの優先度については、以下の「録画モードと優先度」をお読みください。
- スケジュール録画を停止する場合は、設定メニューの録画停止の操作を行います。詳しくは54ページをお読みください。
- ネットワークに異常があり、通信できていないカメラの画像は録画されません。ネットワーク通信が復旧すると、録画を開始します。カメラと通信できない状態が、約40秒以内で復旧した場合は、エラー履歴にも記録は残りません。
- スケジュール録画は毎正時、自動的にレコード分割されます。その際、約1秒間録画が途切れることがあります。

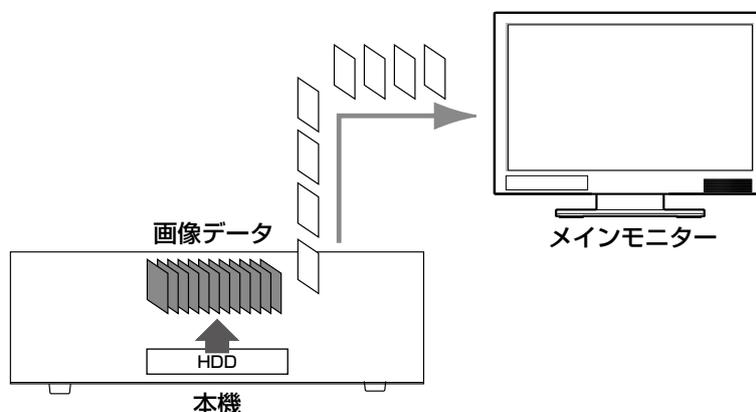
録画モードと優先度

本機には3種類の録画モードがあります。録画モードとその優先度は次のとおりです。複数の録画モードで同時に録画が始まった場合、優先度の高い録画モードで録画されます。

録画モード	優先度
イベント録画	1
スケジュール録画	2
プレ録画	3

再生する

本機のHDDに録画したカメラ画像をメインモニターに表示します。
再生操作は録画中も行えます。カメラ画像の再生は、操作画面表示から行います。
具体的な再生方法については、130ページ以降をお読みください。



メモ

- 1画面で表示しているときは、表示している画像の音声が出力されます。
- 多画面で表示しているときは、選択中のカメラの音声が出力されます。
- 早送り／早戻し再生中は、音声は出力されません。
- 再生中にカメラ番号（1～32）をクリックすると、カメラを変更できます。
- 再生中も画面分割ボタン、デジタルズーム、ミュートボタン、文字表示ボタンなどの操作は有効です。詳しくは、「カメラのライブ画像を見る」(P.107ページ)をお読みください。
- 以下の設定（解像度、フレームレート）で録画された画像を各多画面で表示すると、設定されたりフレッシュ間隔に従って再生します。

解像度	フレームレート	表示
QXGA	30 ips	4画面
FHD、HD	60 ips	4画面
QXGA	10 ips、15 ips	4画面（サブモニター表示有り、または、再エンコード配信有り）
FHD、HD	30 ips	4画面（サブモニター表示有り、または、再エンコード配信有り）
SXVGA、SVGA	30 ips	4画面（サブモニター表示有り、または、再エンコード配信有り）
QXGA	30 ips	1画面（サブモニター表示有り、かつ、再エンコード配信有り）
FHD	60 ips	1画面（サブモニター表示有り、かつ、再エンコード配信有り）
FHD	10 ips、15 ips	4画面（サブモニター表示有り、かつ、再エンコード配信有り）

- 解像度やフレームレート設定の違いにより、多画面表示の各再生画像のデータサイズの差が大きいと、同期して再生できないことがあります。その場合は、再生を一時停止し (P.128ページ)、再度再生してください。
- 操作画面表示の再生は、初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については57ページをお読みください。
- 全画面表示の再生は画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。

再生する（つづき）

再生操作パネルについて

再生中は、再生操作パネルに操作用のボタンが表示されます。ここで再生操作を行うほか、再生状態が表示されます。

通常状態（ライブ画表示中）



再生画像表示中



再生一時停止中



再生操作は、以下のとおりです。

機能	表示例	操作
再生ボタン		録画画像を再生します。 一時停止中にクリックすると、一時停止を解除します。 早送り中、早戻し中にクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
停止ボタン		再生中、一時停止中にクリックすると、再生を停止し、ライブ画像が表示されます。
一時停止ボタン		再生中にクリックすると、再生を一時停止します。 再生一時停止中にクリックすると、一時停止を解除します。
スナップショットボタン		再生一時停止中画像をSDカードに保存します。* 1画面表示で再生一時停止中のみクリックできます。クリックするとボタンがグレーになり、保存が行われます。ボタンが使用可能になったら、SDカードを取り出すことができます。
コマ送り/逆コマ送りボタン		一時停止中にコマ送りボタンをクリックすると、1つコマを進めて再生し、一時停止します。 一時停止中に逆コマ送りボタンをクリックすると、1つコマを戻して再生し、一時停止します。

メモ

- 再生画像がH.264画像の場合、録画されている画像すべては表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で逆コマ送りされます。

再生する (つづき)

機能	表示例	操作
早送り／早戻し ボタン		再生中に早送りボタンをクリックするたびに、再生速度がx2 (約2倍)、x4 (約4倍)、x8 (約8倍)、x16 (約16倍)、x32 (約32倍)、x48 (約48倍)と切り換わります。 再生中に早戻しボタンをクリックするたびに、逆再生速度がx2 (約2倍)、x4 (約4倍)、x8 (約8倍)、x16 (約16倍)、x32 (約32倍)、x48 (約48倍)と切り換わります。 再生状態表示には、再生倍率が表示されます。
メモ <ul style="list-style-type: none">●再生画像がH.264画像の場合、録画されている画像すべては表示されません。1画面表示のx2の早送り以外は、カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で早送り／早戻しされます。		
スキップ/逆スキップ ボタン		スキップボタンをクリックすると、次の時刻の録画画像を再生します。 逆スキップボタンをクリックすると、1つ前の時刻の録画画像を再生します。 スキップ先が存在しない場合は再生を続けます。
最新再生ボタン		録画された画像のうち、最新の録画日時の画像の約30秒前から再生を開始します。
再生状態表示		再生状態、一時停止状態などを表示します。 早送り／早戻し中は、再生倍率を表示します。
全画面表示ボタン		再生中にクリックすると録画画像を画面全体に表示します。全画面表示で再生中に操作画面表示ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。
隠すボタン (全画面再生中)		再生操作パネルと日時操作パネルを非表示にします。マウス操作を行うと再度表示されます。

スナップショットについて

スナップショットボタンをクリックしてSDカードに保存したスナップショット画像は本機では表示できません。PCで見る場合、データ形式と保存先は以下のとおりです。

記録画像ファイル形式 : JPEG (DCF準拠、Exif 2.21準拠) / DPOF対応

保存先 : SDカード [DCIM]¥100_PANA¥P1000001.JPG
P1000002.JPG、…

※フォルダーは、100_PANA ~ 999_PANAまで作成されます。フォルダー内にP1000999.JPGが保存されていると新しい番号のフォルダーが作成されます。

頭出し再生する

見たい録画画像の日時を指定したり、最新日時の録画画像を指定したりして再生します。

日時を指定して再生する

日時操作パネルで、見たい録画画像の日時を指定して再生します。

日時操作パネル（通常表示）



STEP1

「再生時刻」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、再生したい時刻に設定します。

STEP2

カレンダーで、再生したい日付がある月を選択します。
[<<年] / [年>>] ボタンで年を、[<月] / [月>] ボタンで月を切り換えることができます。

メモ

- 今日の日付は、青色で表示されています。

STEP3

カレンダーで、再生したい日付をクリックします。
→ 選択された日付の枠が緑色になり、指定した日付と再生時刻で再生が開始します。
また、日時操作パネルが再生中表示（☞132ページ）に切り換わり、日時操作パネルの下部に再生操作パネル（☞128ページ）が表示されます。

メモ

- カレンダー上で日付を変更しない場合は、再生ボタンをクリックします。

STEP4

再生を停止してライブ画像に戻るには、[現在時刻] ボタン、または再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。
→ 再生が停止し、ライブ画像を表示します。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - 日時操作パネル（再生中表示）の [×] ボタンをクリックしたとき
 - 再生メディアを変更したとき
- 指定した日時に録画画像が無いときは、次のような動作になります。
 - 指定日時以降に録画画像がある場合、指定日時以降のもっとも古い画像から再生します。
 - 指定日時以降に録画画像がない場合、指定日時以前のもっとも新しい画像から再生します。

最新の録画画像を再生する

録画された画像のうち、最新の録画日時の画像の約30秒前から再生を開始します。

日時操作パネル（通常表示）



STEP1

[最新再生] ボタンをクリックします。

→最新の録画画像の再生が開始します。日時操作パネルが再生中表示（[132ページ](#)）に切り換わります。また、日時操作パネルの下部に、再生操作パネル（[128ページ](#)）が表示されます。

STEP2

再生を停止してライブ画像に戻るには、[現在時刻] ボタン、または再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像を表示します。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - 日時操作パネル（再生中表示）の [×] ボタンをクリックしたとき
 - 再生メディアを変更したとき
- 4画面表示時に [最新再生] ボタンをクリックすると、タイミングによっては再生画像が表示されることがあります。その場合は、再度 [最新再生] ボタンをクリックしてください。

タイムラインから指定して再生する

再生を開始すると、日時操作パネルが再生中表示に切り換わります。

ここでは、タイムライン表示を目安に、再生スライダーを操作して再生時刻を指定し再生する方法について説明します。

日時操作パネル（再生中表示）



再生中表示では、録画の有無と種別をタイムラインで表示します。タイムラインに表示する録画の種類やタイムラインのスケールを変更して、再生する録画画像を指定することができます。

【録画種別】

チェックを入れた録画種別をタイムラインに表示します。再生中に変更すると、再生を一時停止し、再度検索を実行します。

スケジュール：スケジュール録画をピンク色で表示
イベント：イベント録画を赤色で表示

【情報表示 動作検知】

チェックを入れると、タイムラインに動作検知（画像内に動きのあった個所）で録画された時間帯を青色で表示します（再生は一時停止します）。

録画のない時間帯は、黒色で表示されます。

【詳細設定】 ボタン

詳細設定パネルが表示され、タイムラインに表示するイベントの種別などを変更できます（[133ページ](#)）。再生は一時停止します。

【スケール切換】 ボタン

タイムラインを一覧表示する時間を2h（2時間）／8h（8時間）／24h（24時間）から選択します。

【表示範囲切換】 ボタン

スケール切換ボタンの設定に従い、タイムラインの表示範囲を切り換えます。

【再生スライダー】

再生中の時刻を表しています。タイムライン上で再生したい時刻にドラッグ&ドロップすると、その時刻から再生を開始します。

メモ

- 動作検知の結果表示を行うには、動作検知サーチに対応したカメラと、あらかじめカメラ側の設定が必要です。

対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。

メモ

- 再生スライダーは、ドロップした位置にすぐに移動しないことがあります。

頭出し再生する（つづき）

【ジャンプ間隔】／ジャンプボタン

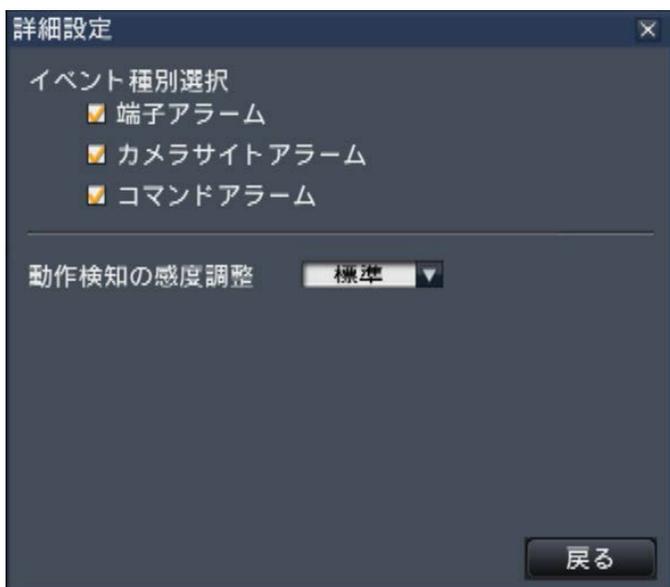
一定の間隔で再生時刻をジャンプして再生します。
[<] / [>] ボタンをクリックすると、[ジャンプ間隔]で設定した時間に従い、再生時刻をジャンプして再生します。

設定範囲：10秒 / 15秒 / 30秒 / 60秒 / 180秒 / 300秒

【再生画像の音声を出力する】

この項目は、音声を出力するカメラを固定する設定の場合に表示されます。チェックを入れる则表示している画像の音声を出力します。（[P.57ページ](#)）

タイムラインに表示するイベントなどを変更する【詳細設定】



【イベント種別選択】

タイムラインに表示するイベント種別を設定します。
チェックを入れるとタイムラインにイベント録画として表示されます。

各アラームについては123ページをお読みください。

【動作検知の感度調整】

タイムラインに表示する動作検知の感度を設定します。
感度は以下の順に高くなります。

低い→標準→高い→すべて

【戻る】 ボタン / 【×】 ボタン

クリックすると、日時操作パネル（再生中表示）に戻ります。

検索して再生する

見たい録画画像を検索して再生します。検索には次の2とおりがあります。

- アラーム履歴・エラー履歴から選択して再生する（履歴サーチ）
- 録画画像内に動きのあった日時を検索して再生する（動作検知サーチ）

履歴から選択して再生する（履歴サーチ）

アラーム履歴、エラー履歴を表示し、その中から再生したい日時を選択して再生します。

メモ

- 選択した履歴の録画データが、すでに上書きなどにより消去されている場合は、正しいデータを再生できません。

STEP1

状態表示パネルの [アラーム] ボタンまたは [エラー] ボタンをクリックします。

→それぞれの [履歴表示] ボタンが表示されます。



STEP2

[履歴表示] ボタンをクリックします。

→アラーム履歴パネルまたはエラー履歴パネルが表示されます。[前ページ] / [次ページ] ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。



No.	発生日時	内容
1	2013/10/15 11:20:50	端子アラーム：2
2	2013/10/15 11:20:46	端子アラーム：1
3	2013/10/15 11:17:07	端子アラーム：1
4	2013/10/15 11:13:13	端子アラーム：1
5	2013/10/15 10:34:42	端子アラーム：1
6	2013/10/15 10:32:23	端子アラーム：1
7	2013/10/15 10:30:11	端子アラーム：2
8	2013/10/15 10:29:07	端子アラーム：2
9	2013/10/15 10:27:11	端子アラーム：2
10	2013/10/15 10:24:42	端子アラーム：1
11	2013/10/15 10:18:49	端子アラーム：2
12	2013/10/15 10:05:47	端子アラーム：1
13	2013/10/15 10:04:07	端子アラーム：2

メモ

- アラーム履歴は750件まで記録できます。750件を超えると古い履歴から上書きされます。



No.	発生日時	内容
1	2013/10/11 13:34:29	通信復旧：カメラ2
2	2013/10/11 13:34:06	通信エラー：カメラ2
3	2013/10/10 16:07:56	通信復旧：カメラ2
4	2013/10/10 16:07:10	通信エラー：カメラ2
5	2013/10/10 14:15:57	通信復旧：カメラ2
6	2013/10/10 14:15:55	通信復旧：カメラ1
7	2013/10/10 14:15:20	通信エラー：カメラ1
8	2013/10/10 14:15:11	通信エラー：カメラ2
9	2013/10/10 14:12:44	通信復旧：カメラ1
10	2013/10/10 14:12:42	通信復旧：カメラ2

メモ

- エラー履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると古い履歴から上書きされます。

STEP3

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネル(128ページ)の再生ボタンをクリックします。
→選択した日時の約5秒前から再生を開始します。

メモ

- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。
- アラーム履歴のプレ録画時間を5秒より長く設定している場合に、プレ録画の先頭から再生するには、再生ボタンをクリックしてから、逆スキップボタンをクリックしてください。

検索して再生する（つづき）

STEP4

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネル（[128ページ](#)）の停止ボタンをクリックします。
→再生が停止し、ライブ画像が表示されます。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - 日時操作パネル（再生中表示）の [×] ボタンをクリックしたとき
 - 日時操作パネル（再生中表示）の [現在時刻] ボタンをクリックしたとき
 - 再生メディアを変更したとき

録画画像に動きのある日時を検索して再生する（動作検知サーチ）

動作検知サーチに対応したカメラで録画した画像の中から、動作検知された日時を検索して再生します。検索結果のリストから再生したい日時を選択して再生します。

重要

- 動作検知サーチを行うには、動作検知サーチに対応したカメラと、あらかじめカメラ側の設定が必要です。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。

STEP1

検索したいカメラの画像を1画面表示にします。（[112ページ](#)）

STEP2

再生操作パネル（[128ページ](#)）の [サーチ] ボタンをクリックします。
→動作検知サーチパネルが表示されます。



STEP3

検索する範囲を日時に指定します。
始点、終点について、それぞれ年月日時刻の [▲] / [▼] ボタンをクリックして設定します。

メモ

- カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、[始点] / [終点] ボタンをクリックして、検索範囲の始点と終点を設定することもできます。

検索して再生する（つづき）

STEP4

[サーチ] ボタンをクリックします。

→指定した検索範囲で動作検知サーチを行い、結果をリスト表示します。[前ページ] / [次ページ] ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。



メモ

- リストには100件まで表示されます。サーチ結果が100件を超えている場合は、件数に [> 100] と表示されます。
- 動作検知サーチは、初期設定ではカメラ画像全体が検索対象となっています。検索対象エリアを指定する場合は、「検出エリア マスク期間」の [設定] ボタンをクリックし、動作検知サーチ設定パネルで設定します。(P.137ページ)
- 検索結果表示までに時間がかかる場合があります。

STEP5

再生したい日時を行をクリックして選択し、再生操作パネル(P.128ページ)の再生ボタンをクリックします。

→選択した日時から再生を開始します。

メモ

- 再生したい日時を行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。

STEP6

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像を表示します。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - 日時操作パネル(再生中表示)の [×] ボタンをクリックしたとき
 - 日時操作パネル(再生中表示)の [現在時刻] ボタンをクリックしたとき
 - 再生メディアを変更したとき

検索して再生する（つづき）

動作検知のエリアなどを設定する [動作検知サーチ設定]

画像中の動作検知対象エリアの設定や、マスク期間を設定します。

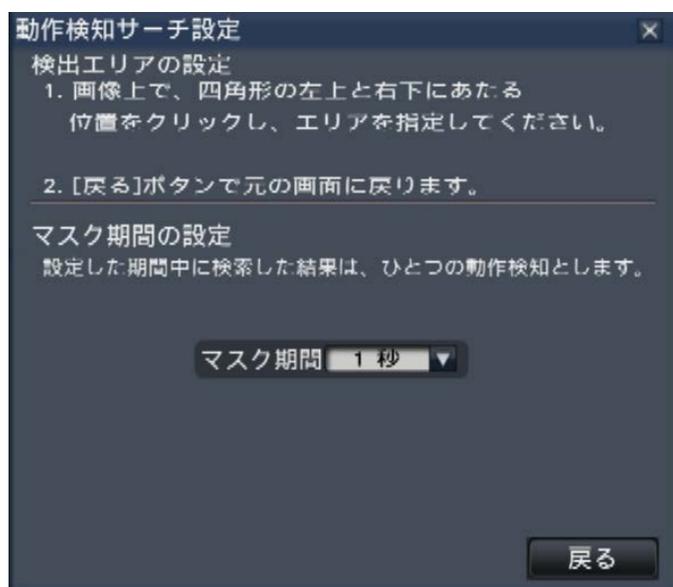
STEP1

検索したいカメラの画像を1画面表示にします。(P.112ページ)

STEP2

「検出エリア マスク期間」の [設定] ボタンをクリックします。

→動作検知サーチ設定パネルが表示されます。



STEP3

画像表示上でエリアとなる四角形の左上と右下にあたる位置をクリックします。

→設定したエリアがグレー表示になり、動作検知サーチの対象となります。



メモ

- 検出エリアは、画像表示部を16×16分割した状態に合わせて設定されるため、左上と右下で指定した位置とずれることがあります。
- 設定したエリアを削除することはできません。エリアを変更する場合は、再度STEP3の操作をしてください。

STEP4

動作検知サーチに時間がかかる場合や検索結果が多すぎる場合、マスク期間を設定して検知頻度を低くすることができます。マスク期間を設定すると、動作検知してから設定した期間、同じエリア内での動作検知を行いません。

詳細設定パネルの「マスク期間の設定」の [▼] ボタンをクリックして設定します。

マスク期間：1秒 / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分 / 10分

初期設定：1秒

STEP5

[戻る] ボタンまたは [X] ボタンをクリックします。

→動作検知サーチパネルに戻ります。

コピーする

本機に録画された画像をSDカードやDVD（DVD-R、+R）、外部記憶装置（外付けHDD、USBメモリー）にコピーします。

大切なデータはHDDの故障や突然の事故に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。また、コピーした画像には「個人情報」となる内容が含まれています。情報を漏えいさせないためにもメディアの管理に十分ご注意ください。

コピーは本機が以下の状態のときには実施できません。

- ネットワーク経由で他のユーザーがコピー画面を開いているとき
- ネットワーク経由で他のユーザーがメディア（SDカード / DVD / 外部記憶装置）を選択しているとき
- HDD以外のメディアを選択しているとき

コピーした画像の再生は、本機または専用のビューワーソフトで行います。ビューワーソフトはコピーを行うと、各メディア（SDカード / DVD / 外部記憶装置）に自動的にコピーされます。ビューワーソフトの操作方法については、179ページをお読みください。本機での再生方法は143ページをお読みください。

メモ

- DVDを使用できるのは、DVDドライブ搭載モデルのみです。
- SDカードに画像をコピーする場合、未フォーマットのSDカードや他機でフォーマットしたSDカードは、本機でフォーマット（[142ページ](#)）してください。
- 外部記憶装置に画像をコピーする場合、あらかじめフォーマットしてください。
- コピーにかかる時間は録画データの大きさにより変動します。同じカメラ数、期間を設定した場合でも、高解像度や高画質、高フレームレートにするほど、コピーにかかる時間は長くなります。
- 日時設定や時刻合わせなどにより、同時刻の画像が記録された場合、コピーが正常に行われなかった場合があります。
- 以下の場合、作業中のコピーが中止されます。
 - ・コピー中に設定が変更されたとき
 - ・コピーをはじめたユーザーがログアウトしたとき（ウェブブラウザの場合は閉じてからコピー中止までは90秒程度かかります）
 - ・コピー元のデータが消失したとき（データの上書きやHDD故障）

重要

- DVDにコピーした場合、ディスクを取り出すとそのDVDには再度コピーすることはできません。
- 外部記憶装置にコピーした場合、本機で再生することはできません。専用のビューワーソフトで再生できます。

STEP1

本機にSDカードまたはDVDを挿入する、またはコピーポート [COPY] に外部記憶装置を接続します。（[105ページ](#)）

STEP2

メインモニターの操作画面表示で操作パネルの [コピー] ボタンをクリックします。



→コピーパネルが表示されます（再生中の場合は一時停止します）。



コピーする（つづき）

メモ

- ウェブブラウザから他のユーザーがコピーパネルを表示しているときは、コピーパネルを表示することができません。すでにコピーが実行されている場合は、コピー中止確認画面が表示されます。

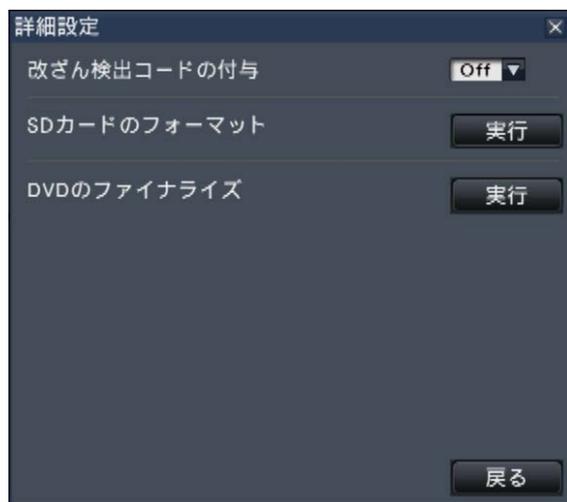
STEP3

コピーする録画データについて、以下の条件を設定します。

項目	内容
カメラ選択	コピーしたい録画データのカメラ番号にチェックを入れます。[全チェック]にチェックを入れるとすべてのカメラを対象とします。
コピー先	コピー先を選択します。
コピー範囲設定	録画データのコピー範囲を日時で設定します。始点、終点をそれぞれ年月日時刻で設定します。 カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、[始点] / [終点] ボタンをクリックして、コピー範囲を設定することもできます。
パスワードをかけてコピーする	コピーするデータにパスワードを付与する場合にチェックを入れます。 パスワードを付与するとコピーデータを再生する際に、設定したパスワードの入力が必要になります。
残容量	コピー先メディアの残容量が表示されます。
データ容量	コピー対象とした全録画データの目安のサイズ（ビューワソフト含む）が表示されます。 ※データ容量計算中は、*.** GBと表示されます。 ※計算中に残容量よりサイズが大きくなると、容量の前に“>”印が表示され、計算が終了します。 ※残容量よりサイズが小さいにも関わらず、“>”印が表示される場合は、対象とした録画データが10000件以上あることを示しています。

メモ

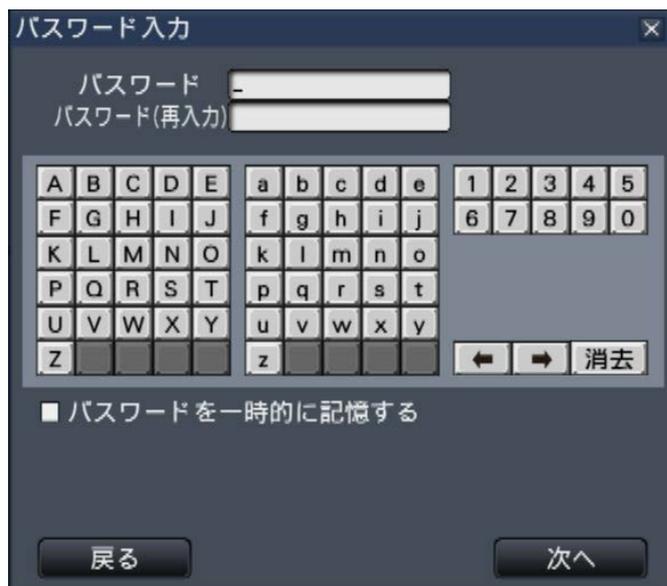
- コピーする録画データに改ざん検出用のコードを付与する場合、[詳細設定] ボタンをクリックして、表示された詳細設定画面で[改ざん検出コードの付与]を「On」に設定しておきます。



- [戻る] ボタンをクリックするとコピーパネルに戻ります。

STEP4

[コピー実行] ボタンをクリックします。
→「パスワードをかけてコピーする」にチェックを入れている場合、パスワード入力画面が表示されます。それ以外はSTEP6に進みます。



コピーする（つづき）

STEP5

パスワードを入力して[次へ] ボタンをクリックします。入力のしかたは「ソフトキーボードを使って文字を入力する」(103ページ)をお読みください。

- パスワードは5文字以上8文字以内で設定します。
- 確認のため、(再入力) 欄にも同じパスワードを入力してください。
- 入力したパスワードを保存するには、「パスワードを一時的に記憶する」にチェックを入れます。次のデータをコピーする際、すでにパスワードが入力された状態でパスワード入力画面が開きます。パスワードは本機の電源を切るまで記憶されます。

→コピー開始確認画面が表示されます。

STEP6

コピー開始確認画面で、[OK] ボタンをクリックします。
→状態表示部に「コピー中」が表示され、コピーが始まります。コピーが終了すると、「コピー中」の表示が消えます。

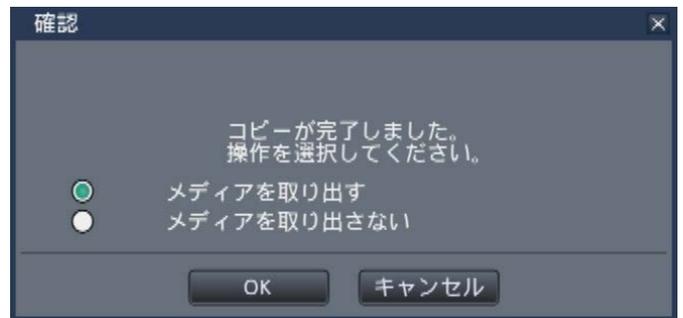
重要

- コピー中はSDカードや外部記憶装置を抜かないでください。メディア内のデータが壊れることがあります。
- コピー先の残容量が足りない場合でもメディアの容量がいっぱいになるまでコピーを実行します。コピーできないデータが残らないよう、残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。
- コピーはビューワソフト→画像→音声の順に行われます。コピーの設定時間やメディアの空き容量によっては、画像や音声のコピーされないことがあります。
- コピー中に、[コピー] ボタンをクリックすると、コピー中止確認画面が表示され、コピーを中止することができます。コピー中止確認画面表示中もコピーは継続しています。
- コピー中は本機の電源を切らないでください。コピー中に電源を切ると、そのメディアが使用できなくなることがあります。
- SDカードおよびコピーポート [COPY] の外部記憶装置には最大100万件のデータをコピーすることができます。DVDには最大2万4500件のデータをコピーすることができます。残容量がある場合でもこれらの件数を超えてコピーすることはできません。

- 外部記憶装置（SDカードやDVDを除く）へ一度にコピーする録画データの個数が多くなればなるほど、ファイルシステムの特長上、極端にコピー時間が長くなります。大量のファイルをコピーする場合は、1回のコピー件数を10000件未満にし、コピーが終了するたびに、外部記憶装置をいったん抜いて再度挿入することをお勧めします。
- コピーの進行度合いは、データ容量に表示されたサイズを元に算出します。10000件以上コピーする場合は、正しい値が表示されません。

STEP7

コピー先がDVDの場合、コピー終了時に確認画面が表示されます。



DVDへのコピーを続ける場合は、「メディアを取り出さない」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

STEP8

必要なデータをコピーし終わったら、確認画面で「メディアを取り出す」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
→ファイナライズの確認画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、DVDのファイナライズ（取り出し処理）が行われ、処理が終了するとDVDが取り出せる状態になります。取り出しボタンを押してください。

重要

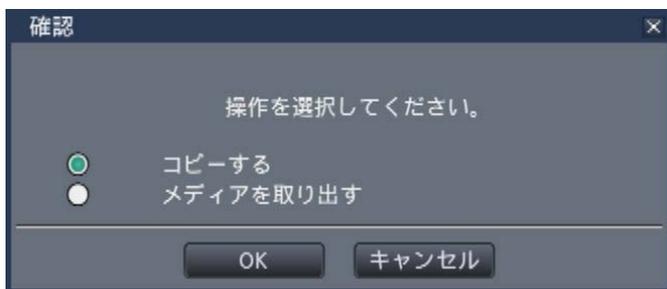
- この操作を行わなければ、DVDドライブの取り出しボタンを押してもトレイは出てきません。
- 一度コピーを行い取り出したDVDは、再度コピーに使用することはできません。
- 「ファイナライズに失敗しました。」と表示された場合は、ディスクは取り出せますが、データを再生することはできません。別のディスクに再度コピーを行ってください。

STEP8の手順以外にもDVDを取り出すには、次のような方法があります。

コピーする（つづき）

【コピー】 ボタンをクリックする

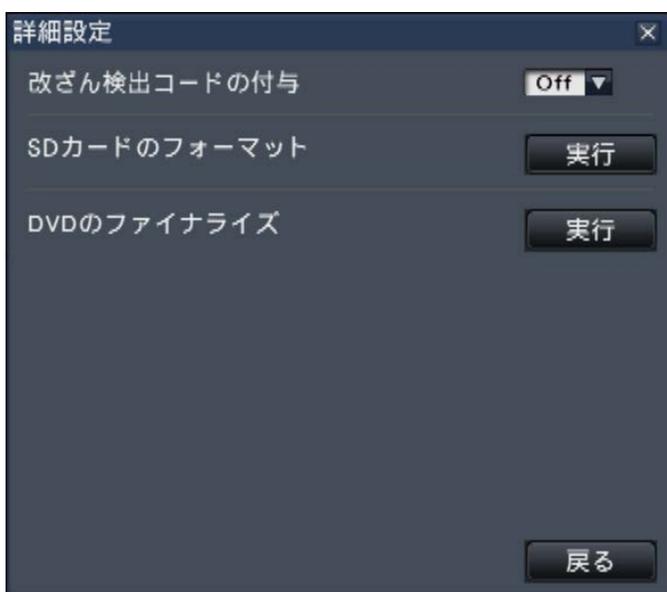
コピー終了後に、メインモニター操作パネルの【コピー】ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



「メディアを取り出す」を選択し【OK】ボタンをクリックするとDVDのファイナライズ（取り出し処理）が行われます。処理が終了すると完了画面が表示され、DVDが取り出せる状態になります。取り出しボタンを押してください。

コピーウィンドウからコピー終了処理を行う

コピー終了後に、コピーパネルの【詳細設定】ボタンをクリックし、詳細設定画面で「DVDのファイナライズ」の【実行】ボタンをクリックします。



→確認画面が表示され、【OK】ボタンをクリックするとDVDのファイナライズ（取り出し処理）が行われます。処理が終了すると完了画面が表示され、DVDが取り出せる状態になります。取り出しボタンを押してください。

SDカードをフォーマットする

SDカードに録画データをコピーする場合、未フォーマットのSDカード、本機以外の機器やPCでフォーマットしたSDカードは、本機でフォーマットしてから使用してください。

重要

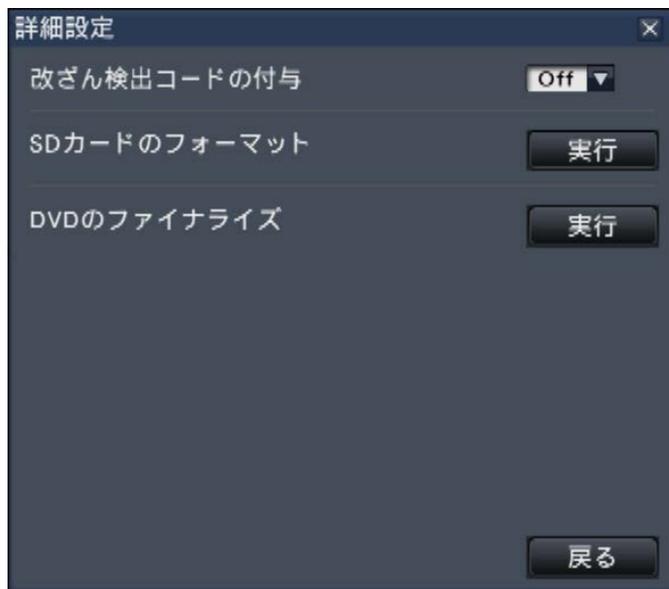
- フォーマットすると記録されていたデータや設定データはすべて消去されてしまいます。消去した画像は復元できません。
- コピーポートに接続された外部記憶装置のフォーマットは、本機からはできません。PCを使ってフォーマットしてください。

STEP1

メインモニターの操作パネルの [コピー] ボタンをクリックします。(☞138ページ)
→コピーパネルが表示されます。

STEP2

[詳細設定] ボタンをクリックします。(☞138ページ)
→詳細設定画面が表示されます。



STEP3

「SDカードのフォーマット」の [実行] ボタンをクリックします。
→確認画面が表示されます。

STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→SDカードのフォーマットが開始され、実行中画面が表示されます。
終了すると、完了画面が表示されます。

重要

- フォーマット中は本機の電源を切らないでください。

コピーデータを本体で再生する

SDカードまたはDVD*にコピーした録画画像（コピーデータ）をリストに表示し、その中から選択して再生します。コピーデータは条件を絞り込んで検索することができます。

※DVDドライブ搭載モデルのみ

重要

- コピーポート [COPY] の外部記憶装置にコピーした録画画像は再生することができません。

STEP1

本機に録画データがコピーされたSDカードまたはDVDを挿入します。(P105ページ)

STEP2

再生操作パネルの再生メディアで [SD] または [DVD] を選択します。

→メディア再生パネルが表示されます。リストには10000件まで表示されます。10000件を超えている場合は、件数に [> 10000] と表示されます。



STEP3

コピーデータリストの表示件数を絞り込む場合、以下の操作を行います。

絞り込みをしない場合は、STEP5に進んでください。

カメラで絞り込む場合

「表示カメラで絞り込む」にチェックを入れます。対象が画像表示されているカメラになります。

日時指定で絞り込む場合

絞り込み範囲を日時で指定します。始点、終点について、それぞれ年月日時刻の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、絞り込む範囲を設定します。

メモ

- カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、[始点] / [終点] ボタンをクリックして、絞り込み範囲の始点と終点を設定することもできます。

STEP4

[絞り込む] ボタンをクリックします。

→設定した絞り込み条件で検索した結果がリスト表示されます。[前ページ] / [次ページ] ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。

STEP5

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネルの再生ボタンをクリックします。

→選択した日時から再生を開始します。多画面表示にしていた場合は、1画面表示に切り換わります。

メモ

- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。
- 選択したコピーデータにパスワードが付与されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。付与したパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。パスワードが一致しないと、そのコピーデータの再生はできません。入力のしかたは「ソフトキーボードを使って文字を入力する」(P103ページ)をお読みください。

コピーデータを本体で再生する（つづき）

STEP6

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像が表示されます。

メモ

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - メディア再生パネルの [×] ボタンをクリックしたとき
 - 日時操作パネル（再生中表示）の [現在時刻] ボタンをクリックしたとき
 - 再生メディアを変更したとき
-

ネットワーク設定を行う

本機の操作は、マウスを接続して操作する以外に、PCのウェブブラウザから行うことができます（一部の機能や設定を除きます）。本ページ以降では、ウェブブラウザからの操作方法とPCの事前準備などを説明します。

ウェブブラウザから本機を操作する場合、まず、本機やPCのネットワーク設定を行う必要があります。PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。接続完了後、ウェブブラウザから本機の設定および操作を行うことができます。

IPアドレス: 192.168.0.2 ~ 192.168.0.249、192.168.0.251 ~ 192.168.0.254

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1

上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークの設定を行ってください。

本機のネットワーク設定を行う

本機のネットワーク設定は、設定メニュー「ネットワーク」の「基本」タブで行います。

操作方法など詳細については、59ページの設定メニュー「ネットワーク」 - 「基本」タブの項をお読みください。

PCのネットワーク設定を行う

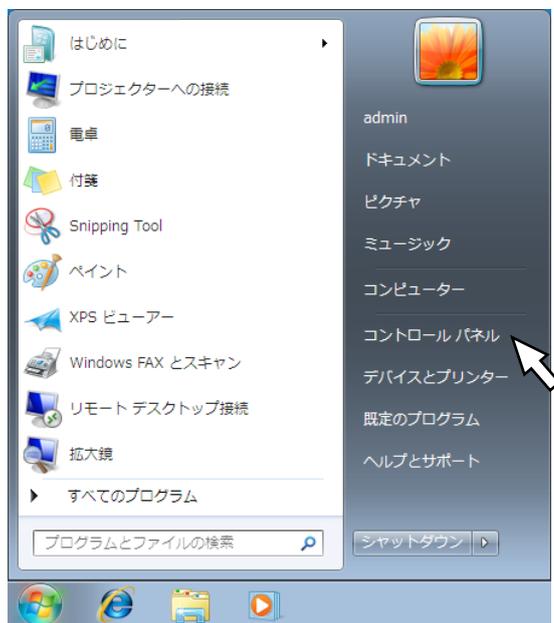
PCのTCP/IPの設定を本機の設定に合わせて変更します。本機を初期設定値（IPアドレス：192.168.0.250）で使用する場合は、PCのIPアドレスを「192.168.0.xxx（xxxは2～254。ただし、250（本機）を除く）」に設定します。

本書では、Windows 7の標準設定を例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

ネットワーク設定を行う (つづき)

STEP1

スタート画面からコントロールパネルを選択します。



→コントロールパネルが表示されます。

重要

- 「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

STEP2

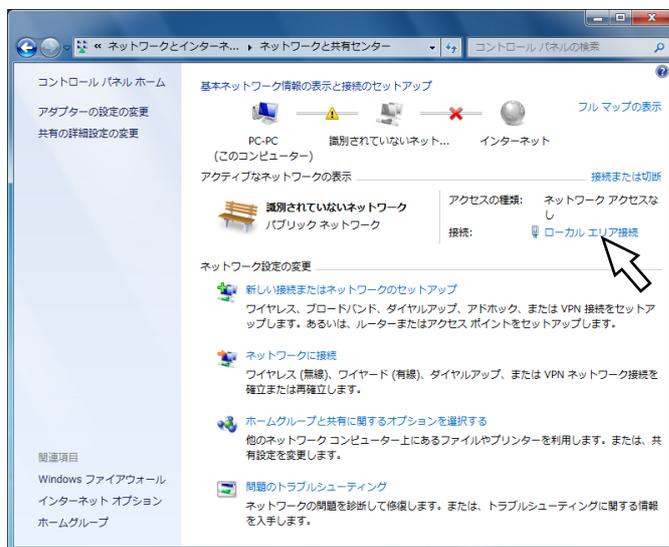
「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



→ネットワークと共有センター画面が表示されます。

STEP3

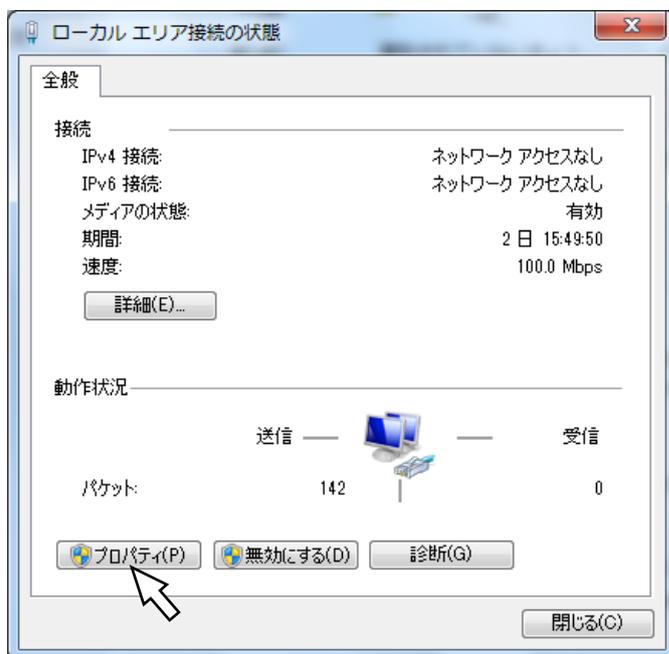
「ローカルエリア接続」をクリックします。



→ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。

STEP4

「プロパティ (P)」をクリックします。

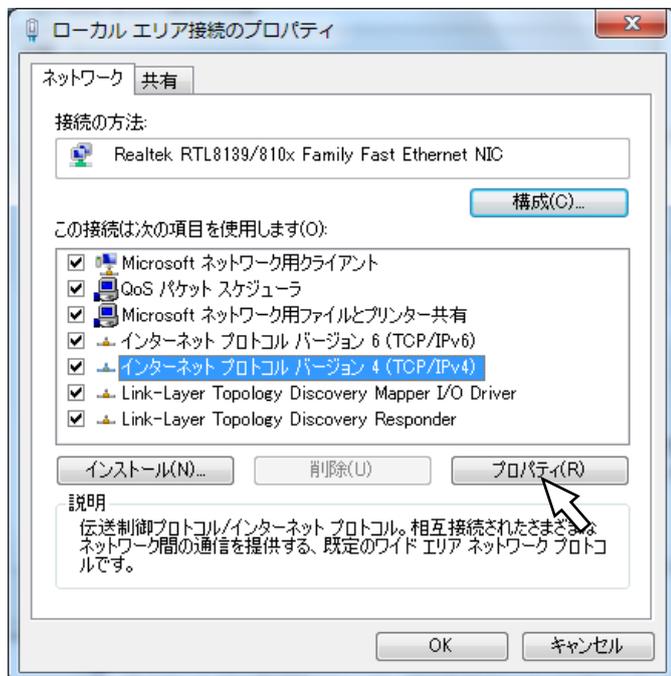


→ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

ネットワーク設定を行う（つづき）

STEP5

「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」をクリックし、[プロパティ（R）] をクリックします。



ネットワークの構成によっては「デフォルトゲートウェイ(D):」の設定が必要です。設定については、システムの管理者にご確認ください。

STEP7

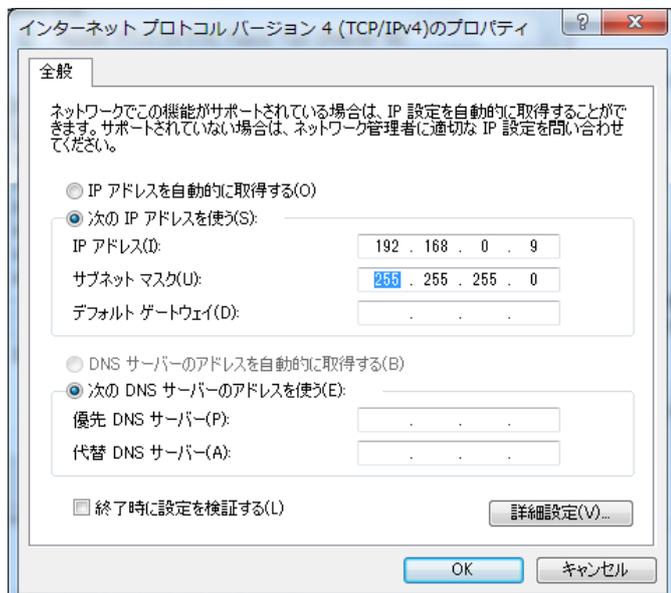
[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

→インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ画面が表示されます。

STEP6

[次のIPアドレスを使う(S):] をクリックし、「IPアドレス(I):」と「サブネットマスク(U):」を以下のように設定します。

- IPアドレス：192.168.0.9
- サブネットマスク：255.255.255.0



本機のネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

①ユーザー認証によるアクセスの制限

ユーザー認証の設定を「On」にすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。(☞67ページ)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャンなどの不正アクセスを防止することができます。(☞61ページ)

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのウェブブラウザを閉じてください。
- 管理者のパスワードは、セキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

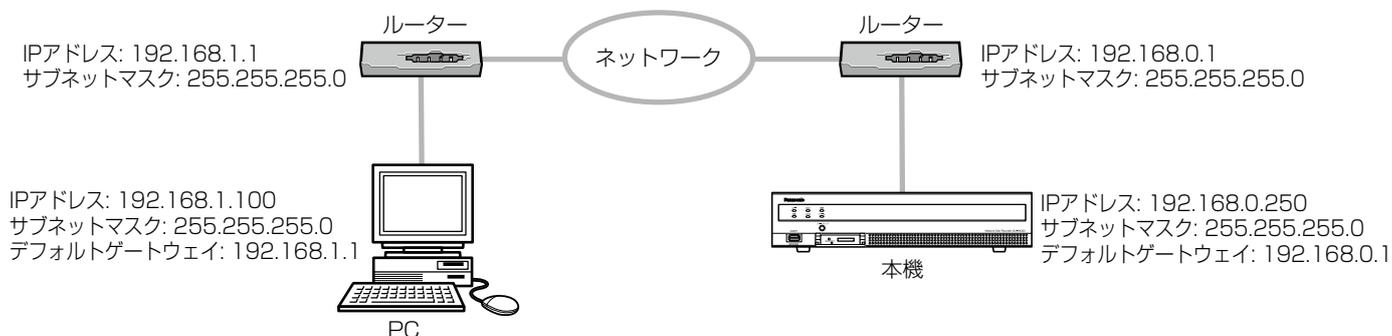
セキュリティ強化のために

ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を2重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。本機をセキュリティの確保されていないネットワークに接続する場合、本機とホストPCの間にVPN（Virtual Private Network）機器を挿入するなどして、セキュリティを確保してから接続してください。

重要

- ネットワークのセキュリティの設定は、本機が接続される社内LAN（Local Area Network）やサービスプロバイダーなどの設定により異なります。各ネットワークのセキュリティについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。

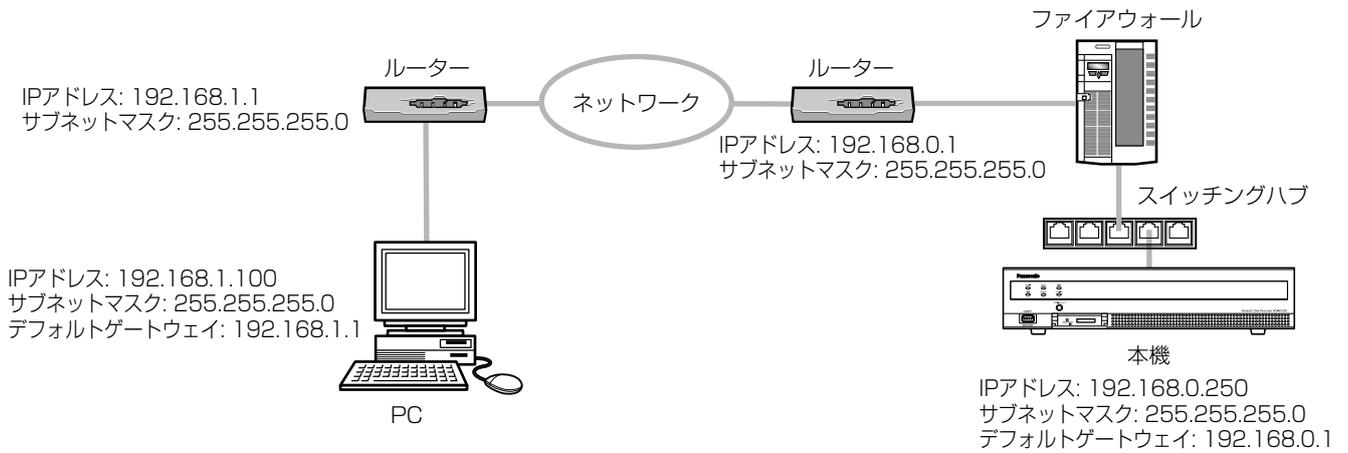
【接続例】



さらにファイアウォールなどを使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

本機のネットワークセキュリティについて (つづき)

【接続例】



操作画面を表示する

PCを起動して、インストールされているウェブブラウザから本機を操作します。

STEP1

ウェブブラウザを起動します。

STEP2

本機に設定されたIPアドレス、または本機のURLを [アドレス] ボックスに入力し、Enterキーを押します。
→認証画面が表示されます。設定メニュー [ユーザー管理] - [基本] タブの「ユーザー認証」が「Off」に設定されている場合、この画面は表示されません。

重要

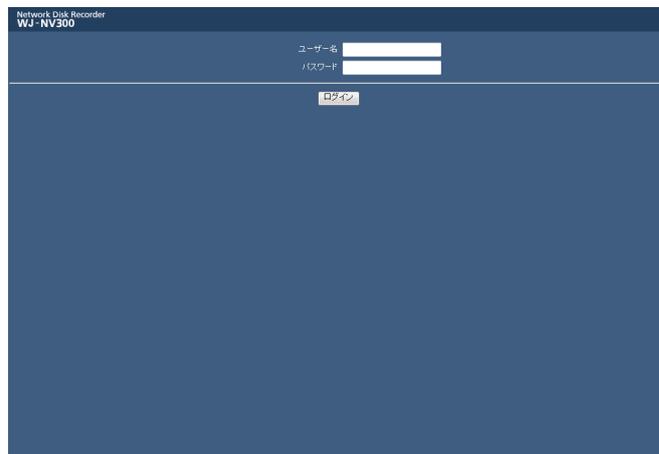
- 設定してあるIPアドレスについてはネットワークの管理者にご確認ください。
- IPアドレスを入力するときは、先頭に「0」を付けないでください。
例：○ 192.168.0.50
× 192.168.0.050
- 情報バーにメッセージが表示される場合は189ページをお読みください。

メモ

- 最初に本機のトップページをPCに表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveXをインストールすると、ビューソフトウェア (177ページ) も同時にインストールされます。
- 本機以外の弊社製レコーダーのActiveXがインストール済みの場合、「プログラムのアンインストール」で [WebVideo ActiveX] を削除した後、本機のActiveXをインストールしてください (177ページ)。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
- ActiveXは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

STEP3

本機に登録されているユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



→トップページが表示されます。



重要

- 設定してあるユーザー名、パスワードについてはネットワーク管理者にご確認ください。
- ユーザー登録のしかたは68ページをお読みください。
- 管理者名とパスワードの初期設定は以下になります。

管理者名 : ADMIN
パスワード : 12345

- セキュリティを確保するために、管理者名とパスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、69ページをお読みください。
- 情報バーにメッセージが表示される場合やポップアップ表示された画面に不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される場合は189ページをお読みください。

操作画面について

トップページ



【コントロール】 ボタン

録画画像の検索やコピーなどの操作、検索結果およびログ情報を表示します。

また、カメラのライブ画像の多画面表示（マルチスクリーン）や、全画面表示など、カメラ画像の切り換えができます。

【カメラ選択】 ボタン

表示するカメラ画像の切り換えなど、カメラの操作ができます。

【設定】 ボタン

本機の設定ができます。

各種設定項目や設定内容の詳細については15ページ以降の「本体設定」をお読みください。また、基本的な操作方法については、182ページをお読みください。

ステータス表示部

録画画像の再生状況や録画状態など、本機の状態を表示します。

現在日時表示部

現在の日時を表示します。

画像表示部

ライブ画像や再生画像を表示します。画像の左上にはカメラタイトル、右上には日時（ライブ画像はカメラの現在日時、再生画像は録画日時）を表示します。多画面表示中にカメラタイトルをクリックすると、クリックしたカメラの画像を1画面表示します。

初期設定ではアスペクト比が4:3の画像用のサイズになっています。アスペクト比が16:9の画像用のサイズにする設定については57ページをお読みください。

ダウンロード操作部

再生画像やビューワーソフトをダウンロードします。

【カメラ】 タブ

ズームやフォーカス、自動モードなどのカメラ操作ができます。

【HDD】 タブ

録画画像の再生操作ができます。

操作画面について (つづき)

コントロールパネル

[コントロール] ボタンをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。



【マルチスクリーン】 ボックス

最大4台のカメラ画像を同時に多画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、カメラ1-4→カメラ5-8→カメラ9-12→カメラ13-16のように、4画面ずつ切り換えて表示します。

【全画面表示】 ボックス

カメラのライブ画像、再生画像を画面全体に表示します。(P.159ページ)

【デジタルズーム】 ボックス

クリックしたボタンの倍率で1画面表示のカメラ画像を表示します。

[x1] : 1倍 [x2] : 2倍 [x4] : 4倍

【検索】 ボックス

録画画像を検索再生する場合に使用します。検索結果はリスト表示部に表示されます。

●【録画イベント】 ボタン

[ディスク/メディア] で「HDD」を選択すると表示されます。録画イベント検索画面を表示します。

●【動作検知】 ボタン

[ディスク/メディア] で「HDD」を選択すると表示されます。動作検知検索画面を表示します。

●【コピーデータ】 ボタン

[ディスク/メディア] で「SD」または「DVD」を選択すると表示されます。コピーデータ検索画面が表示されます。

ディスク/メディア

再生画像の保存先を選択します。(DVDは、DVDドライブ搭載モデルのみ表示されます。)

HDD / SD / DVD

【コピー】 ボックス

[ディスク/メディア] で「HDD」を選択すると操作できます。

データコピー画面を表示します。録画画像をSDカードやDVD、外部記憶装置に手動でコピーする場合に使用します。

【履歴/ログ表示】 ボックス

表示するログを選択します。

各ボタンをクリックすると、該当する履歴/ログ情報をリスト表示部に表示します。

表示する内容：アラーム履歴、エラー履歴、アクセスログ、ネットワークログ

●【閉じる】 ボタン

表示された履歴/ログ情報を閉じます。

操作画面について（つづき）

リスト表示部

件数 : リストアップされたデータのトータル件数を表示します。

No. : 発生順に番号を表示します。

発生日時 : イベントや障害が発生した日時を表示します。

内容 : 発生イベントや障害内容を表示します。記録できる件数は、それぞれ以下のとおりです。上限を超えると、古い履歴、ログから上書きされます。

アラーム履歴 : 750件

エラー履歴 : 1000件

アクセスログ : 100件

ネットワークログ : 100件

検索結果およびコピーデータのリスト表示については、それぞれ「検索して再生する」(☞168ページ)、「コピーした画像リストを確認する」(☞175ページ)をお読みください。

メモ

- アラーム履歴のプレ録画時間を5秒より長く設定している場合に、プレ録画の先頭から再生するには、再生ボタンをクリックしてから、逆スキップボタンをクリックしてください。
- 選択した履歴やログの録画データが、すでに上書きなどにより消去されている場合は、正しいデータを再生できません。

リストの日時をクリックすると、その日時から（履歴／ログ情報の場合は約5秒前から）再生を開始できます。

カメラ選択パネル

[カメラ選択] ボタンをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。画像表示部の切り換えやカメラ画像を選択します。



[マルチスクリーン] ボックス、[全画面表示] ボックス、[デジタルズーム] ボックスについては、「コントロールパネル」(☞152ページ)をお読みください。

カメラ選択ボックス

カメラタイトルをクリックすると、選択したカメラの画像を画像表示部に1画面で表示します。

操作画面について（つづき）

設定パネル

〔設定〕 ボタンをクリックすると、以下の設定パネルが表示されます。本機の日時表示などの設定を変更することができます。

各種設定項目や設定内容の詳細については15ページ以降の「本体設定」をお読みください。また基本的な操作方法については182ページをお読みください。



〔日時・Language〕 ボタン

日時・Language（言語）ページを表示します。日時の設定やサマータイム設定などを行います。

〔カメラ〕 ボタン

カメラページを表示します。
ネットワークカメラの登録を行います。

〔録画・イベント〕 ボタン

録画イベントページを表示します。録画のスケジュールやアラームに関する設定を行います。

〔モニター〕 ボタン

メインモニターやサブモニターに関する設定を行います。

〔ネットワーク〕 ボタン

ネットワーク接続に関する設定を行います。

〔ユーザー管理〕 ボタン

ユーザーの登録、変更、削除や管理者設定を変更します。

〔メンテナンス〕 ボタン

本機のシステム情報を表示します。

〔HDD管理〕 ボタン

HDDをフォーマットします。

〔拡張機能〕 ボタン

ビジネスインテリジェンス拡張機能の統計データのダウンロードを行います。
(ライセンス登録後にボタンが表示されるようになります)

操作方法については、ビジネスインテリジェンス拡張キットの取扱説明書をお読みください。

ステータス表示部



ライブ/再生状態表示部

ライブ画像、再生画像の状態を表示します。表示される情報は以下のとおりです。

- : ライブ画像を表示中です。
- : 録画画像を再生中です。
- : 逆再生中です。
- : 高速再生中です。
- : 高速逆再生中です。
- : 一時停止中です。
- : 録画画像・音声をダウンロード中です。
- : 録画画像・音声のダウンロードが終了しました。

【Step 1】～【Step 7】

: 再生速度を表示します。

- : 1倍速
- : 約4倍速
- : 約8倍速
- : 約16倍速
- : 約32倍速
- : 約48倍速
- : 約96倍速

- : 再生メディアとしてHDDを選択中です。
- : 再生メディアとしてSDカードを選択中です。
- : 再生メディアとしてDVDを選択中です。
(※DVDドライブ搭載モデルのみ)
- : DVDのファイナライズ(取り出し処理)中です。
- : SDカードまたはHDDをフォーマット中です。
- : ミラー/RAID復旧中です。
- : 録画イベントを絞り込み検索中です。

その他状態表示部

録画ランプ

録画状態を表示します。

- : 録画中です。
- : 録画していません。

その他状態表示部

以下の状態を表示します。

- : 優先度の高いユーザーがカメラを操作しているため、カメラを操作できません。
- : コピー動作中です。
- : 画像データを消去中です。(自動消去処理中のみ)
- : 顔照合動作中です。(顔照合機能の設定を行っている場合のみ)
- : 統計処理実行中に表示されます。

アラームボタン [ALM]

イベント発生時に表示されます。クリックすると、アラーム動作を解除できます。

エラーボタン [ERR]

エラー発生時に表示されます。クリックすると、エラー動作を解除できます。

ダウンロード操作部

始点／終点設定



始点／終点設定

ダウンロードする画像と音声の範囲を、始点／終点の日時で設定します。1画面で再生中のみ設定できます。
([174ページ](#))

【ダウンロード】 ボタン

指定した日時の画像・音声をダウンロードできます。

【ビューワー】 ボタン

ダウンロードした画像と音声を再生するビューワーストをダウンロードできます。

【カメラ】 タブ

回転機能付きカメラのライブ画像を1画面で表示しているとき、カメラの操作ができます。接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。



コントロールボタン／コントロールパッド

【ズーム】 ボックス

[-] ボタンまたは [+] ボタンをクリックしてズームを調整します。[x1] ボタンをクリックするとズームの倍率は1倍に戻ります。

【フォーカス】 ボックス

[近] ボタンまたは [遠] ボタンをクリックして、カメラ画像の焦点を調整します。[オート] ボタンをクリックすると、自動で焦点を調整（オートフォーカス）します。

【自動モード】 ボックス

カメラの自動モード機能を選択します。[▼] ボタンをクリックしてカメラの自動モード機能（自動追従／オートパン／プリセットシーケンス／パトロール）を選択し、[開始] ボタンをクリックします。[終了] ボタンをクリックすると自動モード機能を終了します。

コントロールボタン／コントロールパッド

パッド周囲にあるボタンをクリックすると、クリックした方向にカメラの向きが移動（パン／チルト）します。また、コントロールパッド内をクリックしても、画像の水平位置／垂直位置を調整（パン／チルト）できます。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの移動量が多くなります。

【明るさ】 ボックス

[暗 (-)] ボタンまたは [明 (+)] ボタンをクリックして、レンズの絞りを調整します。[標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定をリセットできます。

操作画面について（つづき）

【プリセット】ボックス

●【登録】ボタン

カメラの向きを指定するプリセットポジションに登録します。

カメラを登録したい方向へ向け、[▼] ボタンをクリックして登録したいプリセット番号(1～256)を選択し、[登録] ボタンをクリックします。([Home] への登録はできません)

●【移動】ボタン

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。

[▼] をクリックしてプリセット番号 ([Home]、1～256) を選択し、[移動] ボタンをクリックします。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録してください。

【HDD】 タブ



【再生】 / 【逆再生】 ボタン

録画画像を再生／逆再生します。

【高速再生】 / 【高速逆再生】 ボタン

録画画像を順方向／逆方向に高速再生します。ボタンをクリックするたびに、速度がStep2（約4倍）、Step3（約8倍）、Step4（約16倍）、Step5（約32倍）、Step6（約48倍）、Step7（約96倍）と切り換わります。

【スキップ】 / 【逆スキップ】 ボタン

順方向／逆方向にスキップして次の録画画像を再生します。

【コマ送り】 / 【逆コマ送り】 ボタン

再生中や一時停止中にクリックすると、順方向／逆方向に1コマ再生し、一時停止します。

【一時停止】 ボタン

再生中にクリックすると、再生を一時停止します。一時停止中にクリックすると、再生を開始します。

【停止】 ボタン

再生を停止して、カメラのライブ画像を表示します。

【最新再生】 ボタン

表示しているカメラの最新の録画日時の約30秒前の画像から再生を開始します。

【日時サーチ】 ボックス

見たい画像の日時を指定して再生します。[▼] ボタンをクリックして再生したい画像の日時を選択します。

【日時サーチ】 ボタンをクリックすると選択した日時の画像を再生します。

カメラのライブ画像を見る

カメラのライブ画像をウェブブラウザに表示します。1画面または4画面分割での表示や画像表示部を画面全体に拡げて表示することができます。

1画面で表示する

1画面でカメラのライブ画像を表示します。

STEP1

[カメラ選択] ボタンをクリックします。
→ [カメラ選択] ボックスにカメラのリストが表示されます。(※153ページ)



STEP2

カメラタイトルを選択します。
→ 選択したカメラのライブ画像が表示されます。

メモ

- カメラ画像上で右クリックし表示されたメニューからカメラを選択しても、カメラ画像を切り換えることができます。
- ライブ画像を表示しているときに、[HDD] タブの [最新再生] ボタンをクリックすると、表示しているカメラの最新の録画日時の約30秒前の画像から再生を開始します。

デジタルズームを使用する

ライブ画像を拡大表示します。

1画面表示しているとき、[デジタルズーム] ボックスのボタンをクリックします。

- [x1] ボタン：1倍で表示します。
- [x2] ボタン：2倍で表示します。
- [x4] ボタン：4倍で表示します。

ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

全画面表示にする

ライブ画像を画面全体に拡げて表示します。1画面表示しているときに、[全画面表示] ボックスのボタンをクリックします（操作パネルは非表示となります）。

全画面表示から通常表示に戻すには、画像上で右クリックし、表示されたメニューの [操作画面表示] を選択します。

メモ

- カメラ画像上で右クリックし、表示されたメニューの [全画面表示] を選択して、全画面表示にすることもできます。

4分割画面で表示する（マルチスクリーン）

カメラの画像を4画面に分割して表示します。

STEP1

[カメラ選択] ボタンをクリックします。

→ [カメラ選択] ボックスにカメラのリストが表示されます。（[153ページ](#)）

STEP2

[マルチスクリーン] ボックスのボタンをクリックします。

→カメラ画像が4画面で表示されます。

STEP3

ボタンをクリックするたびに、カメラ1-4→カメラ5-8→カメラ9-12→カメラ13-16・・・とカメラ画像が切り換わって4画面表示されます（カメラのライセンス数に従い、切り換わりかたは変わります）。

STEP4

[カメラ選択] ボックスのカメラタイトル、または画像に表示されたカメラタイトルをクリックします。

→1画面表示に戻ります。

メモ

- カメラ画像上で右クリックし、表示されたメニューから多画面表示に切り換えることができます。
- 4画面表示で右クリックし表示されたメニューから [全画面表示] を選択すると、4画面で拡大表示します。
- ライブ画像を表示しているときに、[HDD] タブの [最新再生] ボタンをクリックすると、表示しているカメラの最新の録画日時の約30秒前の画像から再生を開始します。
- 4画面で表示しているときは、左上のカメラの音声流れます。
- 4画面で表示中に動作検知サーチの操作をすると、左上のカメラの画像が検索の対象となります。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を1画面で表示しているとき、以下のカメラ操作ができます。接続されたカメラの機種によってはカメラの操作ができないか、一部動作しない機能があります。

- パン／チルト : カメラ画像の水平・垂直位置を調整します。
- ズーム : カメラ画像を拡大／縮小表示します。
- フォーカス : カメラ画像の焦点を調整します。
- 明るさ : レンズの絞りを調整します。
- プリセット動作 : カメラの向きを指定するプリセットポジションに登録し、カメラの向きを移動します。
- 自動モード : カメラに設定された自動モード機能を動作させます。

カメラ操作は、トップページで [カメラ] タブを表示して行います。



コントロールボタン／コントロールパッド

パン／チルト操作

ライブ画像が1画面表示のときに、以下のいずれかの操作でカメラ画像の水平位置・垂直位置を調整します。

コントロールボタン

クリックしてカメラの向きを調整します。

コントロールパッド

クリックしてカメラの向きを調整します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの移動量が多くなります。

メモ

- カメラ画像内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置が中心となるようにカメラの向きが移動します。
-

カメラを操作する（つづき）

ズーム操作

カメラ画像を拡大／縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

[-] ボタンまたは [+] ボタンをクリックしてズームを調整します。[x1] ボタンをクリックするとズームの倍率は1 倍に戻ります。

メモ

- マウスホイールの操作でもズームを調整できます。
- マウスのドラッグ操作で表示したい範囲を選択すると、選択したエリアを中心とする位置にカメラの向きが移動し、ズーム倍率が自動的に調整されます。

フォーカス操作

カメラ画像の焦点を調整します。自動で焦点を調整（オートフォーカス）することもできます。

[近] ボタンまたは [遠] ボタンをクリックしてカメラ画像の焦点を調整します。

[オート] ボタン（オートフォーカス）をクリックすると、自動で焦点を調整できます。

明るさ操作

レンズの絞りを調整します。

[暗 (-)] ボタンまたは [明 (+)] ボタンをクリックして、レンズの絞りを調整します。[標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定をリセットできます。

プリセットポジション登録

現在のカメラの向きを選択したプリセットポジションに登録します。プリセットポジション機能に対応しているカメラで使用できます。

STEP1

パン／チルト操作を行い、カメラを登録したい方向に向けます。

STEP2

プリセットボックスの [▼] ボタンをクリックし、プリセット番号（1 ～ 256）を選択します。「Home」には登録できません。

STEP3

[登録] ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号に登録されます。

カメラを操作する（つづき）

プリセットポジション移動

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。事前にカメラのプリセットポジションを登録してください。

STEP1

プリセットボックスの [▼] ボタンをクリックし、プリセット番号（Home、1～256）を選択します。

STEP2

[移動] ボタンをクリックします。
→選択したプリセット番号に登録されているプリセットポジションにカメラの向きが移動します。

自動モード

カメラに設定された自動モード機能を動作させます。

STEP1

自動モードボックスの [▼] ボタンをクリックして、以下から自動モードを選択します。

- 自動追従 : カメラが画面上の動く物体を自動で追いかけます。
- オートパン : カメラであらかじめ設定したパンのスタート位置とエンドの位置の範囲を自動的に旋回します。
- プリセットシーケンス : カメラであらかじめ登録してあるプリセットポジションをプリセット番号の小さい方から順番に移動します。
- パトロール : カメラであらかじめ記録した手動操作を実行します。

STEP2

[開始] ボタンをクリックして、カメラの自動モード機能を開始します。

自動モードを終了するには、[終了] ボタンをクリックします。

メモ

- カメラの自動モード機能についてはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
-

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム : ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力される
- カメラサイトアラーム : カメラで検出したアラーム (カメラ端子アラームなど)
- コマンドアラーム : ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム
- 顔照合アラーム* : あらかじめ登録した顔画像との照合を行い一致した場合に通知するアラーム

※ビジネスインテリジェンス拡張キットのライセンスを登録している場合

メモ

- ウェブブラウザでは、本機が顔照合機能を使用する設定であっても、顔画像の登録や、照合結果表示はできません。顔照合アラームの設定条件や制約については、ビジネスインテリジェンス拡張キットの取扱説明書をお読みください。

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。イベント動作、動作モードについては、「イベント発生時の動作」(P123ページ)をお読みください。ここでは、PCから設定・確認できるイベント発生時の動作について説明します。

アラームメッセージを表示する

イベント発生を通知する画面を表示します。



[OK] ボタンをクリックするか、[×] ボタンをクリックすると画面を閉じます。複数のイベントが同時に発生した場合は、後から発生したイベントの内容を表示します。

アラームボタンを表示する

ステータス表示部にアラームボタンを表示します。アラームボタンをクリックすると、アラーム動作を解除できます。(P164ページ)

エラーボタンを表示する

ステータス表示部にエラーボタンを表示します。エラーボタンをクリックすると、エラー動作を解除できます。(P164ページ)

イベント発生をメールで通知する

イベントが発生すると、イベントの発生と日時を知らせる電子メール (アラームメール) を、登録したメールアドレスに送信して通知します。

アラームメールの通知先は4件まで登録できます。

独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知するイベントやエラー発生時、[独自アラーム] の設定に従って、発生したイベントやエラー情報をPC に自動的に通知します。発生したイベントやエラー情報を受信し内容を表示する場合は、通知先のPC に専用ソフトウェア (別売り) をインストールしてください。専用ソフトウェアについては、本機付属のCD-ROM 内「readme.txt」をお読みください。

アラーム動作を解除する

アラーム動作を手動で解除するには、ステータス表示部に表示された [ALM] ボタンをクリックします。



→アラーム動作が解除されます。イベント録画が停止し、アラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

エラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。ウェブブラウザ上にエラー画面が表示され、発生したエラーの情報が表示されます。エラー動作を手動で解除するには、エラー画面を閉じ、ステータス表示部に表示された [ERR] ボタンをクリックします。



→エラー動作が解除されます。

メモ

- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネル（[134ページ](#)）に表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。
-

再生する

本機のHDDに録画したカメラ画像を表示します。再生には、日時を指定して再生する方法と、条件検索をして再生する方法があります。再生操作は録画中も行えます。

STEP 1

操作画面のトップページで [HDD] タブをクリックします。

→ [HDD] タブが表示されます。



STEP 2

[再生] ボタンをクリックします。

→録画画像が再生されます。ステータス表示部に「再生中 [Step 1]」が表示されます。

前回再生を終了した日時から再生を開始します。

STEP 3

[HDD] タブの [停止] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の「再生中 [Step 1]」が消え、再生を停止します。画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。

メモ

- 1画面で表示しているときは、表示している画像の音声流れます。多画面で表示しているときは、左上の画像の音声流れます。
- ログイン後、初めて再生するときは、最新の録画日時の約30秒前の画像から再生します。録画中は現在日時の30秒前の画像から再生します。
- ウェブブラウザとビューワーソフトを同時に起動した場合、音声の再生が正しく行われない場合があります。正しく音声の再生を行うには、ウェブブラウザかビューワーソフトのどちらか一方を起動してください。
- 本機の負荷が大きい場合（接続カメラ台数が多い、ライブ／再生画面数が多いなど）、再生速度が遅くなるか、またはしばらく停止することがあります。
- 多画面表示中は、実際の録画画像を間引いて再生します。
- 多画面で再生する場合、フレームレートの低い画像と高い画像を混在して再生すると、それらの画像の表示時刻にずれが生じる場合があります。
- 画像と音声の同期がずれる場合があります。
- 再生中に [カメラ選択] ボタンをクリックして、カメラタイトルをクリックすると、カメラを変更できます。
- 再生中に [マルチスクリーン] ボックスのボタンをクリックすると、多画面表示に変更できます。
- 多画面表示中に画像のカメラタイトルをクリックすると、クリックしたカメラの画像が1画面表示されます。

再生する (つづき)

再生操作について

再生中に行える操作は、以下のとおりです。

機能	表示例	操作
再生／逆再生ボタン		<ul style="list-style-type: none">● 録画画像を再生します。● 録画画像を逆再生します。 ※低いレートで録画中に [再生] ボタン、[逆再生] ボタンをクリックしても再生、逆再生されない場合があります。
停止ボタン		<ul style="list-style-type: none">● 再生中にクリックすると、再生を停止し、ライブ画像が表示されます。
一時停止ボタン		<ul style="list-style-type: none">● 再生中にクリックすると、再生を一時停止します。● 一時停止中にクリックすると、再生を再開します。
高速再生／高速逆再生ボタン		<ul style="list-style-type: none">● 再生中に [高速再生] ボタンをクリックするたびに、再生速度がStep2 (約4倍)、Step3 (約8倍)、Step4 (約16倍)、Step5 (約32倍)、Step6 (約48倍)、Step7 (約96倍) と切り換わります● 再生中に [高速逆再生] ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2 (約4倍)、Step3 (約8倍)、Step4 (約16倍)、Step5 (約32倍)、Step6 (約48倍)、Step7 (約96倍) と切り換わります● 再生状態表示には、再生倍率が表示されます。 ※再生画像がH.264画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で高速再生／高速逆再生されます。
スキップ／逆スキップボタン		<ul style="list-style-type: none">● [スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の新しい画像にスキップして再生します● [逆スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の古い画像にスキップして再生します ※スキップ先が存在しない場合は再生を続けます。このとき再生時刻が1分程度戻る場合があります。
コマ送り／逆コマ送りボタン		<ul style="list-style-type: none">● 再生中や一時停止中に [コマ送り] ボタンをクリックすると、順方向に1コマ再生し、一時停止します。● 再生中や一時停止中に [逆コマ送り] ボタンをクリックすると、逆方向に1コマ再生し、一時停止します。 ※再生画像がH.264画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で逆コマ送りされます。
最新再生ボタン		<ul style="list-style-type: none">● 再生している画像の最新の録画日時の約30秒前の画像から再生を開始します。 録画中は現在日時の30秒前の画像から再生します。 ※低いフレームレートで録画中に [最新再生] ボタンをクリックすると最新の録画画像で一時停止、もしくは画像が表示されない場合があります。

マルチスクリーン、デジタルズーム、全画面表示については、152ページをお読みください。

日時を指定して再生する

見たい録画画像の日時を指定して再生します。再生操作は録画中も行えます。

STEP1

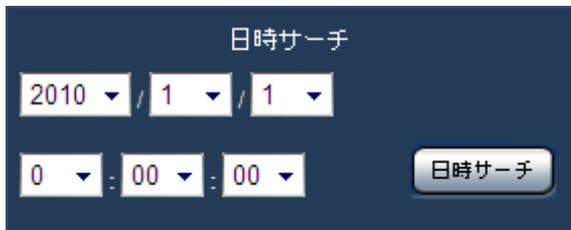
操作画面のトップページで [カメラ選択] ボタンをクリックし、カメラ選択ボックスから再生したいカメラを選択します。(☞153ページ)

STEP2

HDDタブをクリックします。(☞151ページ)

STEP3

日時サーチボックスで [▼] ボタンをクリックし、再生したい画像の日時を選択します。



STEP4

[日時サーチ] ボタンをクリックします。
→ステータス表示部に「再生中 [Step 1]」が表示され、設定した日時の画像を再生します。
(再生中の操作: 「再生する」(☞166ページ))

メモ

- 再生画面がH.264画像の場合、指定した時刻の数秒前、もしくは数秒後から再生することがあります。
- 指定した日時の画像がない場合は、入力日時に最も近い画像を再生します。

検索して再生する（録画イベントサーチ）

録画イベントリストから再生したい録画イベントを検索して再生します。

重要

- 録画イベントサーチは、[ディスク/メディア] で「HDD」を選択している場合のみ実行できます。また、録画イベントは、条件で絞り込んで検索することもできます。
- 顔照合アラームは、ウェブブラウザでは録画イベントサーチで再生することはできません。アラーム履歴のリストから再生してください。（[P.152ページ](#)）

STEP1

操作画面のトップページ（[P.151ページ](#)）で[コントロール] ボタンをクリックし、サーチボックスで[録画イベント] ボタンをクリックします。

→録画イベントサーチ画面が表示されます。



STEP2

絞り込み条件を設定します。

【日時範囲】

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

【録画イベント】

選択したイベントの画像のみ検索します。検索したいイベントにチェックを入れます。[全イベント]にチェックを入れると、以下のすべてのイベントにチェックを入れることができます。

スケジュール [SCH]

：スケジュール録画イベントによる録画

端子アラーム [TRM]

：端子アラームによる録画

コマンドアラーム [COM]

：コマンドアラームによる録画

カメラサイトアラーム [CAM]

：カメラサイトアラームによる録画

【カメラ】

選択したカメラごとに検索します。検索したいカメラにチェックを入れます。[全カメラ] にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部に [FILTERING] が表示され、絞り込まれた結果がリスト表示部に表示されます。



検索して再生する（録画イベントサーチ）（つづき）

件数

検索されたデータのトータル件数を表示します。
10001件以上の場合は[> 10000 件]と表示します。

【条件解除】 ボタン

絞り込みを解除し、すべての録画イベントを表示します。

【更新】 ボタン

表示内容を最新の状態に更新します。

【前ページ】 ボタン

リストの前のページを表示します。

【次ページ】 ボタン

リストの次のページを表示します。

日時

録画開始日時を表示します。

カメラ

録画したカメラを表示します。

Evt

イベント種別を表示します。（[168ページ](#)）

HDD

データが録画されているHDDの番号を表示します。

音声

画像に録音されている場合は、アイコンを表示します。

メモ

- 再生中は【条件解除】ボタンが無効になっています。再生を停止してから、操作してください。
 - カメラの台数が多い場合、録画開始時刻がカメラごとにそろわないことがあります。
-

STEP4

録画イベントリストで再生したい日時をクリックします。

→選択した録画イベント日時の画像を再生します。（「再生操作について」[166ページ](#)）

動作検知で検索して再生する(動作検知サーチ)

動作検知 (VMD : Video Motion Detection) に対応したカメラで録画した画像の中から、画像に動きのある日時を検索して、リストで表示します。検索結果のリストから再生したい日時を選択して再生します。

重要

- 動作検知サーチを行うには、動作検知に対応したカメラと、あらかじめカメラの設定が必要です。動作検知対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。あわせてカメラの取扱説明書もお読みください。

STEP1

操作画面のトップページ(151ページ)で[コントロール] ボタンをクリックし、サーチボックスで [動作検知] ボタンをクリックします。

→動作検知サーチ画面が表示されます。ライブ画像を表示中はライブ画像が、再生中は再生画像が一時停止状態で表示されます。



STEP2

絞り込み条件を設定します。

[カメラ]

動作検知サーチを行うカメラを選択します。

[日時範囲]

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

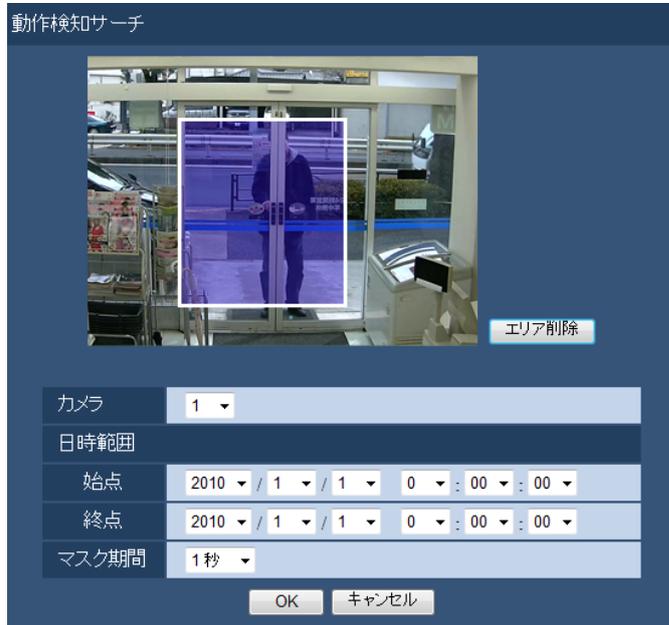
[マスク期間]

検索する時間間隔を選択します。

STEP3

動作検知するエリアを設定します。画像上でマウスをドラッグします。

→枠が表示され、動作検知するエリアが設定されます。



メモ

- [エリア削除] ボタンをクリックすると、設定したエリアを削除できます。

STEP4

[OK] ボタンをクリックします。

→検索が開始されます。検索結果がリスト表示部に表示されます(168ページ)。検索には時間がかかる場合があります。

重要

- 動作検知サーチの検索結果のリストには、録音されている場合でも、[音声] 情報にアイコンは表示されません。

動作検知で検索して再生する（動作検知サーチ）

STEP5

録画イベントリストで再生したい日時をクリックします。

→選択した録画イベント日時の画像が再生されます。
（「再生操作について」（[P.166](#)ページ））

メモ

- リストには100件まで表示されます。サーチ結果が100件を超えている場合は、[> 100] と表示されます。
 - 再生画像は1画面で表示されます。多画面で表示する場合は、再生開始後、[マルチスクリーン] ボックスのボタンをクリックします。
 - 多画面で表示中に動作検知サーチを行うと、左上のカメラの画像が検索の対象となります。
-

コピーする

本機に録画された画像をSDカードやDVD*、外部記憶装置にコピーします。大切なデータはHDDの故障や突然の事故に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。コピー機能について、詳しくは138ページをお読みください。コピーした画像の再生方法については、177ページをお読みください。

※DVDドライブ搭載モデルのみ

STEP1

操作画面のトップページ(151ページ)で[コントロール] ボタンをクリックします。

STEP2

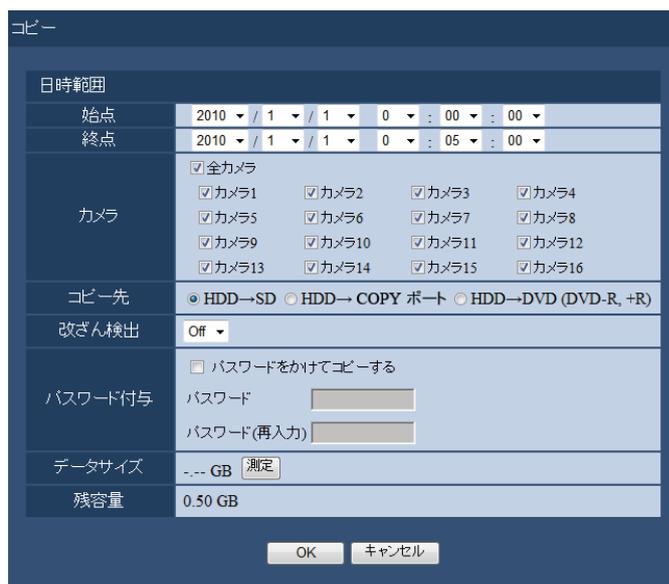
[コピー] ボックスのボタンをクリックします。



→コピー画面が表示されます。

STEP3

コピーする録画画像の条件を設定します。条件として設定したい内容を設定します。



日時範囲

コピーしたい画像の録画開始日時と録画終了日時を設定します。[▼] ボタンをクリックして、日時を設定します

カメラ

コピーするカメラを選択します。選択したいカメラにチェックを入れます。[全カメラ] にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

コピー先

コピー先をSDカード、DVDまたは外部記憶装置（コピーポート接続）のいずれかに設定します。「HDD→SD」「HDD→COPYポート」「HDD→DVD (DVD-R, +R)」のいずれかにチェックを入れます。

改ざん検出

コピーする録画画像に改ざん検出用のコードを付与するかどうかを設定します。改ざん検出用のコードを付与すると、ビューワーソフトで再生する際に、改ざん検出を行えます。[▼] ボタンをクリックして、On / Offを設定します。

コピーする (つづき)

パスワード付与

パスワード付きでコピーする場合にはチェックを入れ、パスワードを入力します (半角英数字5文字以上8文字以内)。再生する際には入力したパスワードが必要になります。

データサイズ

[測定] ボタンをクリックすると、コピー対象のデータサイズを表示します。

残容量

コピー先 (SDカード / DVD / 外部記憶装置) の残容量を表示します。

STEP4

[OK] ボタンをクリックして表示された確認画面の

[OK] ボタンをクリックします。

→データコピー画面が閉じ、ステータス表示部に

[COPY] が表示されコピーが始まります。コピーが終了すると、[COPY] 表示が消えます。

重要

- SDカードにコピー中は、SDカードを抜かないでください。SDカードのデータが壊れることがあります。
- 外部記憶装置にコピー中は、外部記憶装置を抜かないでください。外部記憶装置のデータが壊れることがあります。
- コピー開始日時が終了日時よりも後に設定されているとき、[OK] ボタンをクリックしてもコピーは開始されません。
- コピー先の残容量が足りない場合でも、メディアの容量がいっぱいになるまでコピーを実行します。コピーできないデータが残らないよう、残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。
- コピーはビューワーソフト→画像→音声の順に行われます。コピーの設定時間やメディアの空き容量によっては、画像や音声のコピーされないことがあります。
- コピー中に [コピー] ボックスのボタンをクリックすると、コピー中止の確認画面が表示されコピーを中止することができます。
- コピー中は本機の電源を切らないでください。コピー中に電源を切ると、そのメディアが使用できなくなることがあります。
- SDカードおよび外部記憶装置 (コピーポート接続) には最大100万件のデータをコピーすることができます。DVDには最大2万4500件のデータをコピーすることができます。残容量がある場合でもこれらの件数を超えてコピーすることはできません。
- 他のユーザーが本体操作でコピーパネルを開いているときや、コピー先のメディアを他のユーザーが選択しているときは、コピー画面を表示できません。
- DVDの取り出しについては、140ページをお読みください。

再生画像をダウンロードする

再生している画像の開始位置と終了位置を指定して、PCに画像をダウンロードします。

再生画像をダウンロードすると、画像データファイル（ファイル名.n3r）と音声データファイル（ファイル名.n3a）としてダウンロードされます。ダウンロードした画像の再生方法については、177ページをお読みください。

重要

- ダウンロードするときは、Internet Explorer の制約により、PCのHDDにダウンロードするファイルサイズの2倍以上の空き容量が必要となります。
- ダウンロードを途中で中断すると、ダウンロードしたファイルをPCで正しく再生できません。

STEP1

操作画面のトップページ（[151ページ](#)）で [HDD] タブをクリックします。

STEP2

録画画像を1画面表示で再生します。

ダウンロードを開始したい再生位置でダウンロード操作部の [始点] ボタンをクリックします。または、始点ボックスをクリックして日時を入力します。



→ [始点] ボタンの横に設定した始点の日時が表示されます。

STEP3

ダウンロードを終了したい再生位置でダウンロード操作部の [終点] ボタンをクリックします。または、終点ボックスをクリックして日時を入力します。

→ [終点] ボタンの横に設定した始点の日時が表示されます。

メモ

- 一度にダウンロードできる時間は最大20分です。

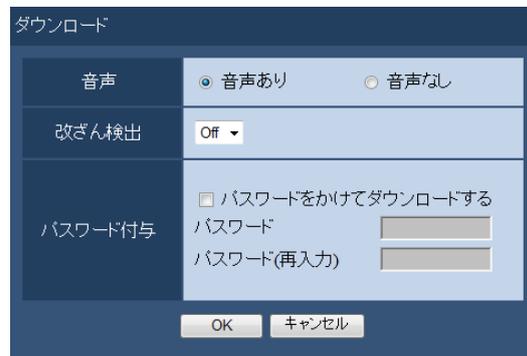
STEP4

[ダウンロード] ボタンをクリックします。

→ダウンロード画面が表示されます。

STEP5

ダウンロードするデータの音声のあり/なしと、改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかをOn/Offで選択します。パスワードを付与する場合は、半角英数字5文字以上8文字以内で入力してください。設定後、[OK] ボタンをクリックします。



→ファイルのダウンロード画面が表示されます。

STEP6

[保存] ボタンをクリックします。

→ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

STEP7

任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、[保存] ボタンをクリックします。

→画像データ（ファイル名.n3r）、音声データ（ファイル名.n3a）がダウンロードされます。

メモ

- STEP5で「音声あり」を選択した場合は、画像データダウンロード後、再度ダウンロード画面が表示されます。
- 情報バーにメッセージが表示される場合は、189ページをお読みください。
- 多画面表示で再生しているときは、画像をダウンロードできません。

コピーした画像リストを確認する

SDカードまたはDVD*にコピーした録画画像（コピーデータ）をリストで表示して確認します。コピーデータは条件で絞り込んで検索することもできます。絞り込みの条件は、日時範囲とカメラです。

※DVDドライブ搭載モデルのみ

STEP1

録画データがコピーされたSDカードまたはDVDを挿入します。(P.105ページ)

STEP2

操作画面のトップページ(P.151ページ)で[コントロール] ボタンをクリックします。

STEP3

[サーチ] ボックスの「ディスク/メディア」で「SD」または「DVD」を選択し、[コピーデータ] ボタンをクリックします。



→コピーデータ検索画面が表示されます。

STEP4

絞り込み条件を設定します。



【日時範囲】

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

【カメラ】

選択したカメラごとに検索します。検索したいカメラにチェックを入れます。[全カメラ] にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

STEP5

[OK] ボタンをクリックします。

→設定した条件にあてはまるコピーデータがリスト表示部に表示されます。

日時	カメラ	Evt	-	音声
2010/06/14 11:00:00	1	SCH		
2010/06/14 10:58:06	1	SCH		
2010/06/14 10:53:19	1	SCH		
2010/06/14 10:38:47	1	SCH		
2010/06/14 10:36:58	1	SCH		
2010/06/14 10:17:37	1	SCH		
2010/06/14 10:08:39	1	SCH		
2010/06/14 10:00:00	1	SCH		
2010/06/14 9:50:03	1	SCH		
2010/06/14 9:35:20	1	SCH		

件数

検索されたデータのトータル件数を表示します。

10001件以上の場合は [> 10000 件] と表示します。

【条件解除】 ボタン

絞り込みを解除し、すべての録画イベントを表示します。

コピーした画像リストを確認する（つづき）

【更新】 ボタン

表示内容を最新の状態に更新します。

【前ページ】 ボタン

前のページを表示します。

【次ページ】 ボタン

次のページを表示します。

日時

録画開始日時を表示します。

カメラ

録画中のカメラを表示します。

Evt

イベント種別を表示します。(168ページ)

音声

この欄には何も表示されません。

重要

- SDカードのコピーデータを表示中は、SDカードを抜かないでください。SDカードのデータが壊れることがあります。

メモ

- SDカードを入れ換えてリスト確認をする場合、[サーチ] ボックスの「ディスク/メディア」でHDDを選択してから、再度「SD」を選択してください。
 - コピーした画像の再生方法は、177ページをお読みください。
-

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する

再生画像をコピー・ダウンロードすると、画像データ（ファイル名.n3r）、音声データ（ファイル名.n3a）がコピー先・保存先にコピーされます。コピーしたデータは専用のビューワーソフトを使って再生、保存、印刷ができます。

メディアにコピーした画像を再生するには

メディアにコピーした画像を再生する場合、ビューワーソフトは、実行ファイル（ND_Viewer.exe）をダブルクリックして起動します。実行ファイルはコピーの際に画像ファイルとともに以下のフォルダーに保存されています。

コピー先がSDカードまたは外部記憶装置の場合

フォルダー：[Drive]：¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PSS ¥NVR ¥ND_Viewer

コピー先がDVDの場合

フォルダー：[Drive]：¥

ビューワーソフトの使いかたは179ページをお読みください。

メモ

- メディアにコピーされるビューワーソフトは、PCへのインストールを必要としない（インストールレス）ソフトウェアです。ビューワーソフトを他のフォルダーや他のPCにコピーする場合は、ND_Viewer.exeのあるフォルダー内のすべてのファイルをコピーしてください。

ウェブブラウザからダウンロードした画像を再生するには

ウェブブラウザからダウンロードした画像を再生する場合は、インストールしたビューワーソフトを起動します。ダウンロードに使用したPCでは、ActiveXと同時にビューワーソフトもインストール（[150ページ](#)）されます。それ以外のPCで再生する場合は、ビューワーソフトをダウンロードし、PCにインストールする必要があります。ビューワーソフトの使いかたは179ページをお読みください。

ビューワーソフトのダウンロード

STEP 1

操作画面のトップページ（[151ページ](#)）でダウンロード操作部の[ビューワー]ボタンをクリックします。（[156ページ](#)）

→ファイルのダウンロード画面が表示されます。



コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

STEP2

[保存(S)] ボタンをクリックします。
→ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

STEP3

任意の場所にフォルダーを新規に作成し、[保存(S)] ボタンをクリックします。
→ビューワーソフトがダウンロードされます。

ビューワーソフトのインストール

旧バージョンのビューワーソフトがインストールされている場合は、アンインストールをしてから新バージョンをインストールしてください。

STEP1

ダウンロードしたwvasetup.exeファイルをダブルクリックします。
→インストーラーが起動します。画面の指示に従って操作してください。

メモ

- 使用許諾画面で契約内容をお読みのうえ、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択してください。
- ユーザー情報画面の [ユーザー名(U):] と [所属(O):] は空欄でもインストールできます。[このコンピュータを使用するすべてのユーザー(A)] を選択してください。
- セットアップタイプ画面が表示される場合は、[すべて] を選択してください。

STEP2

[インストール(I)] ボタンをクリックします。
→インストールが開始されます。終了するとインストール完了画面が表示されますので、[完了(F)] ボタンをクリックしてください。

メモ

- ビューワーソフトをインストールすると、ActiveXも同時にインストールされます。

ビューワーソフトのアンインストール

STEP1

コントロールパネルの [プログラムのアンインストール] を実行します。

STEP2

インストールされているプログラムから [WebVideo ActiveX] を選択し右クリックします。表示された [アンインストール(U)] を選択します。
→アンインストールプログラムが起動します。

STEP3

画面の指示に従ってアンインストールします。

メモ

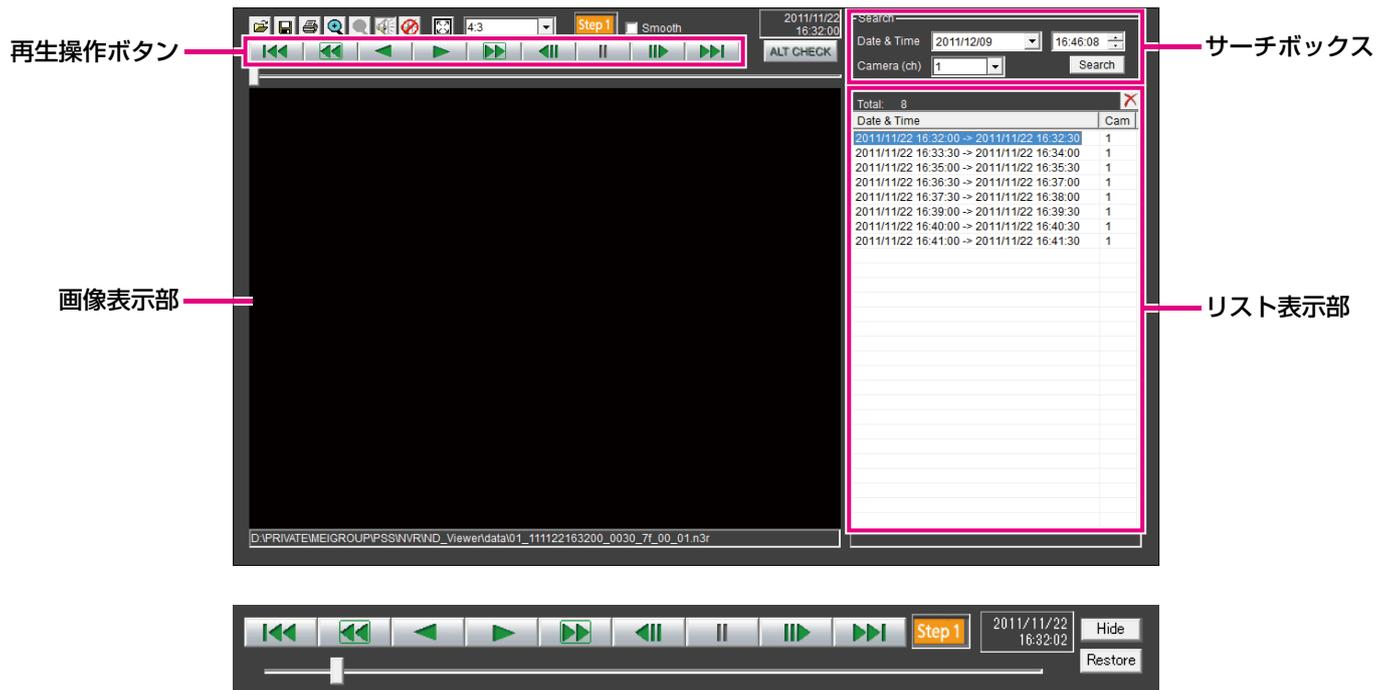
- ビューワーソフトと同時にActiveXもアンインストールされます。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

ビューワソフトの使いかた

ビューワソフトを起動するには、スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Network Disk Recorder] - [ND_Viewer] を選択するか、デスクトップにあるND_Viewerアイコンをダブルクリックします。

SDカードやDVD、外部記憶装置にコピーした画像の場合は、実行ファイル（ND_Viewer.exe）をダブルクリックして起動します（実行ファイルの保存先は、177ページをお読みください）。

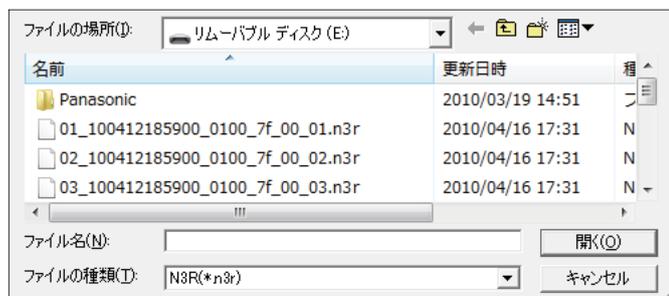


全画面表示時の再生操作ウィンドウ

再生画像を選択する

STEP 1

ボタンをクリックします。
→ファイルを開く画面が表示されます。



STEP 2

ダウンロードした画像データ（ファイル名.n3r）を選択し、[開く(O)] ボタンをクリックします。または、ファイルを開く画面を表示せずに画像データファイルをビューワソフトへドラッグ&ドロップします。

→リスト表示部に選択したファイルの情報が表示されます。

Date & Time : 画像データの開始日時と終了日時を表示します。

Cam : カメラ番号を表示します。

メモ

- 画像データのファイル名はコピー・ダウンロード時から変更しないでください。ファイル名を変更するとファイル情報が正しく表示されません。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

- キーボードの [Ctrl] キーや [Shift] キーを押しながら複数ファイルを選択し（最大100ファイル）、ドラッグ&ドロップすると一度にリスト表示できます。
- リスト表示部のヘッダー部をクリックすると、開始日時またはカメラ番号の昇順／降順にソートすることができます。
- リスト表示部に再生する画像データを追加するには、リスト上で右クリックし、表示されたメニューから [Add file] を選択してください。ファイルを開く画面が表示されるので、STEP2の操作を行ってください。追加した画像データは、リストのソート状態に従いリスト上に表示されます。
- リストにすでに100件の画像データが表示されている場合は、追加することはできません。画像データの件数は、リストの上に [Total :] で表示されています。
-  ボタンをクリックすると、リスト表示されているすべてのデータの表示を消去します。リスト上で右クリックし、表示されたメニューから [Clear all list] を選択して消去することもできます。
- ビューワーソフトと同じディレクトリ、または、同じディレクトリの「data」フォルダにデータがあると自動的に読み込んで再生します。
-  で画像表示部のアスペクト比を切り換えることができます。画像データのアスペクト比と解像度に合わせて選択してください。

画像を再生する

再生操作ボタンを使って再生します。同じカメラの画像がリスト表示されていれば、再生時は次の画像が、逆再生時はひとつ前の画像が連続して再生されます。同じカメラの画像がなければ、再生を終了すると画像表示部が黒画になり一時停止状態になります。

メモ

- パスワードを付与されたデータの再生開始時には、パスワード入力画面が表示されます。設定したパスワードを入力してください。
- 再生中に  ボタン（または逆再生中に  ボタン）をクリックすると、再生中のカメラと同じカメラの次の画像（またはひとつ前の画像）を再生します。
-  ボタンをクリックすると画像を拡大表示できます。  ボタンをクリックすると1倍に戻ります。
- 音声データ（ファイル名.n3a）がある場合には、  /  ボタンが表示されます。クリックして音声再生／消音を切り換えられます。
- ウェブブラウザとビューワーソフトを同時に起動した場合、音声の再生が正しく行われないことがあります。音声再生を正しく行うには、ウェブブラウザかビューワーソフトのどちらか一方を起動してください。
- 画像と音声の同期がずれる場合があります。
- サーチボックスの [Date & Time] および [Camera(ch)] を選択して [Search] ボタンをクリックすると、選択したカメラの画像データのうち、選択した日時を含む画像データの先頭から再生を開始します。
-  ボタンをクリックすると画像を画面全体に表示します。再生操作ウィンドウの [Restore] ボタンのクリックまたはキーボードの [Esc] キーで元の画面に戻ります。
- 再生操作ウィンドウは [Hide] ボタンのクリックまたはマウスの右クリックで非表示にすることができます。
- [Smooth] にチェックを入れると早送り再生が滑らかになります。PCの性能や処理状況によって、ある一定速度以上にならないことがあります。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する（つづき）

改ざん検出を行う

ダウンロード時に、改ざん検出用のデータを付けるよう設定されているデータ（[174ページ](#)）の改ざん検出ができます。

改ざん検出可能なデータを選択すると、[ALT CHECK] ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると改ざん検出を開始し、結果を画面に表示します。

[OK (Not Altered)] : 改ざんが検出されませんでした。

[NG (Altered)] : 改ざんが検出されました。

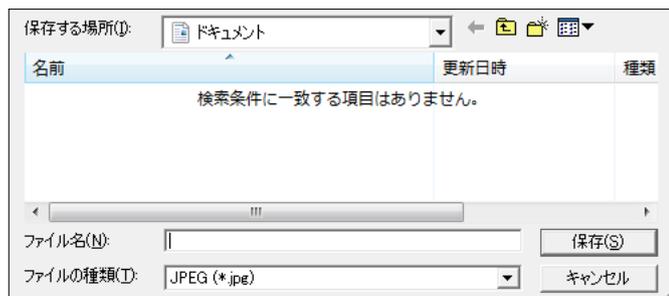
静止画像を保存する

画像表示部に表示している画像を、PCにJPEGファイルとして保存できます。

STEP1

ボタンをクリックします。

→名前をつけて保存画面が表示されます。



STEP2

ファイル名を入力し、ファイルの種類：JPEG (*.jpg) を選択します。保存先を確認し、[保存 (S)] ボタンをクリックします。

→画像データが保存されます。

画像データを保存する（コピーする）

選択している画像データ（ファイル名.n3r）を、PCの任意のフォルダーにコピーできます。

STEP1

リスト上で右クリックし、表示されるメニューから [Copy] を選択します。

→名前をつけて保存画面が表示されます。

STEP2

ファイル名と保存先を確認し、[保存(S)] ボタンをクリックします。

→画像データがコピー保存されます。

メモ

- コピー中はビューワーソフトを操作できません。

画像を印刷する

画像表示部に表示している画像をプリンターで印刷できます。

印刷したいところで再生を一時停止し、 ボタンをクリックします。n3rファイルの画像を印刷すると、再生一時停止の日時も印刷されます。

設定する

基本的な操作のしかた

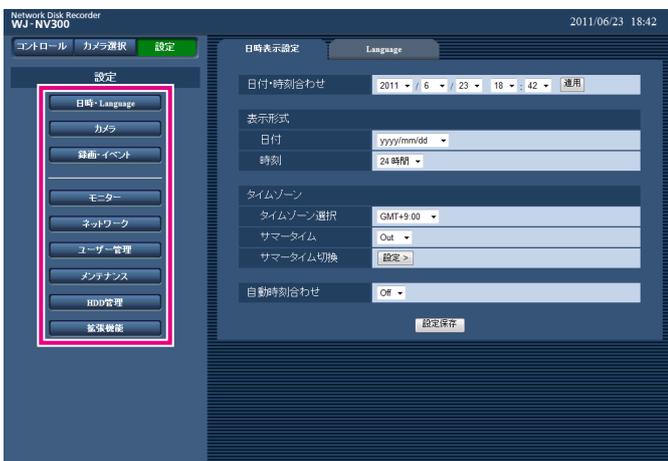
STEP1

[設定] ボタンをクリックします。



STEP2

設定したいメニューのボタンをクリックします。



STEP3

設定したいサブメニューのタブをクリックします。

STEP4

各項目を設定します。設定したら [設定保存] ボタンをクリックします。

→設定した内容が本機に反映されます。[設定保存] ボタンをクリックしないで他のページに移動すると、変更した内容が破棄されます。

重要

- 設定内容を反映すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。
- ユーザー管理に関する設定を変更すると、すべてのユーザーは強制的にログアウトします。
- 設定保存直後、約4秒間は録画は行われません。

メモ

- ビジネスインテリジェンス拡張キットのライセンス登録をしている場合、統計データをPCに保存することができます。統計処理および詳しい操作方法については、ビジネスインテリジェンス拡張キット取扱説明書をお読みください。

各種設定を行う

ウェブブラウザから本機の設定を変更することができます。

ウェブブラウザから設定できる項目および設定内容の詳細については、83ページをお読みください。

設定する（つづき）

ソフトウェアの更新を行う

本機のソフトウェアを最新のバージョンに更新する場合は、以下の手順で行います。
ソフトウェアをSDカードに保存した場合の操作方法については、75ページをお読みください。

STEP1

最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

STEP2

[メンテナンス] ボタンをクリックし、[システム管理] タブをクリックします。



STEP3

ソフトウェアの更新の [参照] ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP4

[実行] ボタンをクリックします。
→表示された確認画面から更新処理を開始します。

メモ

- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メール通知について

アラームメールについて

アラームメールには以下のように本機のカメラ／PCポートのアドレスが表示されます。

アラームメールの内容：

NV300 (192.168.0.250) でアラームが発生しました。

発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMT+xx:xx (例：2010-1-1 12:00:00 GMT+9:00)

アラーム要因：アラーム内容とカメラchまたはアラーム番号を表示 (例：SITE ALARM 5ch)

URL：http://192.168.0.250/

障害メールについて

本機に障害が発生すると、あらかじめ登録したメールアドレスに以下の内容の電子メール（障害メール）を送信し、障害発生を通知します。

NV300(192.168.0.250) 状態通知

発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMT+xx:xx (例：2010-1-1 12:00:00 GMT+9:00)

状態：障害の内容を表示 (例：MAIN THERMAL ERROR)

表示	説明
日時	障害が発生した日時を表します。
状態	以下の障害の内容を表します。xxはカメラ番号、xはユニット番号、yはHDD番号。
	温度異常 ：本体 MAIN THERMAL ERROR 増設 EXTx THERMAL ERROR
	改ざん検出 ：ALTERED xxch
	HDDスマート警告 ：本体 MAIN-y SMART WARNING 増設 EXTx-y SMART WARNING
	HDD応答遅延警告 ：本体 MAIN-y SLOW RESPONSE 増設 EXTx-y SLOW RESPONSE
	HDDアワーメーター警告 ：本体 MAIN-y HOUR METER WARNING 増設 EXTx-y HOUR METER WARNING
	自動リンク外し ：本体 MAIN-y LOGICALLY REMOVED 増設 EXTx-y LOGICALLY REMOVED
	ファン異常 ：本体 MAIN FANy ERROR 増設 EXTx FANy ERROR (yはファン番号)
	NWカメラ障害検出 ：CAM xx COMMUNICATION ERROR
	NWカメラ障害検出 (音声) ：CAM xx COMMUNICATION ERROR(AUDIO)
	NWカメラ障害復旧 ：CAM xx COMMUNICATION RECOVERED
	NWカメラ障害復旧 (音声) ：CAM xx COMMUNICATION RECOVERED(AUDIO)
	HDD取り出しエラー ：本体 MAIN-y SWAP WARNING 増設 EXTx-y SWAP WARNING

メール通知について (つづき)

表示	説明
状態	フォーマット失敗 : 本体 MAIN-y SINGLE FORMAT ERROR 増設 EXTx-y SINGLE FORMAT ERROR EXTx RAID5 FORMAT ERROR EXTx RAID6 FORMAT ERROR RAID5 1ダウン : EXTx RAID5 1 DOWN RAID5 2ダウン : EXTx RAID5 2 DOWN RAID6 1ダウン : EXTx RAID6 1 DOWN RAID6 2ダウン : EXTx RAID6 2 DOWN RAID6 3ダウン : EXTx RAID6 3 DOWN HDD RAID5復旧失敗 : EXTx RAID5 RECOVERY FAILURE HDD RAID6復旧失敗 : EXTx RAID6 RECOVERY FAILURE コピーメディアフル : SD MEMORY CARD FULL COPY MEDIUM FULL DVD FULL コピーメディアデータ数超過 : OVER LIMITATION ON SD MEMORY CARD OVER LIMITATION ON COPY MEDIUM OVER LIMITATION ON DVD ミラー復旧開始 : MIRROR RECOVERY START RAID5復旧開始 : EXTx-y RAID5 RECOVERY START RAID6復旧開始 : EXTx-y RAID6 RECOVERY START ミラー復旧完了 : MIRROR RECOVERY COMPLETE RAID5復旧完了 : EXTx RAID5 RECOVERY COMPLETE RAID6復旧完了 : EXTx RAID6 RECOVERY COMPLETE

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

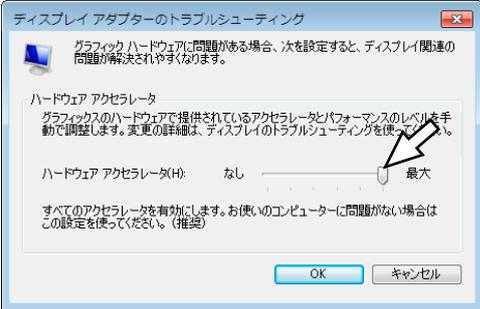
これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
録画できない	●録画動作がONに設定されていますか？ 設定を確認してください。	54
	●スケジュールは正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。	46
再生できない	●画像が録画されていますか？ HDD内に録画された画像があるか確認してください。	79
	●ログインしているユーザーは再生できるユーザーレベルに設定されていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	67
	●ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	67
カメラの音声が出力しない または音声にノイズがのる	●カメラの音声圧縮方式は「G.726 (32kbps)」に設定されていますか？ 本機は「G.726 (32kbps)」のみに対応しています。接続しているカメラの設定を確認してください。	—
	●モニター→高度な設定の音声出力カメラが「表示カメラ」以外になっていませんか？ 設定を確認してください。	57
カメラを制御できない	●設定メニュー [基本設定] の [カメラ] - [カメラ登録] で表示されているカメラ品番とIPアドレスが正しいか確認してください。	25
	●設定メニュー [基本設定] の [カメラ] - [カメラ登録] でユーザー名、パスワードが入力してあることを確認してください。	28
「みえますねっとPRO」サービスのURLでアクセスできない	●本機（またはルーター）のグローバルアドレスが「みえますねっとPRO」のサーバーに通知されていますか？ 「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト (http://panasonic.biz/miemasu/pro/) にて、登録された機器情報を確認してください。通知されていない場合は、本機にアクセスして [設定] - [ネットワーク] - [基本] - [DDNS設定] で「みえますねっとPRO」サービスの登録を完了してください。	60
「みえますねっとPRO」サービスに利用者登録する際、エラーが表示される（エラー例：「エラーが発生しました。cookieが利用できないか、あるいは有効期限が切れました。cookieの利用できるブラウザ、設定で再度接続してください。」）	●ウェブブラウザのセキュリティ設定が、cookieを受け付けない設定になっていませんか？ お使いのウェブブラウザ（Internet Explorer）の設定を確認してください。Internet Explorerの [ツール] - [インターネットオプション...] - [プライバシー] タブでcookieの設定ができます。	—
「みえますねっとPRO」サービスの登録で失敗する	●登録したEメールアドレスが間違っている可能性はありませんか？ 「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイトのリンクを記憶したEメールが送られてこないときは、登録したEメールアドレスが間違っている可能性があります。 「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト (http://panasonic.biz/miemasu/pro/) を参照して、Eメールアドレスを正しく登録し直してください。	8
SDカードまたは外部記憶装置を挿入しても「メディアが挿入されていません」と表示される	●SDカードや外部記憶装置挿入後、すぐに操作を行うと、メディアの認識に時間がかかることがあります。メッセージ画面を閉じて、しばらくしてからもう一度操作してください。	—

故障かな!? (つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
停止操作を行っていないのに、アラームボタンが顔照合停止中表示になる	<ul style="list-style-type: none"> ●各種設定は以下のようになっていますか？ 圧縮方式 : H.264 解像度 : SXVGA (1280×960) フレームレート : 5 ips 画質 : SF 設定を変更すると、顔照合機能を使用できなくなります。設定を確認してください。 	48
ウェブブラウザからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークポートに10BASE-T、100BASE-TXまたは1000BASE-Tケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークポートのリンクLEDが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> ●有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。 	59
	<ul style="list-style-type: none"> ●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 > ping “本機のIPアドレス” を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。 	59
	<ul style="list-style-type: none"> ●設定したIPアドレスと設置先のネットワーク/サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント (PC) が接続されている場合、本機とクライアント (PC) のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？また、ウェブブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。 	59
<ul style="list-style-type: none"> ●「みえますねっとPRO」で登録している名前（ニックネーム）と異なる名前で本機にアクセスしていないか確認してください。 	60	
ウェブブラウザでの画像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの [F5] ボタンを押して、画像を再度取得してください。 	—
ウェブブラウザでの画像更新速度が遅い レスポンスが遅い	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークが混雑していませんか？ ネットワークが混雑しているとき、左記症状が発生します。 	—
ウェブブラウザで表示されないポップアップ表示がある	<ul style="list-style-type: none"> ●Internet Explorer 以外のポップアップブロッカーが動いている可能性があります。インストール状況を確認し、ポップアップブロッカーを解除してください。 	—
操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない	<ul style="list-style-type: none"> ●正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ ユーザー名、パスワードを確認してください。 	68、69
ビューワーソフトで再生中に音声かとぎれる	<ul style="list-style-type: none"> ●録画レートの高い画像を再生しているとき、音声かとぎれる場合があります。 	—
ダウンロードした画像を再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●再生画像のダウンロード中に設定が変更されると、ダウンロードを終了します。このとき、ダウンロードしていた画像は再生できません。 	—
複数のファイルをドラッグ&ドロップしてビューワーソフトを起動すると、エラーメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●選択ファイルを減らすか、ビューワーソフトを起動してからファイルを選択してください。 	—

故障かな!? (つづき)

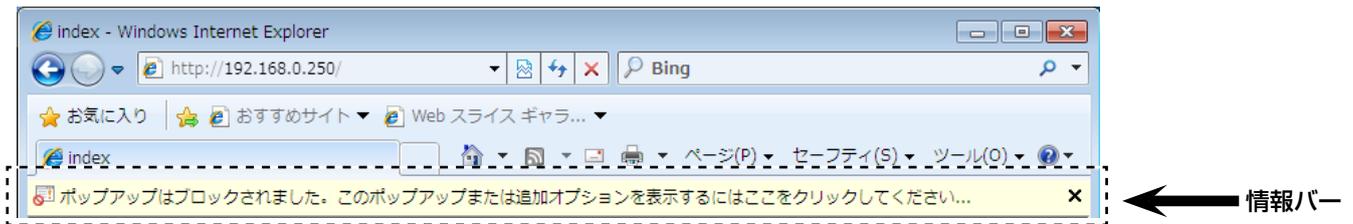
現象	原因・対策	参照ページ
<p>ウェブブラウザ上でカメラ 画像を多画面表示したときに、1つの画像表示エリアに複数のカメラ画像が切り換わり表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 ● 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調整してください。ここでは、Windows 7 を例に説明します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. すべてのウェブブラウザを閉じてからデスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから [画面の解像度] を選択します。 2. 画面の解像度画面で、[詳細設定] をクリックします。 3. [トラブルシューティング] タブを選択し、[設定の変更] ボタンをクリックします。 4. ディスプレイアダプターのトラブルシューティング画面で [ハードウェアアクセラレータ] のパフォーマンスレベルを調整し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。 	<p>—</p>
<p>ライブ表示で、カメラ画像切り換え時にカメラ画像が一瞬粗くなったり、カメラ画像内の文字サイズが変わったりする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機はメインモニターやサブモニターの画面表示パターンに応じて、カメラの解像度設定を自動で切り換えています。タイミングによって、カメラの解像度が切り換わる前の状態が見えます。また、カメラによって、解像度ごとに文字サイズが異なるため、解像度の切り換わりによって文字サイズが変わって見えます。 	<p>—</p>
<p>外部記憶装置が認識されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● USB2.0に対応した外付けHDDまたはUSBメモリーですか？ ● FAT (FAT16) またはFAT32形式でフォーマットされていますか？ ● パスワード認証が付いていたり、複数パーティション構成になっていませんか？ ● USB バスパワーで動作するハードディスク装置を使用していませんか？ 保護回路が動いて電源供給が停止しますので、必ず外部電源で動作するハードディスク装置を使用してください。 ● USBケーブルを接続したまま本機を起動すると、まれに外部記憶装置を認識しない場合があります。本機が起動してからケーブルを接続してください。 	<p>—</p>

故障かな!? (つづき)

メッセージ表示

OS環境によっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



現象	原因・対策	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップはブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	—
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks. Co.,Ltd.'からの'wvasetup.exe'アドオンをインストールしようとしています。Webサイトとアドオンを信頼し、アドオンをインストールするには、ここをクリックしてください...」	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。 	—
下記メッセージの情報バーが表示される。 「セキュリティ保護のため、このサイトによる、このコンピュータへのファイルのダウンロードがInternet Explorerによりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「ファイルのダウンロード(D)...」を選択してください。上記の操作を行ってもダウンロードできない場合には、以下の操作を行ってください。Internet Explorerの [ツール(T)] - [インターネットオプション(O)...] - [セキュリティ] タブ - [レベルのカスタマイズ(C)...] ボタンをクリックしてセキュリティの設定画面を開きます。「ダウンロード」 - 「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	—
ダウンロードしたファイルを実行しようすると、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。 「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」	<ul style="list-style-type: none"> ● [実行(R)] ボタンをクリックしてください。 	—
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される ポップアップのタイトルバーにURLが表示され、タイトルがすべて表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、「その他」 - 「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 ● Internet Explorer 7.0の場合、上記に加え、「Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する」も「有効にする」を選択してください。 	—

用語集

<アルファベット・数字>

ActiveXコントロール

Microsoft社が開発したソフトウェアの部品化技術。インターネットやイントラネットを通じてウェブサーバーからダウンロードされ、Internet Explorerに機能を追加する形で使用されます。本機では、動画を表示するために使用しています。

DDNS (Dynamic DNS)

DNSサーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

PCがネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

DNS (Domain Name System)

ネットワーク環境上で使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PCにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それをIPアドレスに変換して通信を行います。このドメイン名とIPアドレスを対応させるしくみです。

FHD (Full HD)

1920×1080ピクセルの解像度のことです。

FTP (File Transfer Protocol)

ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

H.264

動画データの圧縮方式の1つです。

HD (High Definition)

1280×720ピクセルの解像度のことです。

HDD

ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

HVGAW (Half VGA Wide)

640×360ピクセルの解像度のことです。

IPアドレス (Internet Protocol Address)

インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたPCや通信機器1台1台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておく必要があります。

LAN (Local Area Network)

同じ建物の中やフロア内、キャンパスなど比較的狭い地域にあるPCやプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

MACアドレス (Media Access Control address)

ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータの送受信が行われます。

M-JPEG

カメラから連続的にJPEG画像を送信する動画方式です。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

NAT (Network Address Translation)

1つのグローバルアドレスを複数のPCで共有する技術です。

NTP (Network Time Protocol)

ネットワークに接続された機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

QVGA

320×240または320×180ピクセルの解像度のことです。

QXGA (Quad-XGA)

2048×1536ピクセルの解像度のことです。

POP3

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

POP3サーバー

現在最も普及しているメール受信プロトコルであるPOP3に対応しているサーバーです。

RAID5

3台以上のHDDを論理的に1台のHDDとみなし、誤り訂正符号データを自動的に付加することで、HDDが故障しても残りのHDDを使って正常なデータを読み出すことができます。故障したHDDを交換すると、記録映像を復元することができます。3台以上のHDDが必要です。

RAID6

誤り訂正符号データを2つ持つことで、HDDが2台故障しても、残りのHDDを使って記録映像を復元できます。4台以上のHDDが必要です。

用語集（つづき）

SDメモリーカード (Secure Digital memory card)

小型・軽量で、大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部メモリーカードです。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールのやり取りをしたり、クライアントがサーバーにメールを送信するときに使われます。

SMTPサーバー (SMTP server)

現在もっとも普及しているメール送信プロトコルであるSMTPに対応しているサーバーです。

SMTP認証

(Simple Mail Transfer Protocol Authentication)

メール送信に使うプロトコルであるSMTPにユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTPサーバーとクライアントとの間でユーザーアカウントとパスワードの認証を行います。このため、SMTPサーバーとクライアントの双方がSMTP認証対応していなければなりません。

SNMP (Simple Network Management Protocol)

ルーターやPC、カメラ、ネットワークディスクレコーダーなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

SVGA (Super VGA)

800×600ピクセルの解像度のことです。

SXVGA

1280×960ピクセルの解像度のことです。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

URL (Uniform Resource Locator)

インターネット上にある文書や画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

VGA (Video Graphics Array)

640×480ピクセルの解像度のことです。

VPN

公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術や暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

WAN

電話回線や専用線を使って、本社一支社間など地理的に離れた地点にあるPC同士を接続し、データをやり取りします。

<あ>

インターネット (internet)

全世界のネットワークを相互に接続した巨大なパブリックネットワークです。インターネットに参加するには、インターネットサービスプロバイダーと呼ばれる業者と契約する必要があります。

イベント

本機が特別な動作（イベント動作）を行うきっかけとなる事象を表します。イベントには、端子アラーム、コマンドアラーム、カメラサイトアラーム、顔照合アラームがあります。

イベント動作

イベント発生時に行う特別な動作を表します。アラーム動作はイベントの発生を画面表示、本機前面の状態表示ランプ、ブザーなどで外部に通知します。イベントの発生を通知する動作は行わず、録画とイベントログへの記録のみを行うこともできます。OFFでは、イベントログへの記録のみを行います。

イベント録画

イベント発生時に自動的に録画を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の画像を記録するプレ録画と、イベント発生後の画像を記録するイベント録画があります。

ウェブブラウザ (web browser)

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

<か>

顔照合

画像内の顔と事前登録した顔の特徴を比較し、似ている顔を検知する機能です。検出結果により、本機からアラーム信号を出力することができます。

画質

画質は、圧縮率によって変化します。本機は、画質（圧縮率）をXF（超高画質）、SF（最高画質）、FQ（高画質）、NQ（標準画質）で表しており、カメラごとに選択できます。

用語集（つづき）

解像度

本機がカメラ画像を録画する際の画像のきめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度です。本機では、画面上に表示されるピクセル数で表し、水平640ピクセル、垂直480ピクセルの場合、640×480と表記します。

カメラ操作

本機に接続したコンビネーションカメラのパン／チルト（水平・垂直位置）、ズーム（画像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）、明るさ（レンズの絞り）、プリセット動作（指定水平・垂直位置への移動）、オートパン（カメラの自動回転）操作を行うことです。

グローバル（IP）アドレス（global address）

インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークで自由に割り振ることができるプライベート（IP）アドレスがあります。

<さ>

サイドパネル

アスペクト比を維持して表示するために、映像部分の左右に余白部が追加された表示形式です。

サブネット（subnet）

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理や回線の分配を効率よく行うために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

サブネットマスク（subnet mask）／サブネットプレフィックス長

サブネット内のIPアドレスのうち何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義する数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内のPCを識別するホストアドレスと呼ばれます。

スケジュール録画

あらかじめ設定した時間帯に自動的に録画を開始・終了する機能です。

セカンダリー（DNS）サーバー （secondary DNS server）

DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの副系統（サブ）のサーバーです。主系統（プライマリー）のサーバーにトラブルが発生した時などに処理を肩代わりします。

全二重（full duplex）

双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。

<た>

タイムゾーン

共通で（地方）標準時を使う国や地域全体をタイムゾーンといいます。

多画面表示

本機は、ライブ画像表示・再生画像表示のときに、複数のカメラの画像を同時に表示することができます。4台のカメラ画像を同時に表示することを4画面表示、16台のカメラ画像を同時に表示することを16画面表示と呼びます。

デジタルズーム

ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのに対し、デジタルズーム機能は本機内で画像の拡大処理を行い表示します。

デフォルトゲートウェイ（gateway）

組織内のLANなどのネットワークから外部のネットワークのPCへアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

動作検知サーチ

画像内の動きを自動的に検出する機能です。本機は、録画画像の動作検知を行い動きが検出された日時のみを検索する機能（動作検知サーチ）があります。

<は>

半二重（half duplex）

双方向通信で、1つの通信回線を使用して、送信と受信を切り換えながら通信する方式のことです。

用語集 (つづき)

ビットレート (bit rate)

単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps : bits per second) が使われます。画像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が1秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

ファイアウォール (firewall)

インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの1つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムやそのようなシステムが組みこまれたPCです。

プライベート (IP) アドレス (private address)

主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベート (IP) アドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート (IP) アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル (IP) アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

プライマリー (DNS) サーバー (primary DNS server)

DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの主系統 (メイン) のサーバーです。

プラグインソフトウェア

アプリケーションソフトウェアに機能を追加するためのプログラムです。

フレームレート (fps)

録画画像を再生した時の動きの滑らかさを決める単位です。1秒間の記録コマ数を表します。数字が大きいほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。

ブロードバンドルーター (broadband router)

ADSLや光ファイバーなど高速な回線でインターネットに接続する際に使うルーターです。

プロトコル (protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約 (約束事) の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

ポート番号 (port number)

インターネット上の通信 (TCP、UDPなど) で、複数の相手と同時に接続するために、IPアドレスの下に設けられたサブ (補助) アドレスです。

<ら>

ルーター (router)

異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークへあてであれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号